

# 施策目標に関する市民意識調査 報告書

(平成30年度市民アンケート取りまとめ)

平成30年8月

仙台市



# 目次

---

<b>I. 調査の概要</b> .....	1
1. 調査目的 .....	1
2. 調査項目 .....	1
3. 調査仕様 .....	1
4. 調査期間 .....	1
5. 回収率 .....	1
6. 報告書の見方 .....	2
7. 回答者の属性 .....	3
(1) 性別 .....	3
(2) 年齢 .....	3
(3) 住居形態 .....	3
(4) 職業 .....	3
(5) 世帯構成 .....	4
(6) 居住区 .....	4
(7) 仙台市の居住年数 .....	4
(8) 母集団（仙台市の18歳以上の人口）との比較 .....	5
<b>II. 調査結果</b> .....	7
1. 仙台市における住みやすさなど .....	7
(1) 仙台市の住みやすさ .....	8
(2) 仙台市への愛着 .....	10
(3) 今後の仙台市への居留意向 .....	11
2. 基本計画に基づく施策の評価 .....	13
(1) 評価一覧 .....	14
(2) 力をいれるべき施策一覧 .....	20
(3) 経年比較・年齢層別評価 .....	22
3. 未来に向けた仙台市のまちづくりについて .....	47
(1) 「まちづくり」を考える上で重要なこと .....	48
(2) 「くらし」を考える上で重要なこと .....	51
(3) 「未来に残していきたい仙台の魅力」（自由意見） .....	54
4. 自由意見 .....	56
<b>III. 資料</b> .....	59
調査票 .....	59



# I . 調査の概要



# I. 調査の概要

## 1. 調査目的

本調査は、本市が重点的に取り組む施策の推進状況に関する市民の評価やニーズの変化を継続的に把握し、年齢層別の視点も含め総合的な分析を行い、その結果を施策の進捗管理に活かすことにより、本市の重点施策の推進を図ることを目的とする。

## 2. 調査項目

### (1) 仙台市における住みやすさなど

仙台市の住みやすさ、仙台市への愛着、今後の仙台市への居住意向

### (2) 基本計画に基づく施策の評価

施策の評価（8分野 47項目）、力をいれるべき施策

### (3) 未来に向けた仙台市のまちづくりについて

将来 30 年先を見据えた仙台市の「まちづくり」、「くらし」を考える上で重要なこと、未来に残していきたい仙台の魅力（自由意見）

### (4) 自由意見

## 3. 調査仕様

- (1) 調査地域 仙台市全域
- (2) 調査対象 仙台市に居住する満 18 歳以上の男女 6,000 人
- (3) 抽出方法 平成 30 年 5 月 1 日現在の住民基本台帳から無作為抽出
- (4) 調査方法 無記名式の質問紙調査。郵送による配付・回収

## 4. 調査期間

調査票発送	回収締切	集計対象
平成 30 年 5 月 18 日	平成 30 年 6 月 1 日	平成 30 年 6 月 13 日

## 5. 回収率

	対象者数	有効回収数	有効回収率
平成 30 年度	6,000 人	2,029 票	33.8%

## 6. 報告書の見方

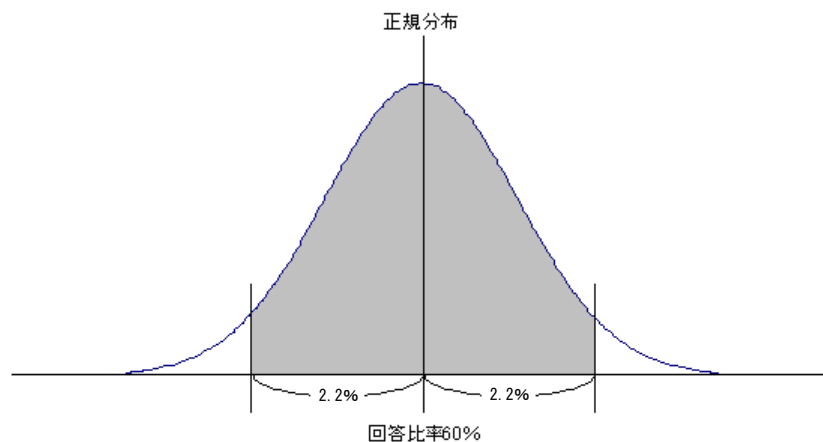
- ・調査数（n=Number of cases）とは、回答者総数あるいは分類別の回答者数のことである。
- ・回答等の構成比は百分率で表し、小数点第2位を四捨五入して算出している。そのため、構成比の合計が100%にならない場合がある。
- ・回答者が2つ以上の回答をすることができる多肢選択式の質問においては、すべての選択肢の比率を合計すると100%を超える。
- ・標本誤差<sup>※1</sup>は下記の通りである。  
等間隔抽出法<sup>※2</sup>の標本誤差は次の式によって得られる。

$$\text{標本誤差} = 2 \sqrt{\{(N-n)/(N-1)\} \times \{p \times (1-p)/n\}}$$

※N=母集団 n=比率算出の基数（サンプル数） P=回答比率

n	p	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
2,029		±1.3%	±1.8%	±2.0%	±2.2%	±2.2%
1,000		±1.9%	±2.5%	±2.9%	±3.1%	±3.2%
500		±2.7%	±3.6%	±4.1%	±4.4%	±4.5%
200		±4.2%	±5.7%	±6.5%	±6.9%	±7.1%
100		±6.0%	±8.0%	±9.2%	±9.8%	±10.0%
50		±8.5%	±11.3%	±13.0%	±13.9%	±14.1%

表の見方：ある設問の回答者数が2,029で、その設問中の選択肢の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも2.2%以内（57.8～62.2%）とみることができる。  
また、標本誤差の幅は、比率算出の基数（n）及び回答比率（P）によって異なる。



※1 標 本 誤 差：標本調査の結果として得られた推計値の正確さを表す数値。この場合の標本調査は調査の客体を無作為に選んだものでなければならない。

※2 等間隔抽出法：母集団の全てに通し番号をつけ、ランダムに出発番号を決め、一定の間隔毎にサンプルを抽出する方法。

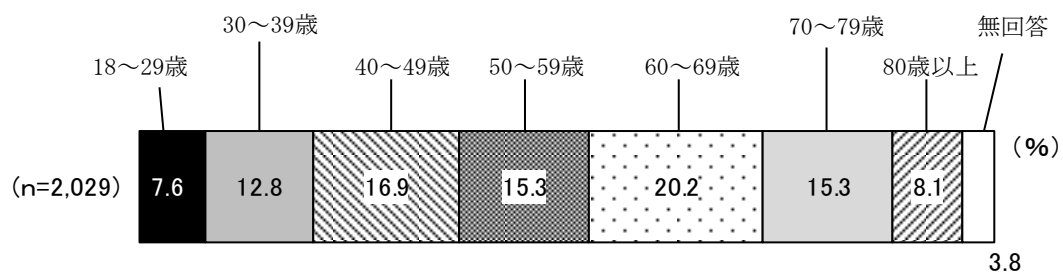


## 7. 回答者の属性

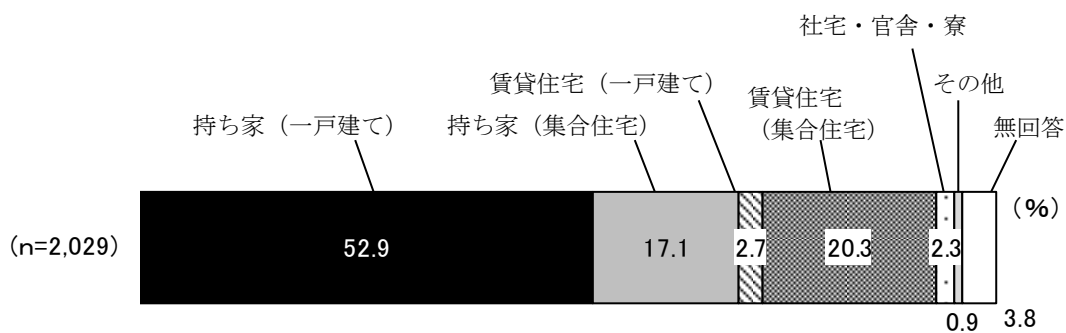
## (1) 性別



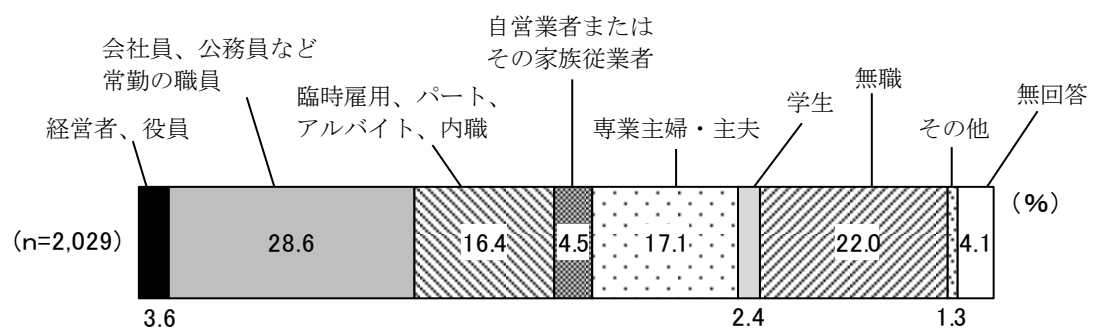
## (2) 年齢



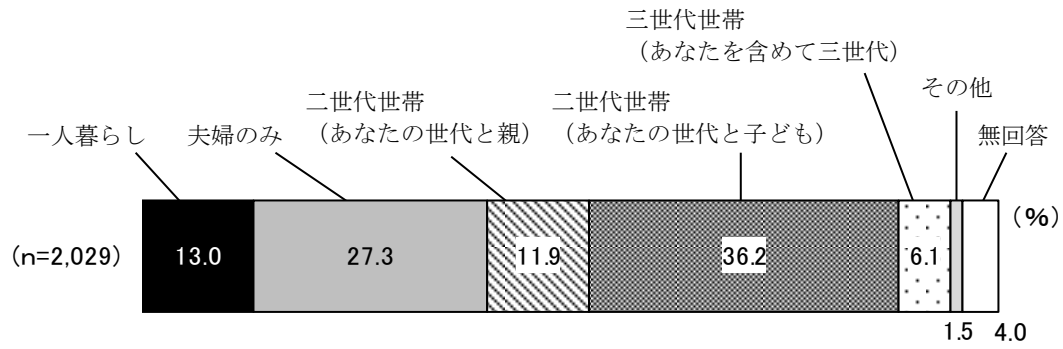
## (3) 住居形態



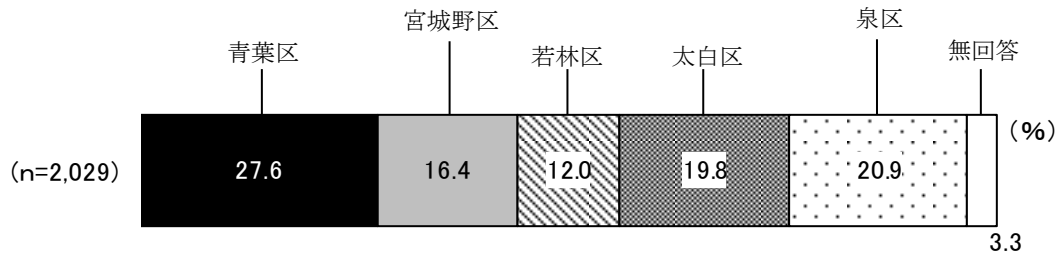
## (4) 職業



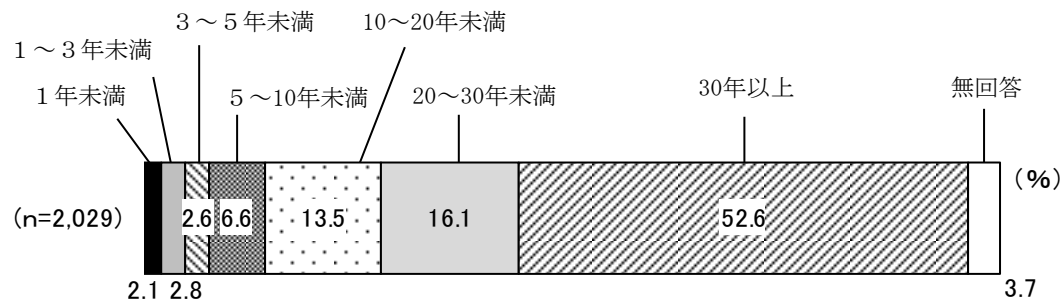
### (5) 世帯構成



### (6) 居住区



### (7) 仙台市の居住年数



## (8) 母集団（仙台市の18歳以上の人口）との比較

	母集団数 (人)	割合 (%)	有効回収数 (票)	割合 (%)
年齢層別				
18～29 歳	144,264	16.2	155	7.6
30～39 歳	135,123	15.2	259	12.8
40～49 歳	168,482	19.0	342	16.9
50～59 歳	132,050	14.9	311	15.3
60～69 歳	133,463	15.0	409	20.2
70～79 歳	102,282	11.5	311	15.3
80 歳以上	72,158	8.1	164	8.1
無 回 答			78	3.8
計	887,822	100.0	2,029	100.0
性別				
男 性	420,266	47.3	820	40.4
女 性	467,556	52.7	1,121	55.2
無 回 答			88	4.3
計	887,822	100.0	2,029	100.0

※母集団数は、平成30年5月1日現在 住民基本台帳による。



## Ⅱ. 調査結果



## II. 調査結果

### 1. 仙台市における住みやすさなど (P7～12)

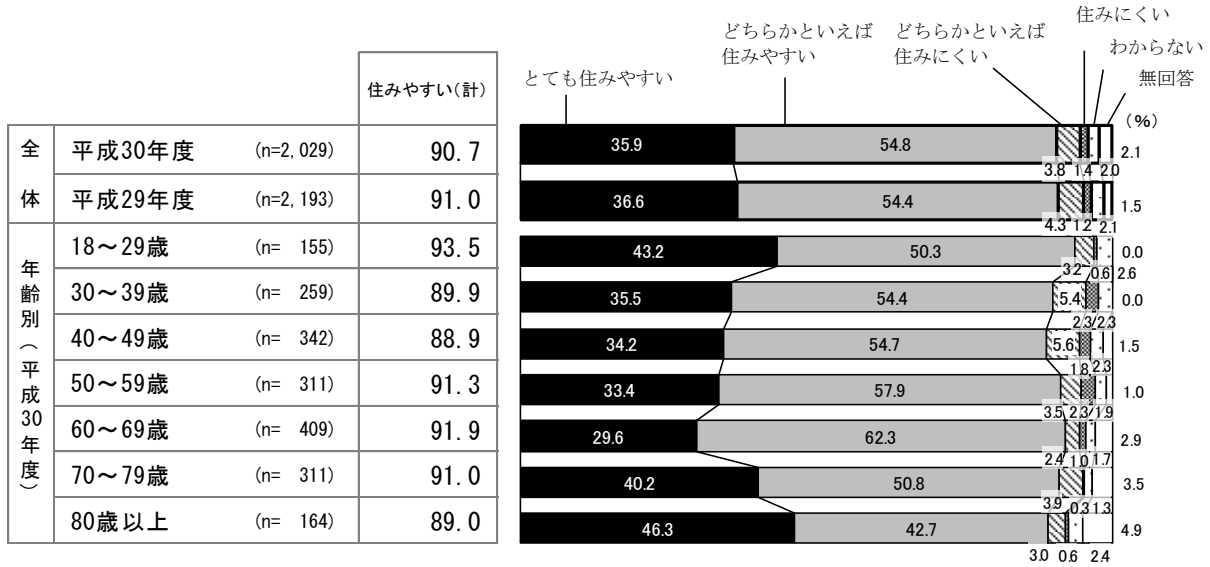
「仙台市における住みやすさなど(問1～問3)」の3項目について結果をまとめている。また、問1と問3については、その回答を選んだ理由についても尋ねている。

#### まとめ

- 「仙台市の住みやすさ」、「仙台市への愛着」、「今後の仙台市への居留意向」を尋ねたところ、肯定的回答は9割前後となっており、昨年度も同様であった。
- 「仙台市は住みやすい」と答えた方に理由を尋ねると、上位を占めたのは下記の通りであった。
  - 1位 「自然環境に恵まれている」(65.9%)
  - 2位 「通学、通勤、買い物など生活が便利」(65.2%)
  - 3位 「友人・知人などがいる」(47.3%)
  - 4位 「治安が良い(安心・安全)」(38.3%)
  - 5位 「生まれ故郷なので良く知っている」(33.2%)
- 「これからも仙台市に住み続けたいと思わない」と答えた方に理由を尋ねると、上位を占めたのは下記の通りであった。
  - 1位 「自分の家(土地)ではないから」(41.4%)、
  - 2位 「家賃・地代が高いから」(31.0%)
  - 3位 「通学、通勤、買い物が不便」(27.6%)
  - 4位 「物価が高い」(25.9%)
  - 5位 「生活環境が悪い」(20.7%)

# (1) 仙台市の住みやすさ

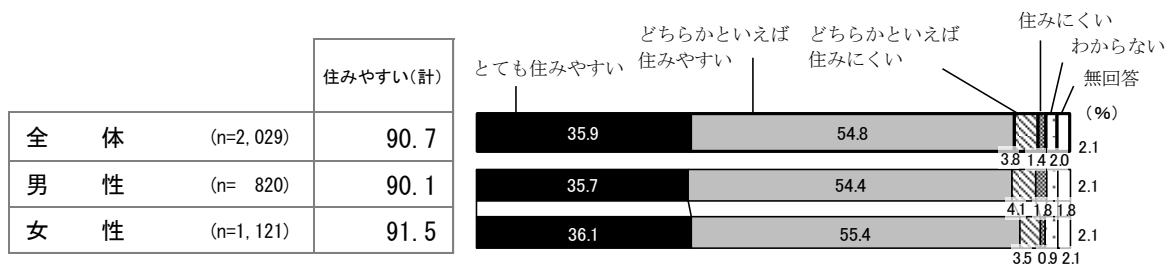
問1 仙台市は住みやすいと思いますか。あてはまるものを1つ選んで、番号に○をつけてください。



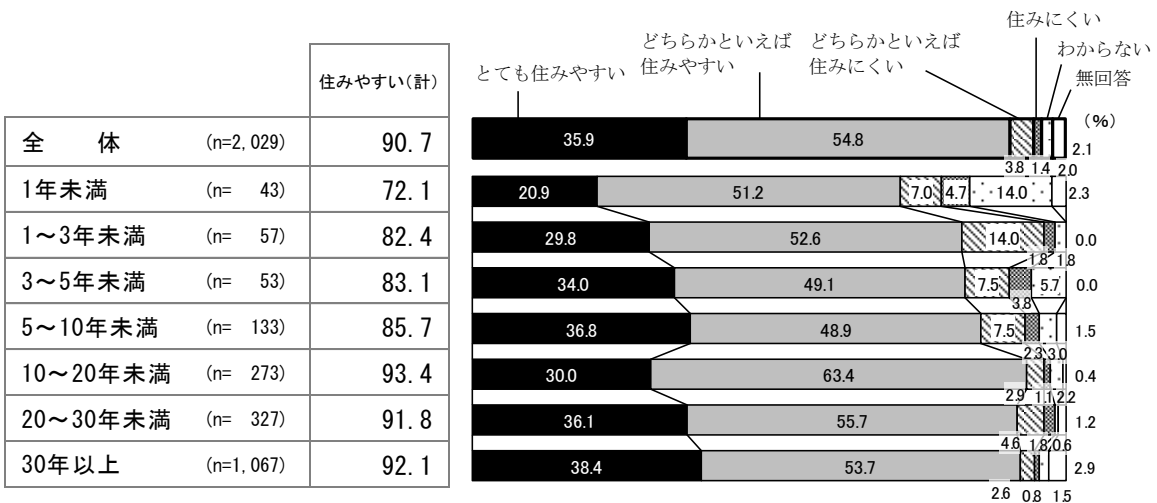
全体では、「住みやすい (計)」の割合が 90.7%と高い。

昨年度と比べると、「住みやすい (計)」の割合が 0.3 ポイント減少している。

年齢層別では、「住みやすい (計)」の割合がいずれの年齢層でも 9 割前後と高く、18~29 歳は 93.5% と他の年齢層に比べて特に高い。



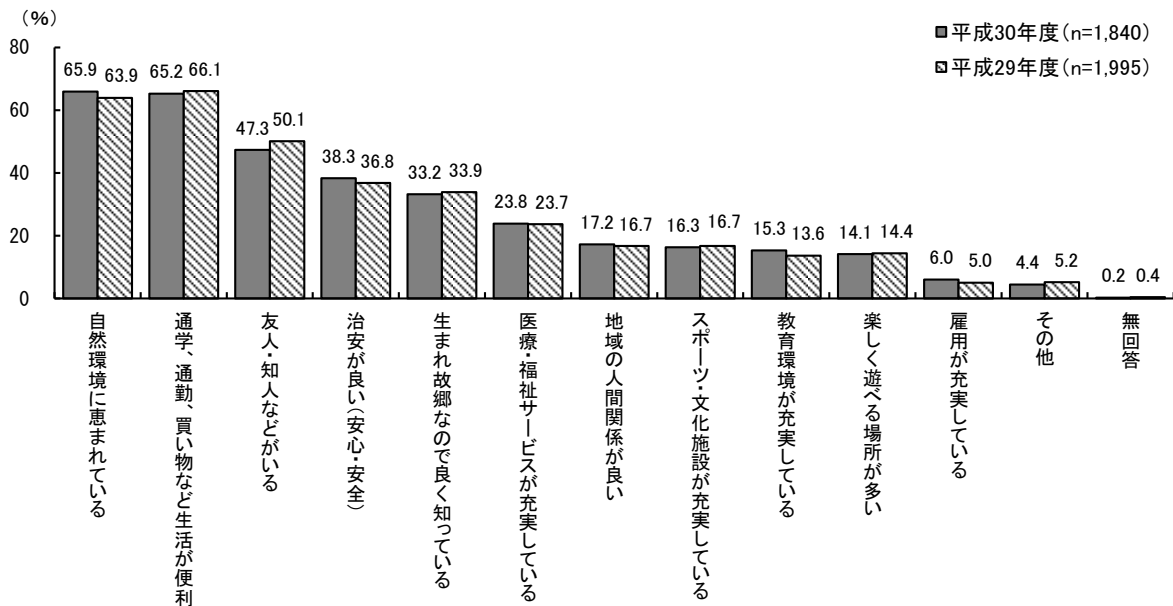
性別で見ると、「住みやすい (計)」の割合にあまり違いは見られないが、女性が男性を 1.4 ポイント上回っている。



居住年数別で見ると、概ね居住年数が長くなるほど「住みやすい (計)」の割合が高くなり、10 年以上においては 9 割以上である。また、居住年数が 1 年未満において、「わからない」の割合が 14.0% と高い。



「1 とても住みやすい」または「2 どちらかといえば住みやすい」と回答した方にお聞きします。上記で、1または2を選択した理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んで、番号に○をつけてください。

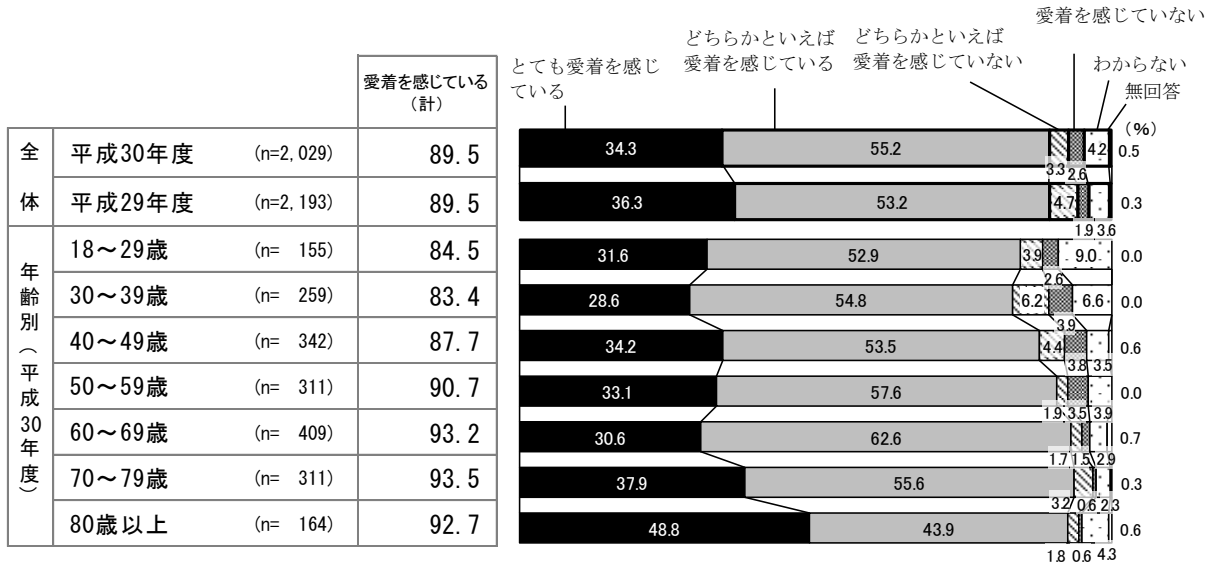


仙台市の住みやすさについて「とても住みやすい」または「どちらかといえば住みやすい」と答えた方に理由を尋ねたところ、「自然環境に恵まれている」が65.9%と最も高く、次に「通学、通勤、買い物など生活が便利」(65.2%)、「友人・知人などがいる」(47.3%)、「治安が良い(安心・安全)」(38.3%)、「生まれ故郷なので良く知っている」(33.2%)、「医療・福祉サービスが充実している」(23.8%)が続いている。

昨年度と比べると、「自然環境に恵まれている」は2.0ポイント、「教育環境が充実している」は1.7ポイント、「治安が良い(安心・安全)」は1.5ポイント増加している。

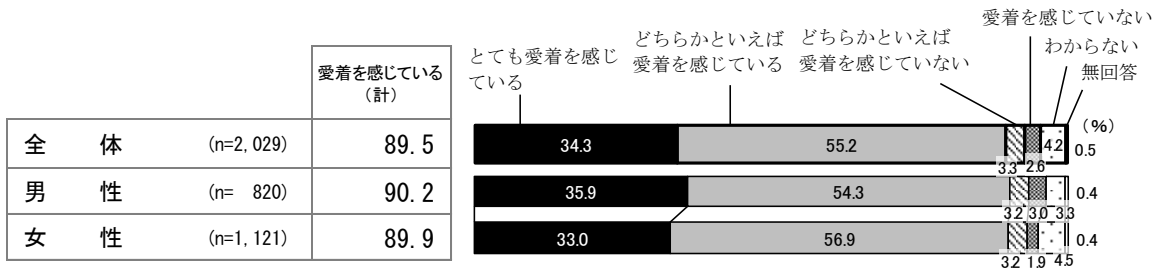
## (2) 仙台市への愛着

問2 仙台市に愛着を感じていますか。あてはまるものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

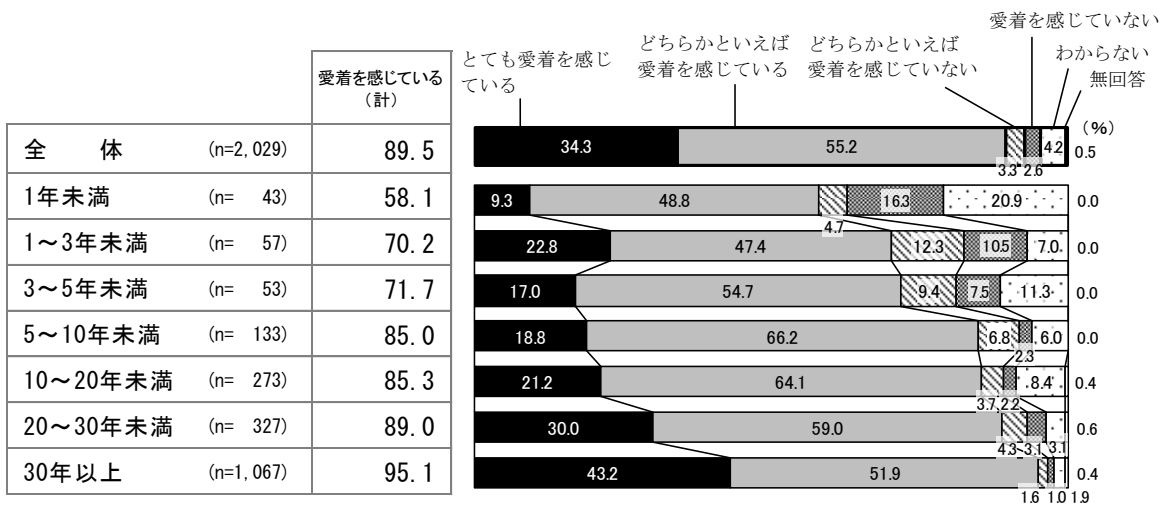


全体では、「愛着を感じている (計)」の割合が89.5%と高く、昨年度と同率である。

年齢層別では、50歳以上で「愛着を感じている (計)」の割合が9割以上となり、他の年齢層より高い。



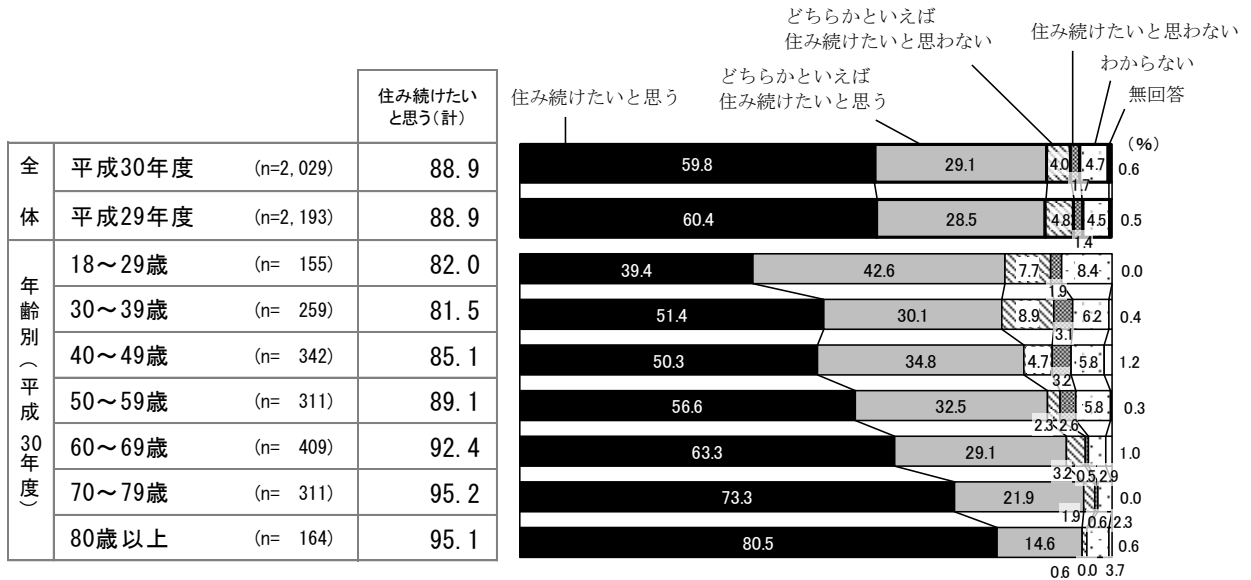
性別で見ると、「愛着を感じている (計)」の割合に男女であまり差は見られない。



居住年数別で見ると、居住年数が長くなるほど、「愛着を感じている (計)」の割合が高くなっており、30年以上は95.1%となっている。一方、居住年数が1年未満においては、「愛着を感じていない」(16.3%)と「わからない」(20.9%)の割合が高い。

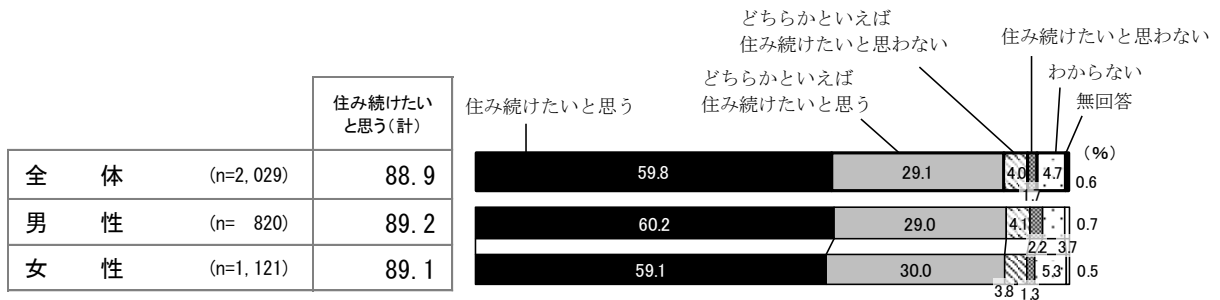
(3) 今後の仙台市への居住意向

問3 これからも仙台市に住み続けたいと思いますか。あてはまるものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

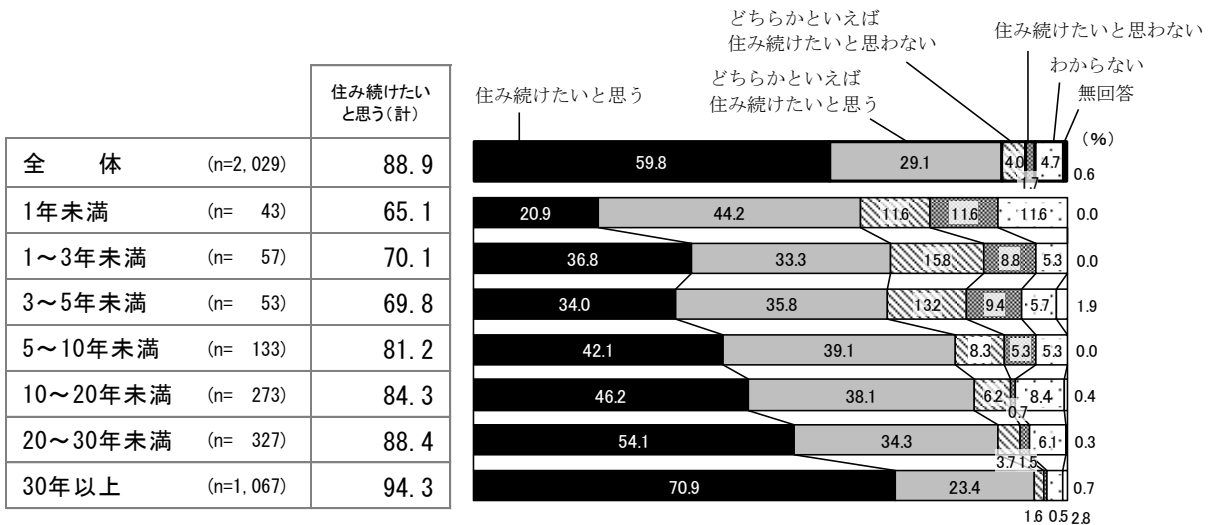


全体では、「住み続けたいと思う (計)」の割合が88.9%と高く、昨年度と同率である。

年齢層別では、概ね年齢層が上がるほど「住み続けたいと思う (計)」の割合が高くなる傾向が見られ、60歳以上で9割以上である。

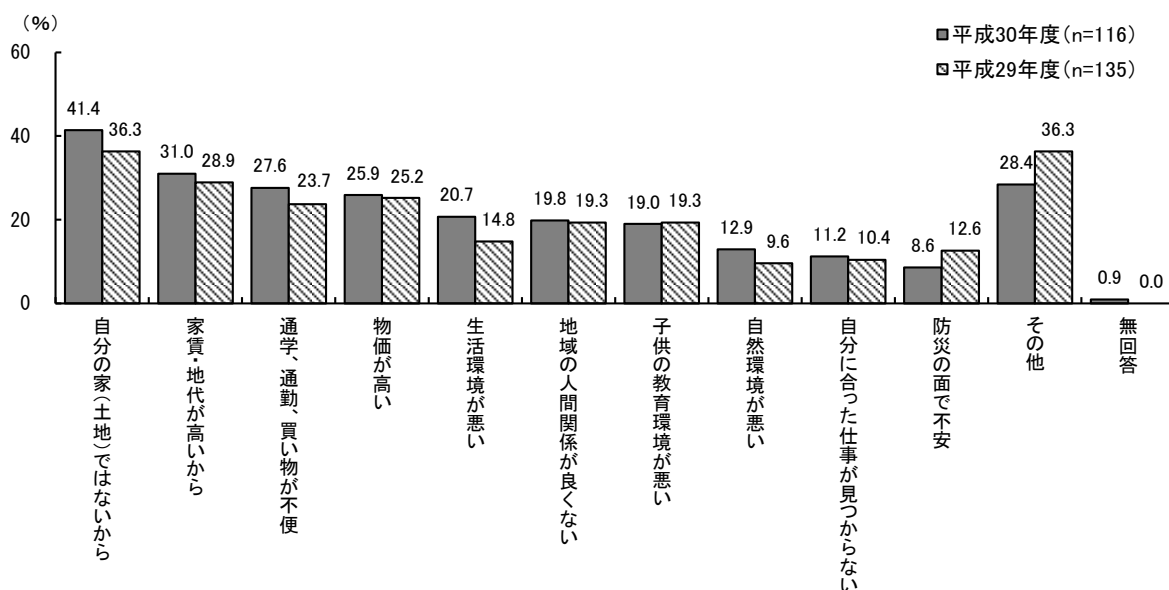


性別で見ると、「住み続けたいと思う (計)」の割合は男女であまり差は見られない。



居住年数別で見ると、概ね居住年数が長くなるほど、「住み続けたいと思う (計)」の割合が高く、5年以上は8割以上、30年以上では9割以上と高い。一方、居住年数が5年未満においては、「住み続けたいと思わない (計)」と「わからない」の割合が他の居住年数層に比べて高い。

「3 どちらかといえば住み続けたいと思わない」または「4 住み続けたいと思わない」と回答した方にお聞きします。上記で、3または4を選択した理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んで、番号に○をつけてください。



※ “その他” の主な回答は、「故郷ではない：5件」、「交通面・公共機関等のマナーが悪い：4件」、「税金が高い：3件」、「子供の遊び場が少ない：3件」など

仙台市への居住意向について「どちらかといえば住み続けたいと思わない」または「住み続けたいと思わない」と答えた方にその理由を尋ねたところ、「自分の家（土地）ではないから」が41.4%と最も高く、次に「家賃・地代が高いから」（31.0%）、「通学、通勤、買い物が不便」（27.6%）、「物価が高い」（25.9%）、「生活環境が悪い」（20.7%）、「地域の人間関係が良くない」（19.8%）、「子供の教育環境が悪い」（19.0%）が続いている。

昨年度と比べると、「生活環境が悪い」は5.9ポイント、「自分の家（土地）ではないから」は5.1ポイント、「通学、通勤、買い物が不便」は3.9ポイント増加している。

## 2. 基本計画に基づく施策の評価

### (1) 評価一覧 (P13~19)

「基本計画に基づく施策（問4～問11）」の8分野47項目について、4段階評価（1評価する、2どちらかといえば評価する、3どちらかといえば評価しない、4評価しない）の結果をまとめている。

### (2) 力をいれるべき施策一覧 (P20~21)

「基本計画に基づく施策（問4～問11）」の8分野47項目について、「今後、特に力をいれていくべきと思う施策」についての結果をまとめている。

### (3) 経年比較・年齢層別評価 (P22~46)

「基本計画に基づく施策（問4～問11）」の8分野47項目について、経年比較と年齢層別の分析をしている。

#### まとめ

#### ● 「評価する（計）」の割合は、高い順に下記の通りであった。

- 1位 「仙台七夕まつりや仙台国際ハーフマラソン等さまざまなイベントを生かした仙台ブランドづくり」(81.8%)
- 2位 「ごみ減量・リサイクルの推進等、ごみの発生を抑え、資源を有効に循環させるまちづくり」(69.2%)
- 3位 「市街地の緑化や公園の整備、自然環境の保全等、緑美しい百年の杜づくり」(68.1%)
- 4位 「プロスポーツやさまざまなスポーツイベント等を観ることができる環境づくり」(68.1%)
- 5位 「医療サービスや救急医療体制の充実」(67.4%)

#### ● 「評価しない（計）」の割合は、高い順に下記の通りであった。

- 1位 「学校におけるいじめの未然防止や早期発見・早期対応の推進」(47.2%)
- 2位 「鉄道・地下鉄やバス等の公共交通を中心とする利便性の高い交通体系づくり」(36.3%)
- 3位 「働く女性が個性と能力を發揮できる環境づくりや女性の積極的な登用など、企業等における女性の活躍推進」(31.4%)

#### ● 「わからない+無回答」の割合は、高い順に下記の通りであった。

- 1位 「起業しようとする方々への個別相談や応援イベント等、起業支援」(49.6%)
- 2位 「ITや健康福祉、次世代エネルギー等、今後の成長産業の育成・誘致」(47.0%)
- 3位 「農業の6次産業化の推進や担い手の確保等による農業の活性化」(44.6%)

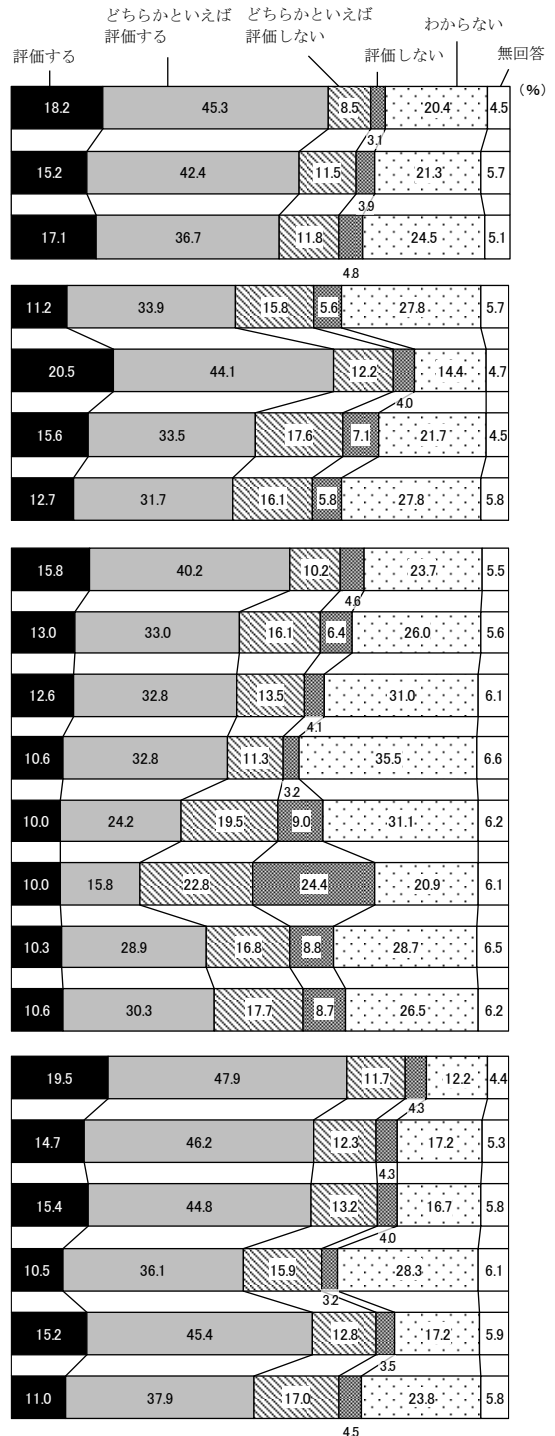
#### ● 「今後、特に力をいれるべき施策」の割合は、高い順に下記の通りであった。

- 1位 「介護予防対策や介護サービスの質の確保・向上等、高齢者の暮らしを支える環境づくり」(48.3%)
- 2位 「学校におけるいじめの未然防止や早期発見・早期対応の推進」(48.0%)
- 3位 「鉄道・地下鉄やバス等の公共交通を中心とする利便性の高い交通体系づくり」(41.4%)

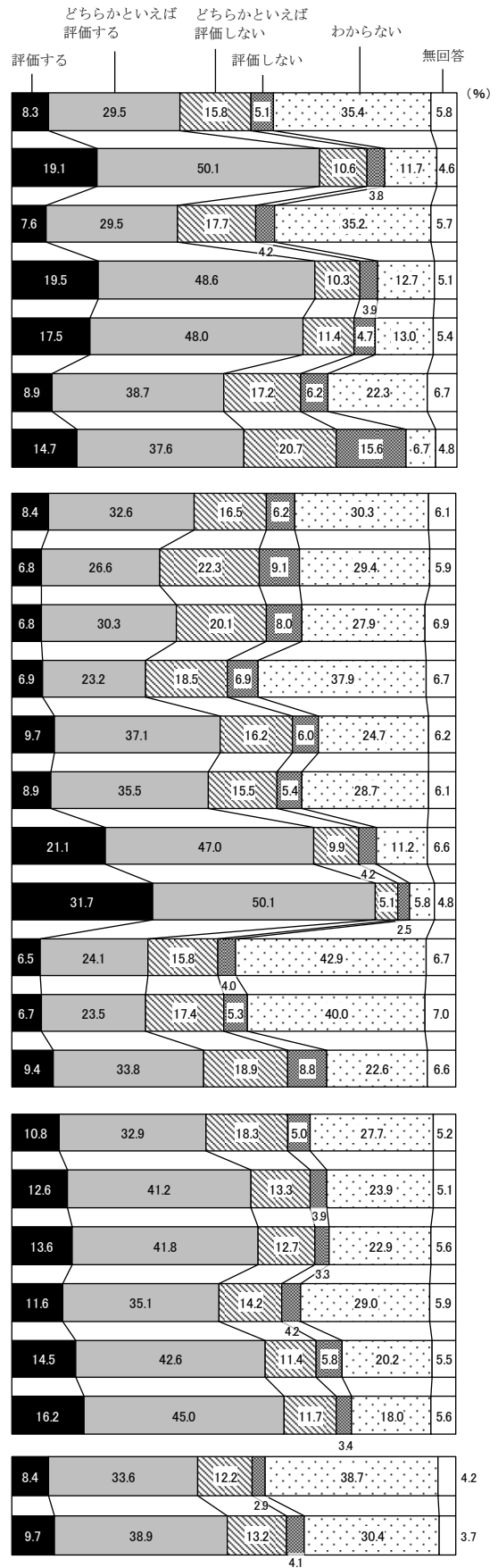
# (1) 評価一覧

問4～問11 仙台市の各取り組みに対するあなたの評価について、あてはまるものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

		評価する(計)
(n=2,029) 問4 生かすまちづくり 学都・仙台の資源を ミュージアムを楽しむ	1. 市民がアートイベント等の文化・芸術に触れて楽しめるとともに、自ら文化・芸術活動に取り組める環境づくり	63.5
	2. 様々なミュージアム施設の連携や創意工夫により魅力ある企画を行うなど、学びを楽しむことができる環境づくり	57.6
	3. 大学、市民、企業、行政の連携等、「学都」に集積した人材や知的資源を生かしたまちづくり	53.8
問5 生きやすい環境づくり 誰もが暮らしやすい環境づくり	1. 男女平等意識の醸成や社会のあらゆる分野への女性の参画の促進等、男女共同参画の推進	45.1
	2. 生活習慣病予防対策や健診体制の充実等、健康づくりの推進	64.6
	3. 介護予防対策や介護サービスの質の確保・向上等、高齢者の暮らしを支える環境づくり	49.1
	4. 障害者差別の解消や就労等社会参加の促進等、障害者の生活を支える環境づくり	44.4
問6 子育て支援や教育環境の充実	1. 児童館の整備や児童クラブの運営等、児童の健全育成のための環境づくり	56.0
	2. 保育施設等の整備や幼稚園の預かり保育の実施、延長保育・一時預かりの充実等、安心して子育てができる環境づくり	46.0
	3. 「のびすく」等での子育て支援ネットワークの充実や仕事と家庭の両立支援等、子育て家庭を応援する社会づくり	45.4
	4. 区役所等における、妊娠期から子育て期にわたる総合的な相談体制と支援の充実	43.4
	5. 子供たちが変化の激しい社会を生き抜いていくための確かな学力や自立した社会人となるための力を育む学校教育の充実	34.2
	6. 学校におけるいじめの未然防止や早期発見・早期対応の推進	25.8
	7. 児童生徒が放課後や日常生活を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができる環境づくり	39.2
	8. 学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもの成長を応援する環境づくり	40.9
問7 安全で安心な環境づくり 市民の暮らしを支える	1. 医療サービスや救急医療体制の充実	67.4
	2. 道路や上下水道、市民利用施設等の公共施設の耐震化や適切な維持管理・更新	60.9
	3. 地震や集中豪雨等の災害への対応体制や防災対策の強化	60.2
	4. 消防団強化や地域防災リーダー養成、防災訓練実施、帰宅困難者対策等、地域の防災体制の強化	46.6
	5. 震災の経験と教訓を踏まえた防災教育や防災意識の普及啓発の充実	60.6
	6. 防犯対策や交通安全対策、感染症対策や消費者被害の防止等、安全・安心の暮らしづくり	48.9



(n=2,029)		評価する(計)
問8 自然と市調づくりした持続可能な	1. 温室効果ガス排出量削減や省エネ・創エネ・蓄エネ（3E）の普及浸透等、環境負荷の小さなまちづくり	37.8
	2. ごみ減量・リサイクルの推進等、ごみの発生を抑え、資源を有効に循環させるまちづくり	69.2
	3. レクリエーション農園の利用促進等、市民が農業と交流する様々な機会の創出による農業地域の活性化	37.1
	4. 市街地の緑化や公園の整備、自然環境の保全等、緑美しい百年の杜づくり	68.1
	5. 杜の都にふさわしい景観や都市空間の形成	65.5
	6. 都心部への機能集約や郊外における生活環境の改善等、地域の特性に応じたまちづくり	47.6
	7. 鉄道・地下鉄やバス等の公共交通を中心とする利便性の高い交通体系づくり	52.3
問9 人をひきつけ躍動する仙台の魅力と活かづくり	1. 地域産業の振興や企業誘致による雇用機会の創出	41.0
	2. 働く女性が個性と能力を発揮できる環境づくりや女性の積極的な登用など、企業等における女性の活躍推進	33.4
	3. 賑わい創出や担い手育成等による中心部商店街の活かづくり	37.1
	4. 農業の6次産業化の推進や担い手の確保等による農業の活性化	30.1
	5. 国内外の観光PR・プロモーションやコンベンションの誘致等による交流人口の拡大	46.8
	6. 国際交流の推進	44.4
	7. プロスポーツやさまざまなスポーツイベント等を観ることができる環境づくり	68.1
	8. 仙台七夕まつりや仙台国際ハーフマラソン等さまざまなイベントを生かした仙台ブランドづくり	81.8
	9. 起業しようとする方々への個別相談や応援イベント等、起業支援	30.6
	10. ITや健康福祉、次世代エネルギー等、今後の成長産業の育成・誘致	30.2
	11. 市民協働による沿線にぎわいづくりや沿線開発の促進等、地下鉄東西線沿線のまちづくり	43.2
問10 心の確保、暮らしや経済の再建、復興まちづくりの継続・安心	1. 孤立防止や自立再建に向けた伴走型支援の実施、心身の状態に合わせた健康支援等、被災された方々一人ひとりの状況に応じた生活再建支援	43.7
	2. 安全な地域への移転や現地建替え・修繕等、津波浸水区域における住宅再建支援	53.8
	3. 集団移転跡地の利活用や海岸公園の再整備、みどりの再生、海辺のふる里づくり支援、農業再生等、東部被災地域の復興	55.4
	4. 仙台港周辺地区や蒲生北部の復興に向けた都市基盤の整備や新たな産業の誘致	46.7
	5. かさ上げ道路や津波避難施設の整備等による多重的な津波防災対策	57.1
	6. 震災の記録と記憶を後世へ継承するための活動や国内外への情報発信	61.2
問11 のや公1 市民益1 進参加市 への政	1. 地域団体やNPOの活動の促進や、多様な主体の協働によるまちづくりの推進	42.0
	2. 市政に関する情報の公開や市民からの意見・提案の募集、市民参加イベント等、市政への市民参画の推進	48.6



#### 【問4 学びを楽しむミュージアム都市や学都・仙台の資源を生かすまちづくり】

「評価する（計）」の割合を見ると、「1. 市民がアートイベント等の文化・芸術に触れて楽しめるとともに、自ら文化・芸術活動に取り組める環境づくり」（63.5%）、「2. 様々なミュージアム施設の連携や創意工夫により魅力ある企画を行うなど、学びを楽しむことができる環境づくり」（57.6%）の評価が高く、これらは本市において毎年実施されている定禅寺ストリートジャズフェスティバル、仙台クラシックフェスティバルなどの音楽イベントが浸透・定着してきたためと考えられる。「3. 大学、市民、企業、行政の連携等、「学都」に集積した人材や知的資源を生かしたまちづくり」（53.8%）も5割以上の評価となっているが、今後も学都としての資源を本市の強みとして施策に生かしていくことが必要である。

#### 【問5 誰もが共に生き、自立して暮らしやすい環境づくり】

「評価する（計）」の割合を見ると、「2. 生活習慣病予防対策や健診体制の充実等、健康づくりの推進」（64.6%）の評価が最も高く、「3. 介護予防対策や介護サービスの質の確保・向上等、高齢者の暮らしを支える環境づくり」（49.1%）が続いている。これらは本市の生活習慣病予防等の情報発信や健康診断受診の啓発等の実施、高齢者の暮らしを支える環境づくりや介護予防の取り組みの推進などが評価されたものと考えられる。

#### 【問6 子育て支援や教育環境の充実】

「評価する（計）」の割合を見ると、「1. 児童館の整備や児童クラブの運営等、児童の健全育成のための環境づくり」（56.0%）の評価が最も高く、「2. 保育施設等の整備や幼稚園の預かり保育の実施、延長保育・一時預かりの充実等、安心して子育てができる環境づくり」（46.0%）、「3. 「のびすく」等での子育て支援ネットワークの充実や仕事と家庭の両立支援等、子育て家庭を応援する社会づくり」（45.4%）、「4. 区役所等における、妊娠期から子育て期にわたる総合的な相談体制と支援の充実」（43.4%）の順が続いている。

一方、「6. 学校におけるいじめの未然防止や早期発見・早期対応の推進」は25.8%と評価が低く、「評価しない（計）」の割合が47.2%となっている。

放課後児童クラブの充実や保育所待機児童の解消に向けた環境整備などが評価されたものと考えられるが、いじめ防止に向けては更なる取り組みを進める必要がある。

#### 【問7 安全で安心な市民の暮らしを支える環境づくり】

「評価する（計）」の割合を見ると、「1. 医療サービスや救急医療体制の充実」（67.4%）の評価が最も高く、「2. 道路や上下水道、市民利用施設等の公共施設の耐震化や適切な維持管理・更新」（60.9%）、「5. 震災の経験と教訓を踏まえた防災教育や防災意識の普及啓発の充実」（60.6%）、「3. 地震や集中豪雨等の災害への対応体制や防災対策の強化」（60.2%）なども6割以上の評価となっている。これらは本市の休日・夜間診療体制等の取り組みや市民参加型訓練の実施による防災意識の普及・啓発が評価されたものと考えられる。



**【問8 自然と調和した持続可能な都市づくり】**

「評価する（計）」の割合を見ると、「2. ごみ減量・リサイクルの推進等、ごみの発生を抑え、資源を有効に循環させるまちづくり」（69.2%）、「4. 市街地の緑化や公園の整備、自然環境の保全等、緑美しい百年の杜づくり」（68.1%）「5. 杜の都にふさわしい景観や都市空間の形成」（65.5%）が6割以上の評価となっている。これらは杜の都を継承した景観形成や青葉山公園整備に向けた取り組みの評価や本市のごみ減量・分別推進キャンペーン「WAKE UP（ワケアップ）!!仙台」の実施によって市民に対して啓発してきた結果が評価されたものと考えられる。

**【問9 人をひきつけ躍動する仙台の魅力と活力づくり】**

「評価する（計）」の割合を見ると、「8. 仙台七夕まつりや仙台国際ハーフマラソン等さまざまなイベントを生かした仙台ブランドづくり」（81.8%）の評価が最も高く、次に「7. プロスポーツやさまざまなスポーツイベント等を観ることができる環境づくり」（68.1%）が続いている。これらは七夕まつりや青葉まつり等のイベント開催、スポーツイベントやスポーツ活動支援等の実施などが市民に広く評価されたものと考えられる。

一方、「9. 起業しようとする方々への個別相談や応援イベント等、起業支援」「10. IT や健康福祉、次世代エネルギー等、今後の成長産業の育成・誘致」「4. 農業の6次産業化の推進や担い手の確保等による農業の活性化」は、「評価しない（計）」の割合が4割以上と高く、今後も市民への分かりやすい広報を含めた施策の充実を図る必要がある。

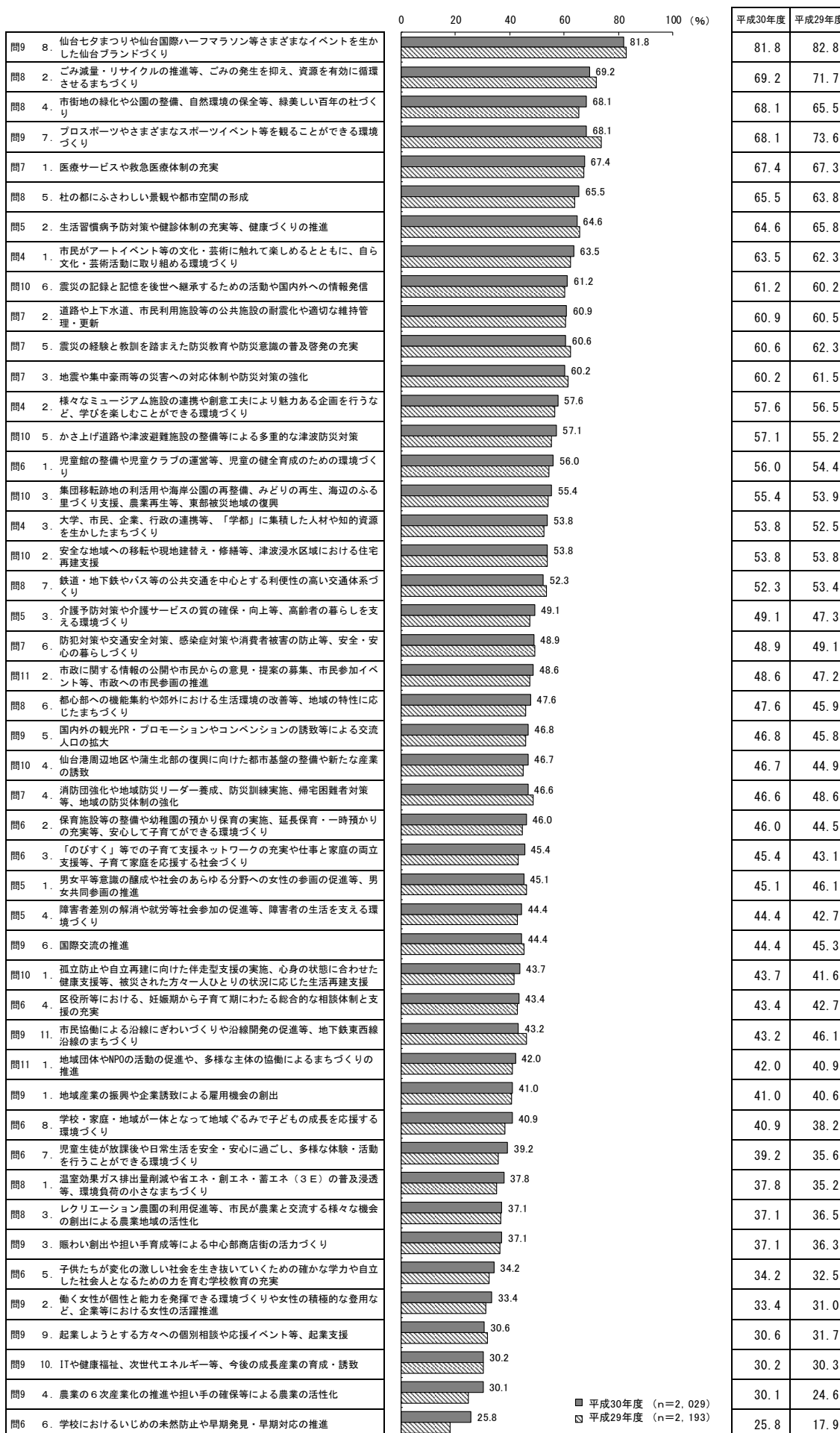
**【問10 暮らしや経済の再建、安全・安心の確保、震災の経験と教訓の継承など、復興まちづくり】**

「評価する（計）」の割合を見ると、「6. 震災の記録と記憶を後世へ継承するための活動や国内外への情報発信」（61.2%）の評価が最も高く、「5. かさ上げ道路や津波避難施設の整備等による多重的な津波防災対策」（57.1%）、「3. 集団移転跡地の利活用や海岸公園の再整備、みどりの再生、海辺のふる里づくり支援、農業再生等、東部被災地域の復興」（55.4%）、「2. 安全な地域への移転や現地建替え・修繕等、津波浸水区域における住宅再建支援」（53.8%）なども5割以上の評価となっている。これらは平成29年4月に一般公開された震災遺構仙台市荒浜小学校など、東日本大震災から得た教訓や課題を次世代へ継承するための取り組みが評価されたものと考えられる。

**【問11 市政や公益活動への市民参加の促進】**

「評価する（計）」の割合を見ると、「2. 市政に関する情報の公開や市民からの意見・提案の募集、市民参加イベント等、市政への市民参画の推進」（48.6%）、「1. 地域団体やNPOの活動の促進や、多様な主体の協働によるまちづくりの推進」（42.0%）の順となっている。しかし、両者とも「わからない」の割合が3割以上となっていることから、今後も市民に対する情報提供などの広報活動を含めた施策を推進するとともに、市民の参画を促進していく必要がある。

## 「評価する（計）」一覧（経年比較）



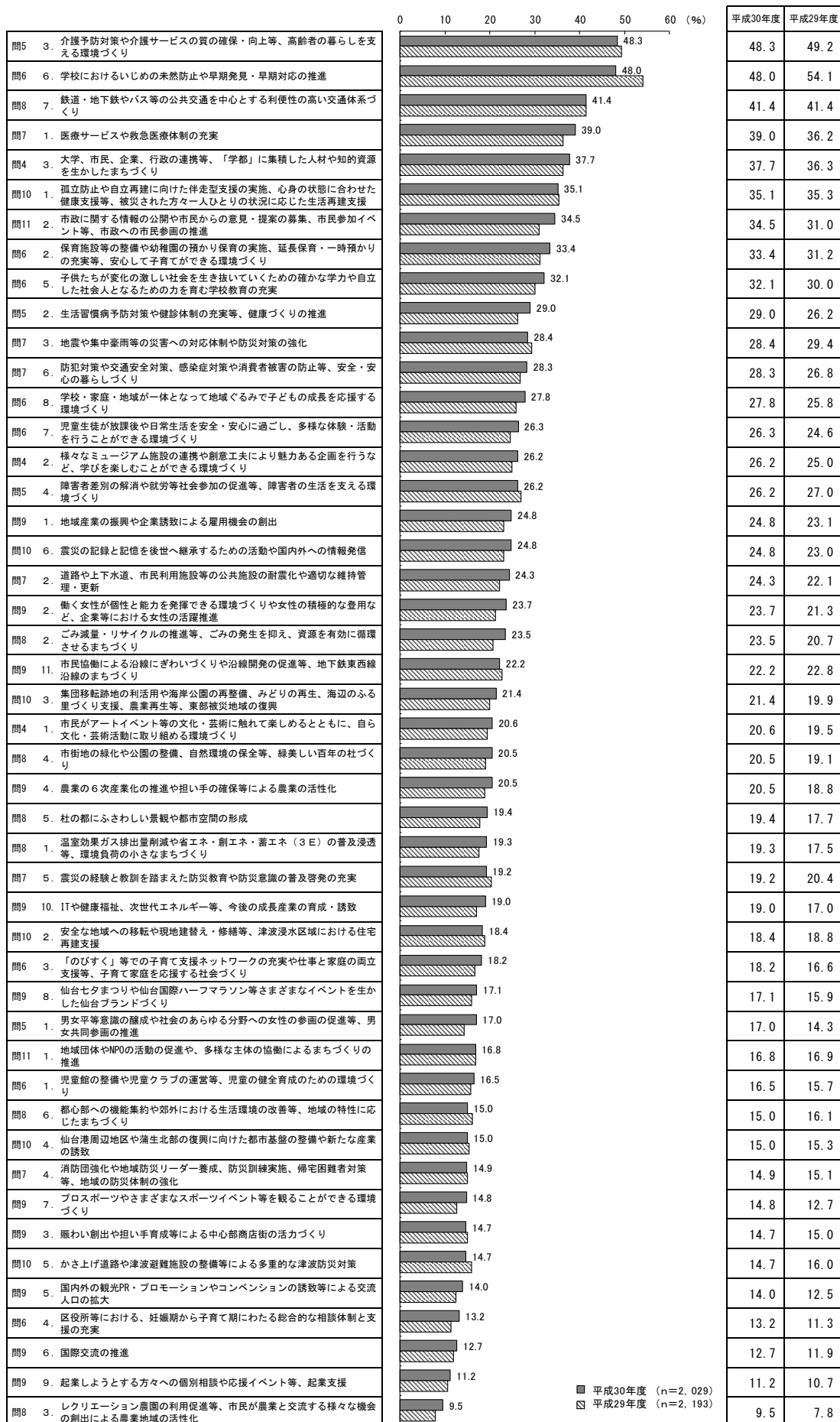
「評価する（計）」（上位5項目の経年比較）

	平成 30 年度	平成 29 年度
1 位	仙台七夕まつりや仙台国際ハーフマラソン等さまざまなイベントを生かした仙台ブランドづくり 81.8%	仙台七夕まつりや仙台国際ハーフマラソン等さまざまなイベントを生かした仙台ブランドづくり 82.8%
2 位	ごみ減量・リサイクルの推進等、ごみの発生を抑え、資源を有効に循環させるまちづくり 69.2%	プロスポーツやさまざまなスポーツイベント等を観ることができる環境づくり 73.6%
3 位	市街地の緑化や公園の整備、自然環境の保全等、緑美しい百年の杜づくり 68.1%	ごみ減量・リサイクルの推進等、ごみの発生を抑え、資源を有効に循環させるまちづくり 71.7%
3 位	プロスポーツやさまざまなスポーツイベント等を観ることができる環境づくり 68.1%	医療サービスや救急医療体制の充実 67.3%
5 位	医療サービスや救急医療体制の充実 67.4%	生活習慣病予防対策や健診体制の充実等、健康づくりの推進 65.8%

上位5項目について昨年度と比べると、1位は昨年度同様に「仙台七夕まつりや仙台国際ハーフマラソン等さまざまなイベントを生かした仙台ブランドづくり」で、8割以上の高い評価となった。それ以外の項目もほぼ昨年度と同じ項目が上位にあげられているが、「市街地の緑化や公園の整備、自然環境の保全等、緑美しい百年の杜づくり」（68.1%）は、昨年度6位から今年度3位へと順位が上がっている。

## (2) 力をいれるべき施策一覧

問4～問11 今後、特に力をいれていくべきと思う施策に○をつけてください。(○は複数可)



今後、特に力をいれていくべきと思う施策（上位5項目の経年比較）

	平成 30 年度	平成 29 年度
1 位	介護予防対策や介護サービスの質の確保・向上等、高齢者の暮らしを支える環境づくり 48.3%	学校におけるいじめの未然防止や早期発見・早期対応の推進 54.1%
2 位	学校におけるいじめの未然防止や早期発見・早期対応の推進 48.0%	介護予防対策や介護サービスの質の確保・向上等、高齢者の暮らしを支える環境づくり 49.2%
3 位	鉄道・地下鉄やバス等の公共交通を中心とする利便性の高い交通体系づくり 41.4%	鉄道・地下鉄やバス等の公共交通を中心とする利便性の高い交通体系づくり 41.4%
4 位	医療サービスや救急医療体制の充実 39.0%	大学、市民、企業、行政の連携等、「学都」に集積した人材や知的資源を生かしたまちづくり 36.3%
5 位	大学、市民、企業、行政の連携等、「学都」に集積した人材や知的資源を生かしたまちづくり 37.7%	医療サービスや救急医療体制の充実 36.2%

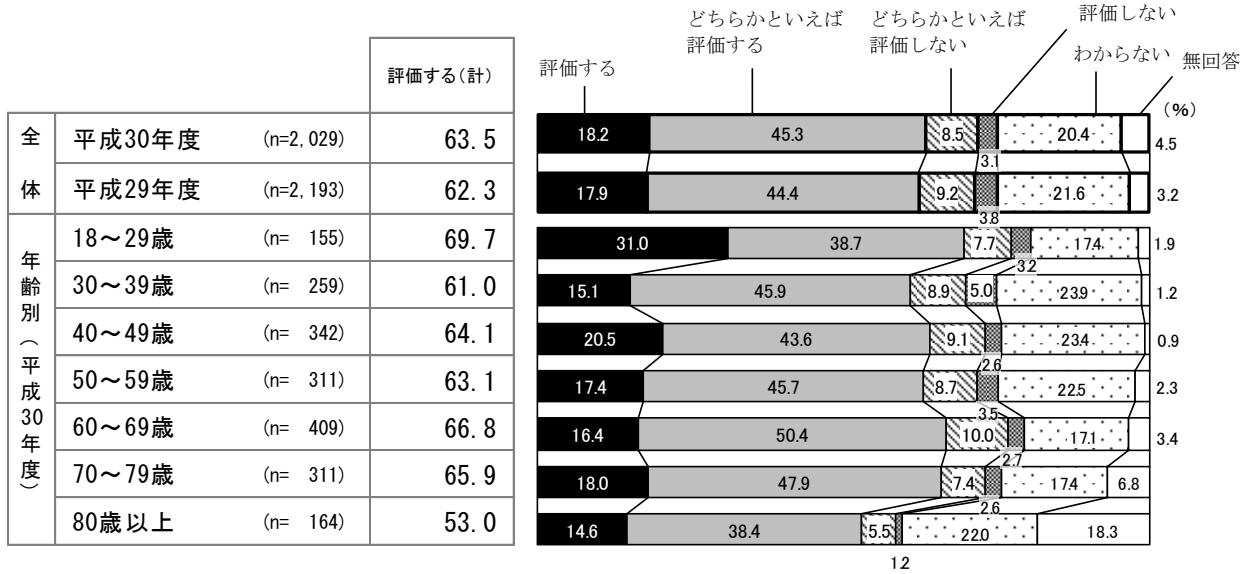
今後、特に力をいれていくべきと思う施策については、「介護予防対策や介護サービスの質の確保・向上等、高齢者の暮らしを支える環境づくり」（48.3%）が最も高く、次いで「学校におけるいじめの未然防止や早期発見・早期対応の推進」（48.0%）、「鉄道・地下鉄やバス等の公共交通を中心とする利便性の高い交通体系づくり」（41.4%）、「医療サービスや救急医療体制の充実」（39.0%）、「大学、市民、企業、行政の連携等、「学都」に集積した人材や知的資源を生かしたまちづくり」（37.7%）などと続いている。

高齢者が安心して暮らし続けていけるよう、介護サービスなど生活支援の充実や、いじめ対策など子どもたちの健やかな成長を支援する環境づくりが求められている。

昨年度と比べると、ほぼ同じ項目が上位にあげられている。また、昨年度1位であった「学校におけるいじめの未然防止や早期発見・早期対応の推進」は6.1ポイント減少し、今年度は2位となった。

### (3) 経年比較・年齢層別評価

#### 問4 1. 市民がアートイベント等の文化・芸術に触れて楽しめるとともに、自ら文化・芸術活動に取り組める環境づくり

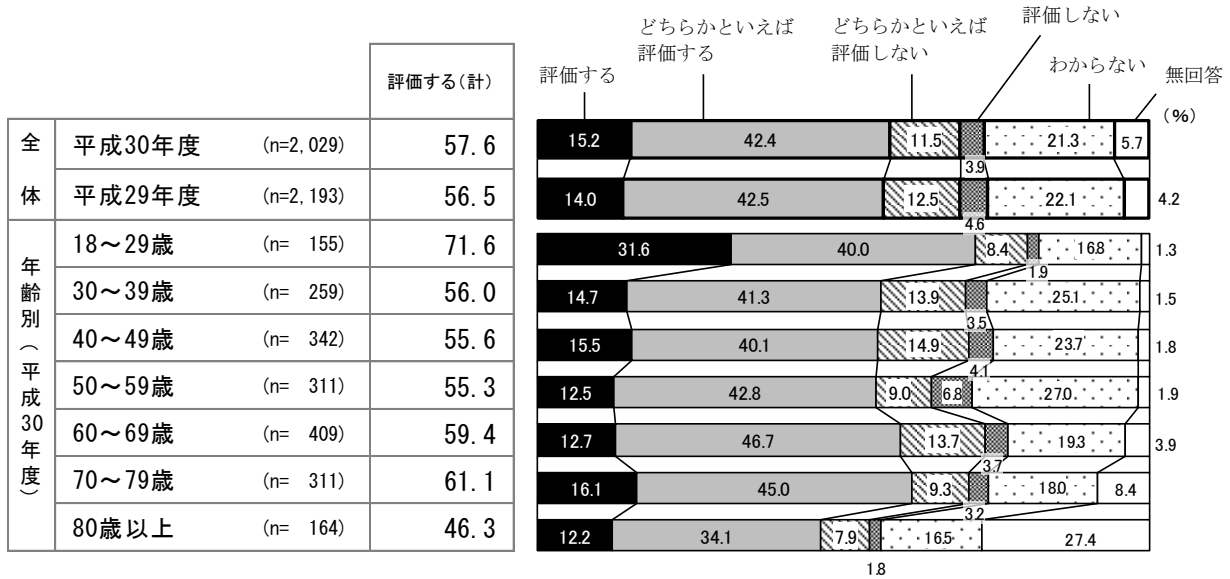


全体では、「評価する(計)」の割合が63.5%となっている。

昨年度と比べると、「評価する(計)」の割合が1.2ポイント増加している。

年齢層別では、18～29歳で「評価する(計)」の割合が69.7%となっており、他の年齢層に比べて高い。一方、80歳以上は「評価する(計)」の割合が53.0%となっており、他の年齢層に比べて低い。

#### 問4 2. 様々なミュージアム施設の連携や創意工夫により魅力ある企画を行うなど、学びを楽しむことができる環境づくり

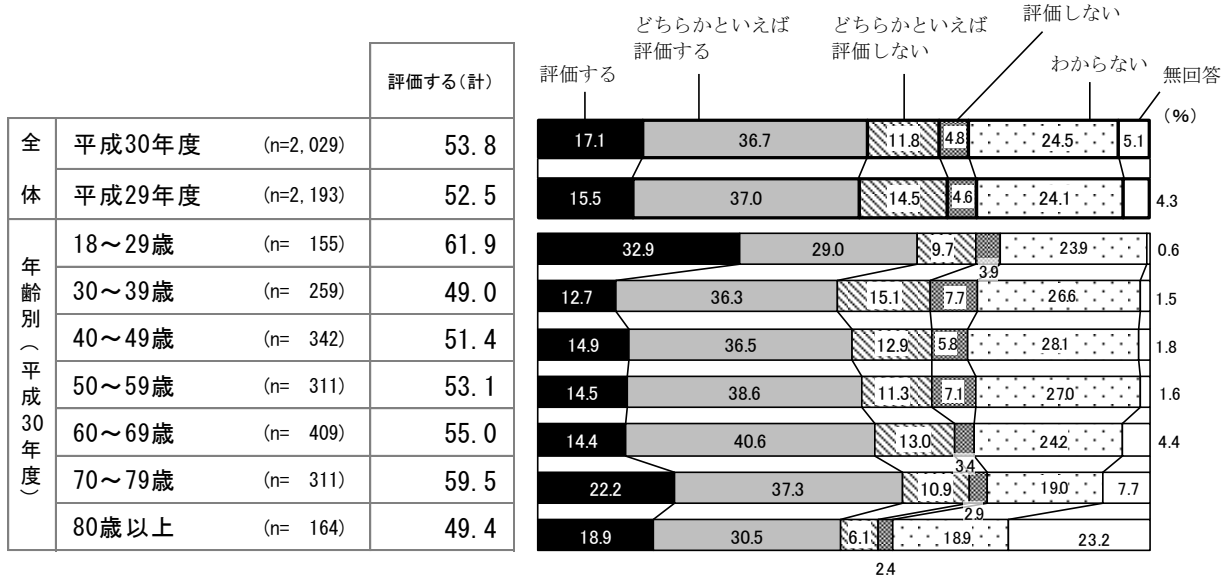


全体では、「評価する(計)」の割合が57.6%となっている。

昨年度と比べると、「評価する(計)」の割合が1.1ポイント増加している。

年齢層別では、18～29歳で「評価する(計)」の割合が71.6%となっており、他の年齢層に比べて高い。一方、80歳以上は「評価する(計)」の割合が46.3%となっており、他の年齢層に比べて低い。

問4 3. 大学、市民、企業、行政の連携等、「学都」に集積した人材や知的資源を生かしたまちづくり

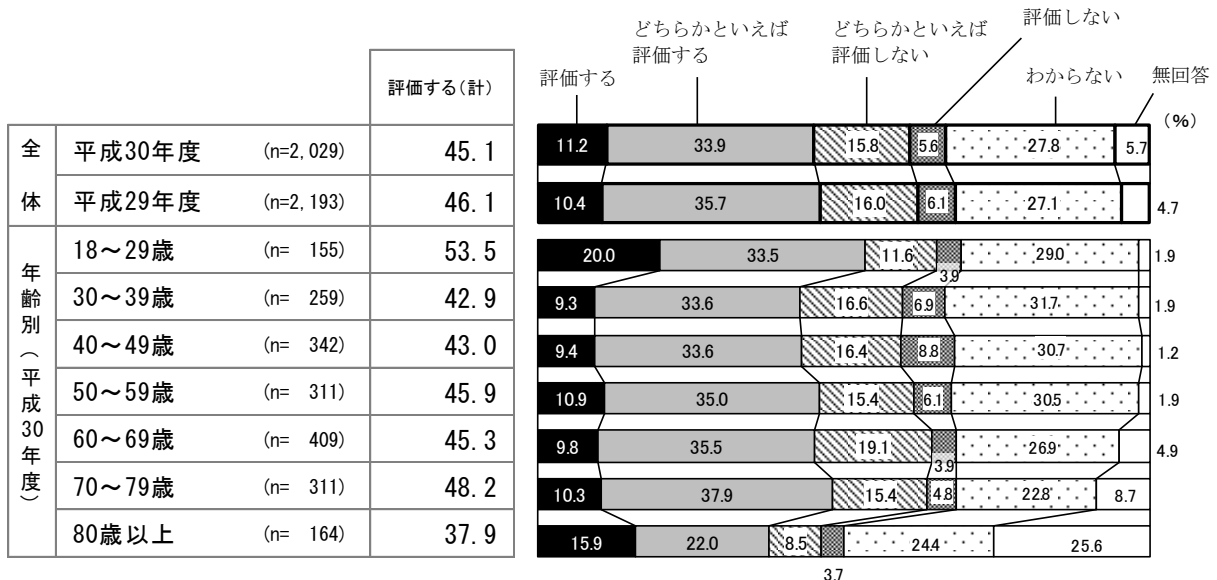


全体では、「評価する (計)」の割合が 53.8%となっている。

昨年度と比べると、「評価する (計)」の割合が 1.3 ポイント増加している。

年齢層別では、18~29 歳で「評価する (計)」の割合が 61.9%となっており、他の年齢層に比べて高い。一方、80 歳以上は「評価する (計)」の割合が 49.4%となっており、他の年齢層に比べて低い。

問5 1. 男女平等意識の醸成や社会のあらゆる分野への女性の参画の促進等、男女共同参画の推進

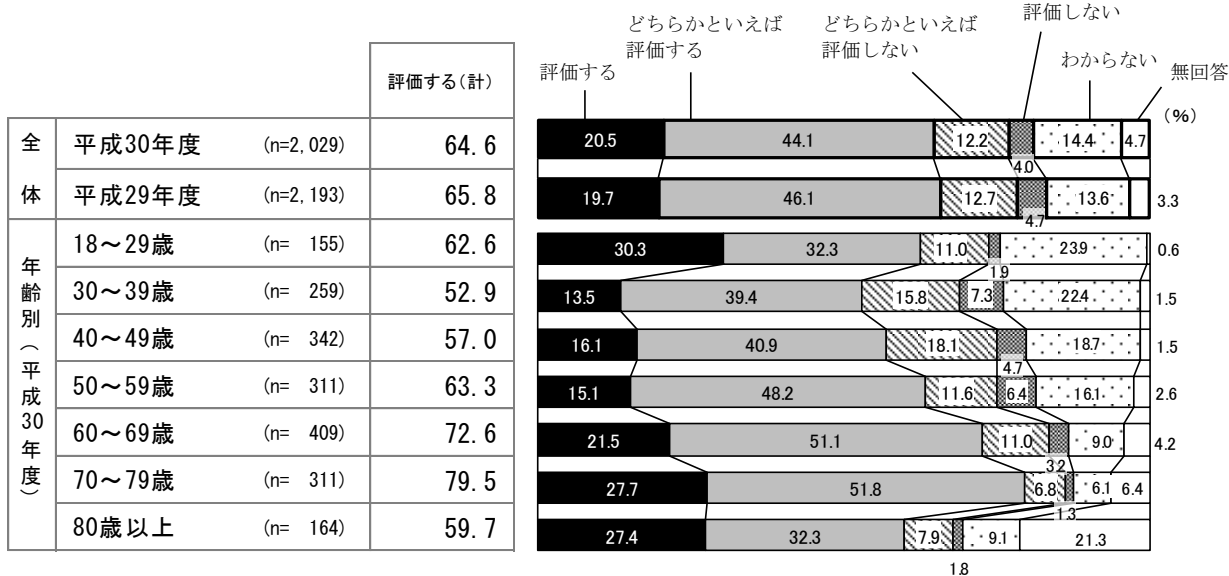


全体では、「評価する (計)」の割合が 45.1%となっている。

昨年度と比べると、「評価する (計)」の割合が 1.0 ポイント減少している。

年齢層別では、18~29 歳で「評価する (計)」の割合が 53.5%となっており、他の年齢層に比べて高い。一方、80 歳以上は「評価する (計)」の割合が 37.9%となっており、他の年齢層に比べて低い。

問5 2. 生活習慣病予防対策や健診体制の充実等、健康づくりの推進

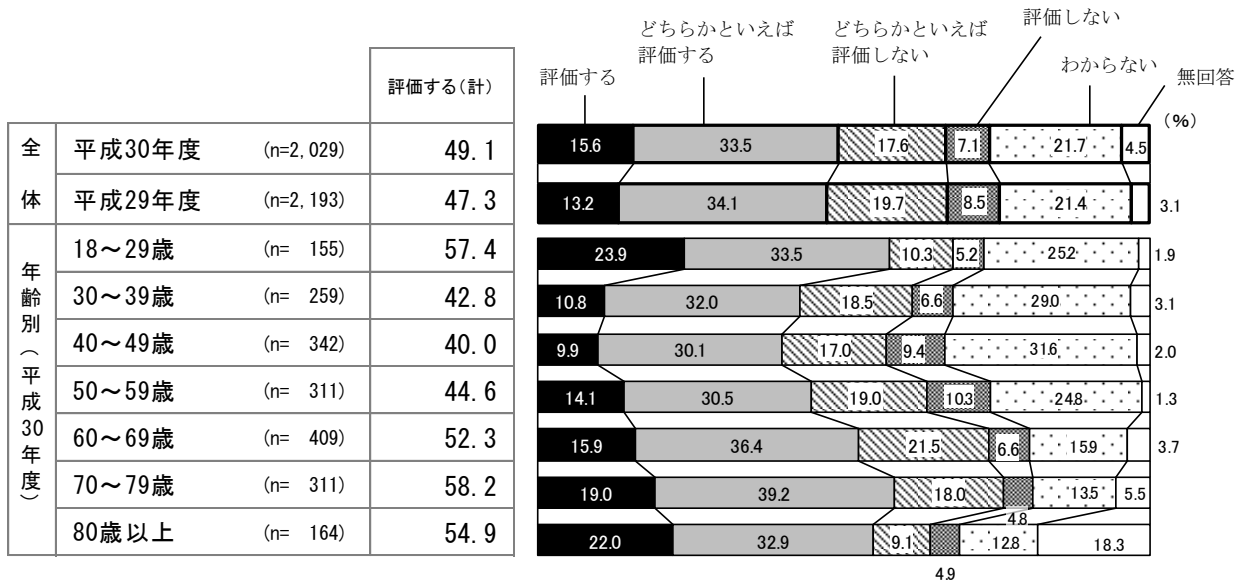


全体では、「評価する (計)」の割合が64.6%となっている。

昨年度と比べると、「評価する (計)」の割合が1.2ポイント減少している。

年齢層別では、18~29歳と50~59歳で「評価する (計)」の割合が6割以上、60~69歳と70~79歳で7割以上となっており、他の年齢層に比べて高い。

問5 3. 介護予防対策や介護サービスの質の確保・向上等、高齢者の暮らしを支える環境づくり



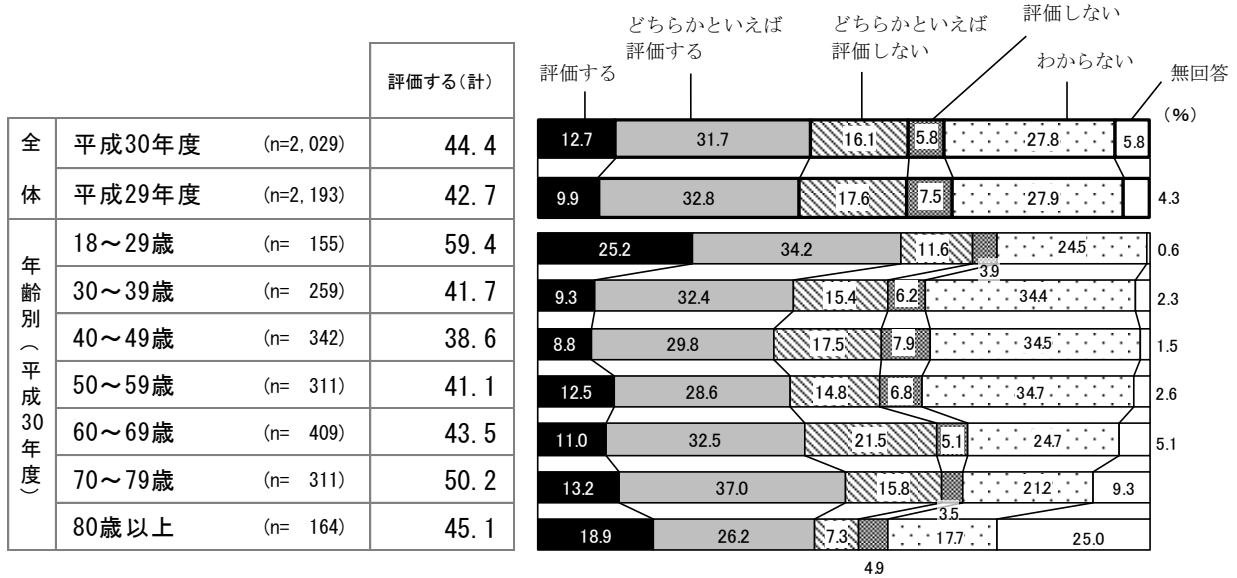
全体では、「評価する (計)」の割合が49.1%となっている。

昨年度と比べると、「評価する (計)」の割合が1.8ポイント増加している。

年齢層別では、18~29歳と60歳以上では「評価する (計)」の割合が5割以上である。



問5 4. 障害者差別の解消や就労等社会参加の促進等、障害者の生活を支える環境づくり

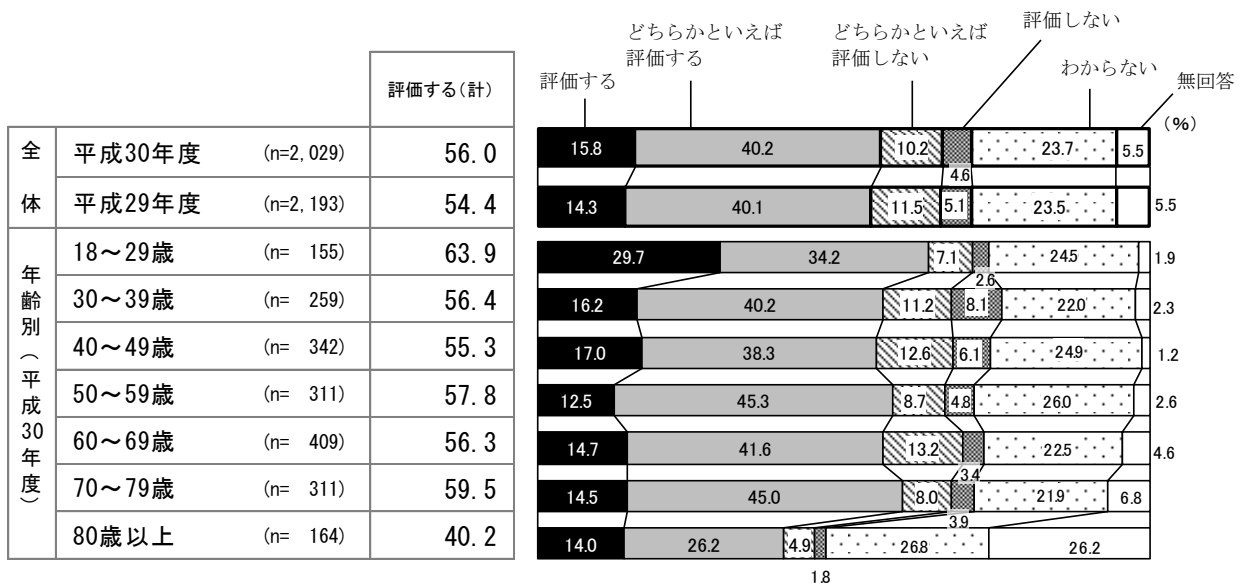


全体では、「評価する (計)」の割合が44.4%となっている。

昨年度と比べると、「評価する (計)」の割合が1.7ポイント増加している。

年齢層別では、18～29歳で「評価する (計)」の割合が59.4%となっており、他の年齢層に比べて高い。

問6 1. 児童館の整備や児童クラブの運営等、児童の健全育成のための環境づくり

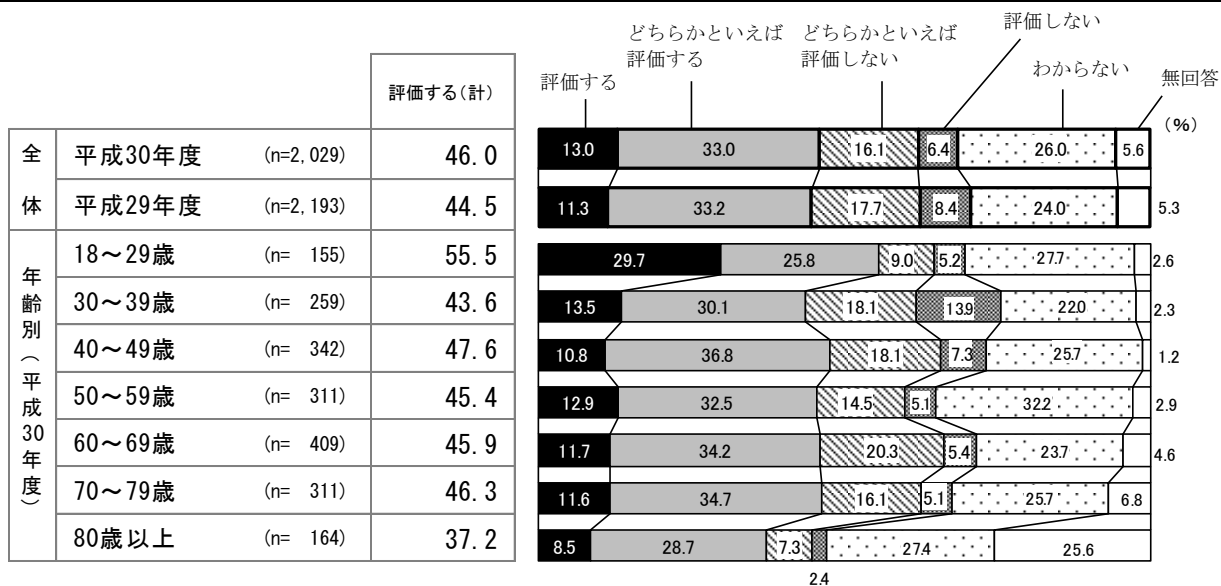


全体では、「評価する (計)」の割合が56.0%となっている。

昨年度と比べると、「評価する (計)」の割合が1.6ポイント増加している。

年齢層別では、18～29歳で「評価する (計)」の割合が63.9%となっており、他の年齢層に比べて高い。

問6 2. 保育施設等の整備や幼稚園の預かり保育の実施、延長保育・一時預かりの充実等、安心して子育てができる環境づくり

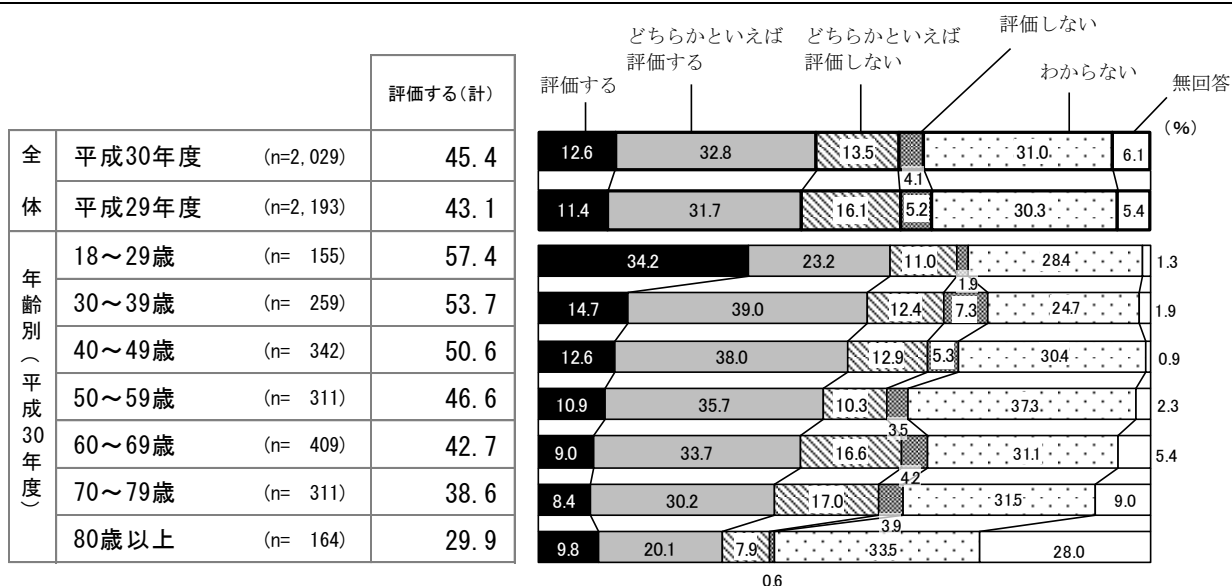


全体では、「評価する(計)」の割合が46.0%となっている。

昨年度と比べると、「評価する(計)」の割合が1.5ポイント増加している。

年齢層別では、18～29歳で「評価する(計)」の割合が55.5%となっており、他の年齢層に比べて高い。一方、30～39歳は「評価しない(計)」の割合が32.0%と高い。

問6 3. 「のびすく」等での子育て支援ネットワークの充実や仕事と家庭の両立支援等、子育て家庭を応援する社会づくり

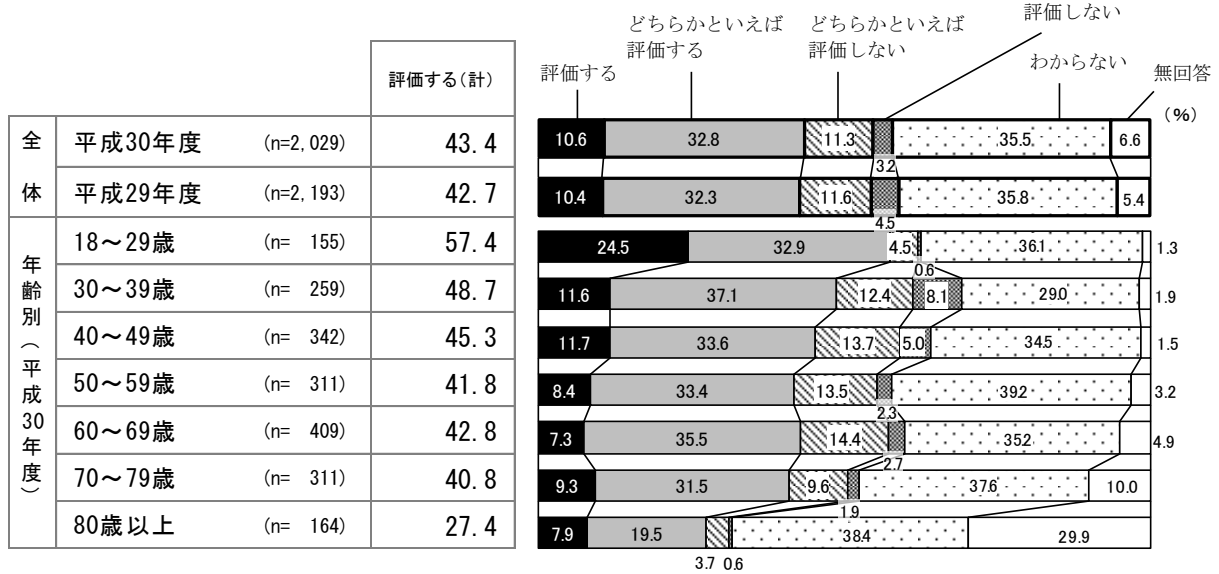


全体では、「評価する(計)」の割合が45.4%となっている。

昨年度と比べると、「評価する(計)」の割合が2.3ポイント増加している。また、昨年同様、「わからない」の割合が3割程度と高い。

年齢層別では、年齢層が下がるほど「評価する(計)」の割合が高い傾向が見られる。

問6 4. 区役所等における、妊娠期から子育て期にわたる総合的な相談体制と支援の充実

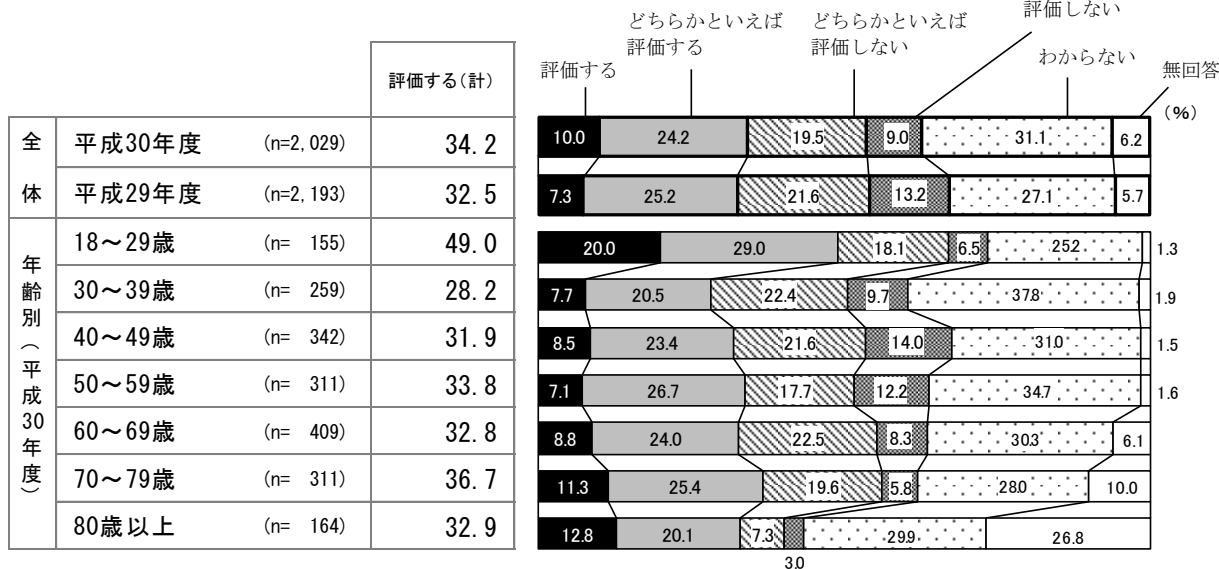


全体では、「評価する (計)」の割合が43.4%となっている。

昨年度と比べると、「評価する (計)」の割合が0.7ポイント増加している。また、昨年同様、「わからない」の割合が3割以上と高い。

年齢層別では、18~29歳で「評価する (計)」の割合が57.4%となっており、他の年齢層に比べて高い。

問6 5. 子供たちが変化の激しい社会を生き抜いていくための確かな学力や自立した社会人となるための力を育む学校教育の充実

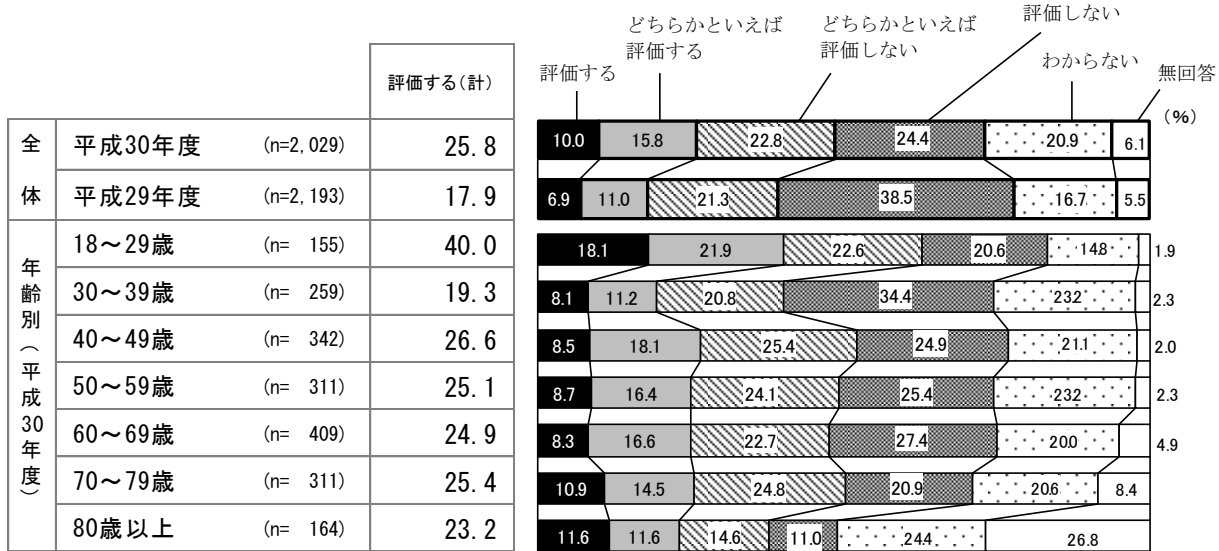


全体では、「評価する (計)」の割合が34.2%となっている。

昨年度と比べると、「評価する (計)」の割合が1.7ポイント増加している。また、「わからない」の割合が3割程度と、昨年度に比べて高い。

年齢層別では、18~29歳で「評価する (計)」の割合が49.0%となっており、他の年齢層に比べて高い。一方、40~49歳は「評価しない (計)」の割合が35.6%と、他の年齢層に比べて高い。

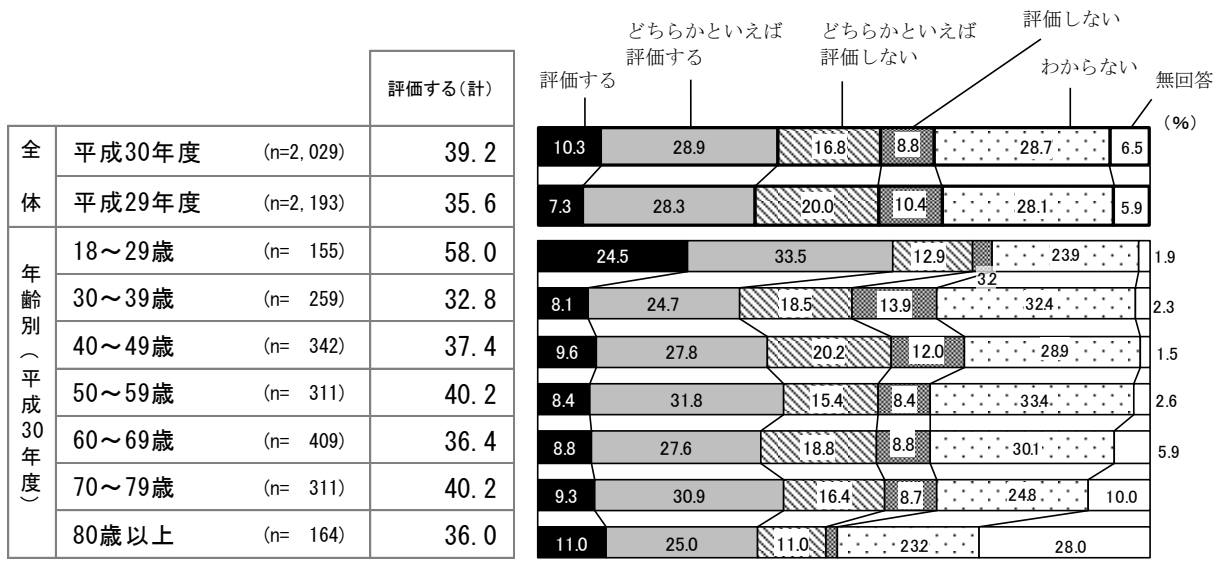
問6 6. 学校におけるいじめの未然防止や早期発見・早期対応の推進



全体では、「評価する(計)」の割合が25.8%と、昨年度に比べると7.9ポイント増加しているものの、「評価しない(計)」の割合(47.2%)を大きく下回っている。

年齢層別では、18～29歳で「評価する(計)」の割合が40.0%となっており、他の年齢層に比べて高い。一方、「評価しない(計)」が最も高い年齢層は30～39歳である。

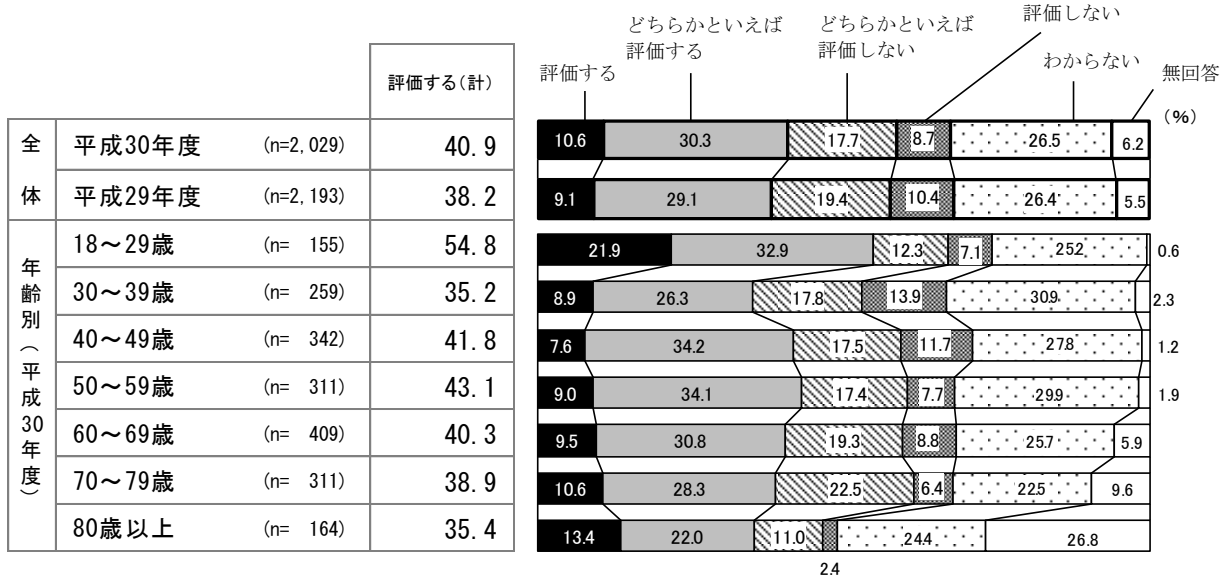
問6 7. 児童生徒が放課後や日常生活を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができる環境づくり



全体では、「評価する(計)」の割合が39.2%となっている。  
昨年度と比べると、「評価する」と答えた方が3.0ポイント増加、「どちらかといえば評価する」と答えた方が0.6ポイント増加している。

年齢層別では、18～29歳で「評価する(計)」の割合が58.0%となっており、他の年齢層に比べて高い。30～40代では「評価しない(計)」の割合が3割以上となっており、他の年齢層に比べて高い。

問6 8. 学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもの成長を応援する環境づくり

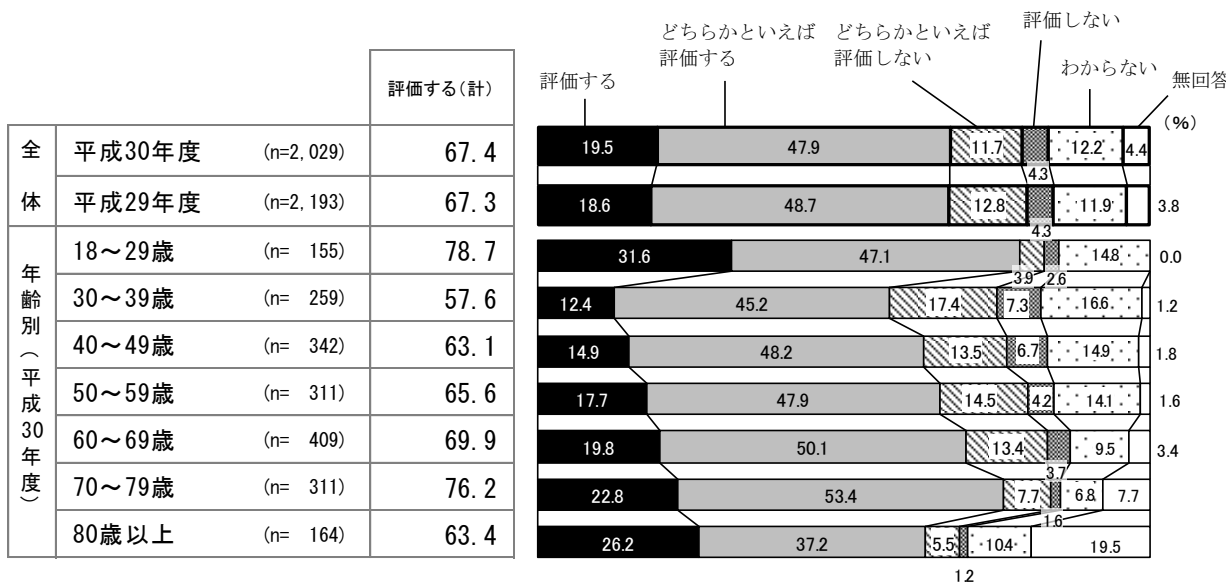


全体では、「評価する (計)」の割合が40.9%となっている。

昨年度と比べると、「評価する (計)」の割合が2.7ポイント増加している。

年齢層別では、18～29歳で「評価する (計)」の割合が54.8%となっており、他の年齢層に比べて高い。30～40代では「評価しない (計)」の割合が3割前後となっており、他の年齢層に比べて高い。

問7 1. 医療サービスや救急医療体制の充実

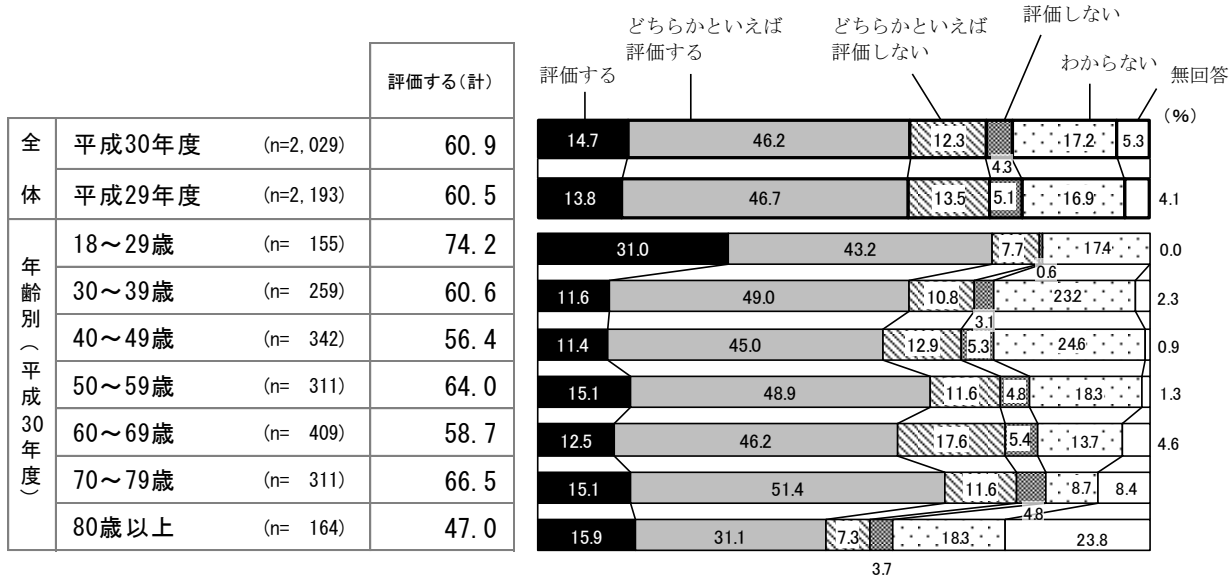


全体では、「評価する (計)」の割合が67.4%となっている。

昨年度と比べると、「評価する (計)」の割合が0.1ポイント増加している。

年齢層別では、18～29歳と70～79歳で「評価する (計)」の割合が7割以上となっており、他の年齢層に比べて高い。

問7 2. 道路や上下水道、市民利用施設等の公共施設の耐震化や適切な維持管理・更新

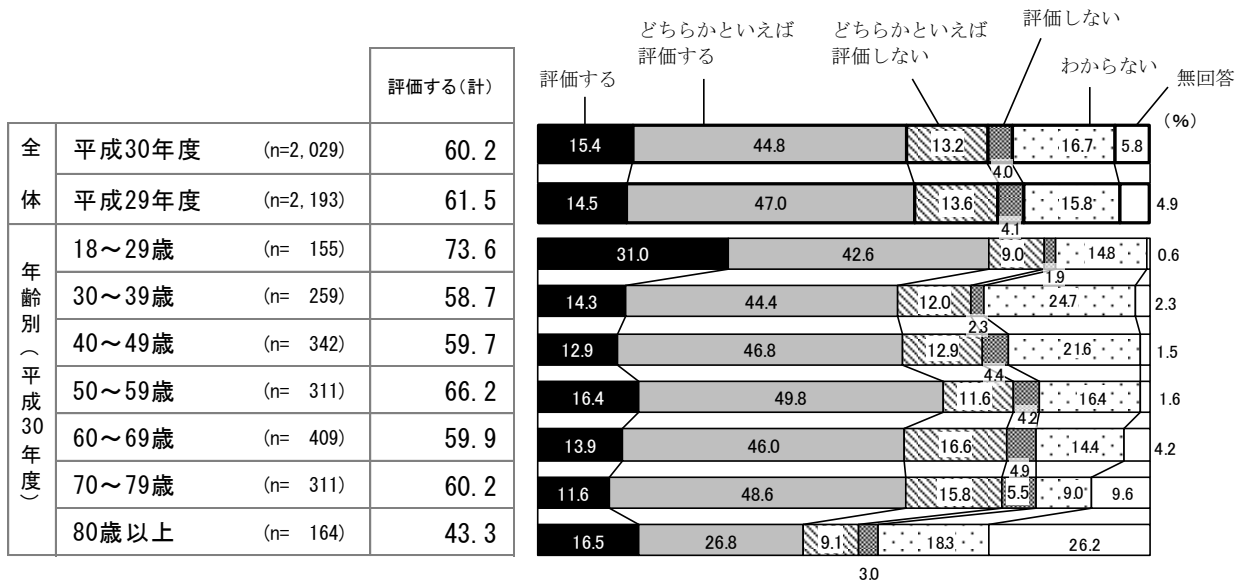


全体では、「評価する (計)」の割合が60.9%となっている。

昨年度と比べると、「評価する (計)」の割合が0.4ポイント増加している。

年齢層別では、18~29歳で「評価する (計)」の割合が74.2%となっており、他の年齢層に比べて高い。一方、80歳以上は「評価する (計)」の割合が47.0%となっており、他の年齢層に比べて低い。

問7 3. 地震や集中豪雨等の災害への対応体制や防災対策の強化

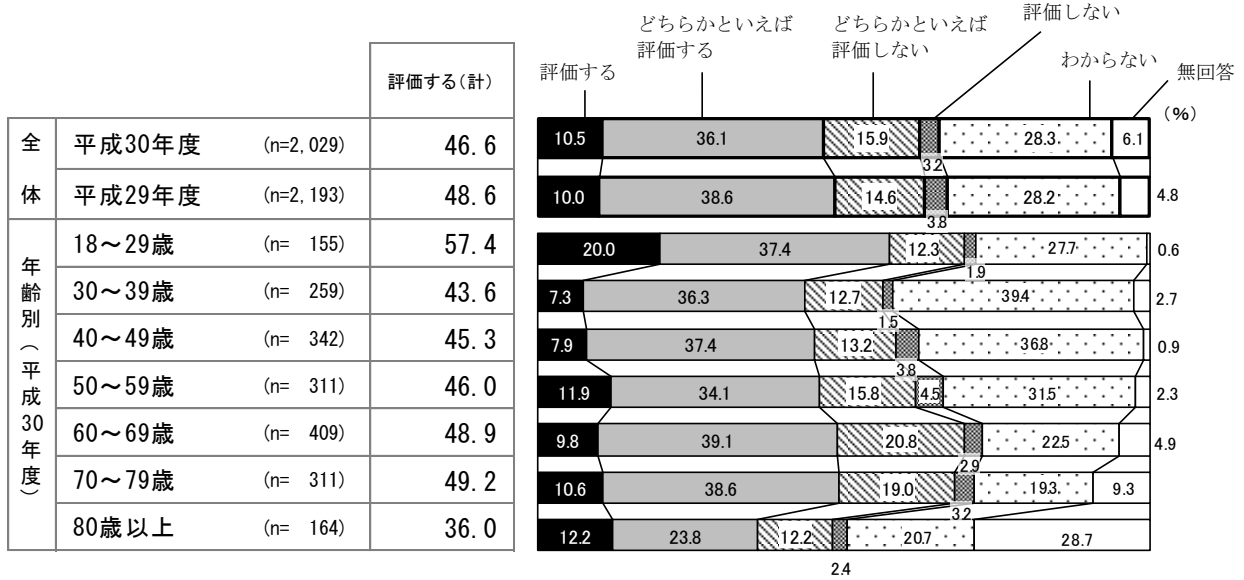


全体では、「評価する (計)」の割合が60.2%となっている。

昨年度と比べると、「評価する (計)」の割合が1.3ポイント減少している。

年齢層別では、18~29歳で「評価する (計)」の割合が73.6%となっており、他の年齢層に比べて高い。

問7 4. 消防団強化や地域防災リーダー養成、防災訓練実施、帰宅困難者対策等、地域の防災体制の強化

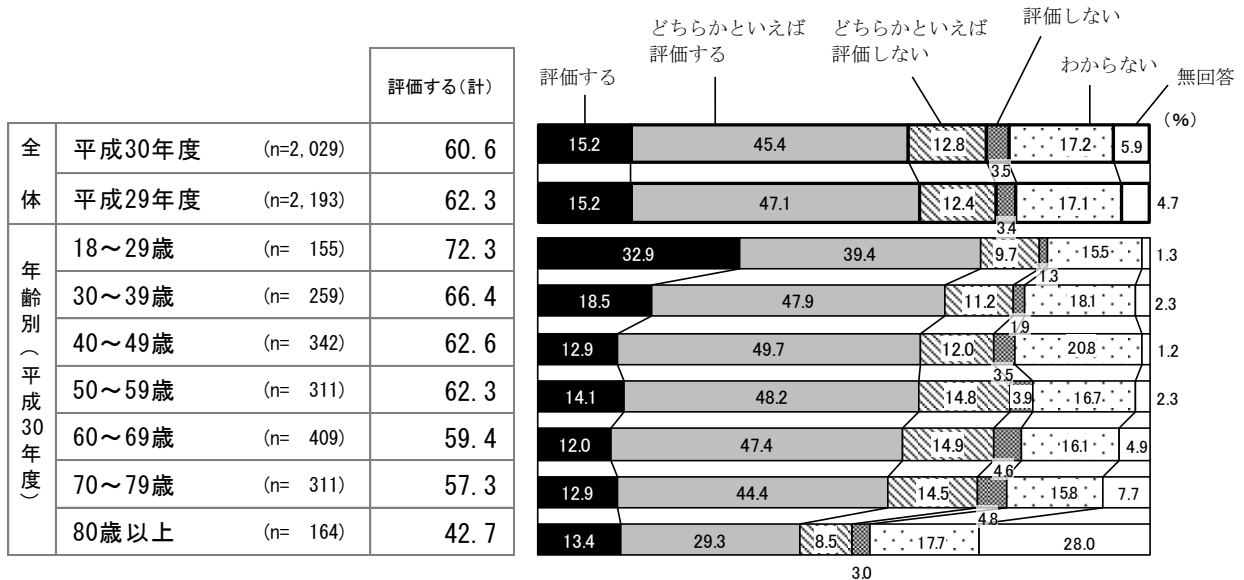


全体では、「評価する (計)」の割合が46.6%となっている。

昨年度と比べると、「評価する (計)」の割合が2.0ポイント減少している。

年齢層別では、18～29歳で「評価する (計)」の割合が57.4%となっており、他の年齢層に比べて高い。

問7 5. 震災の経験と教訓を踏まえた防災教育や防災意識の普及啓発の充実

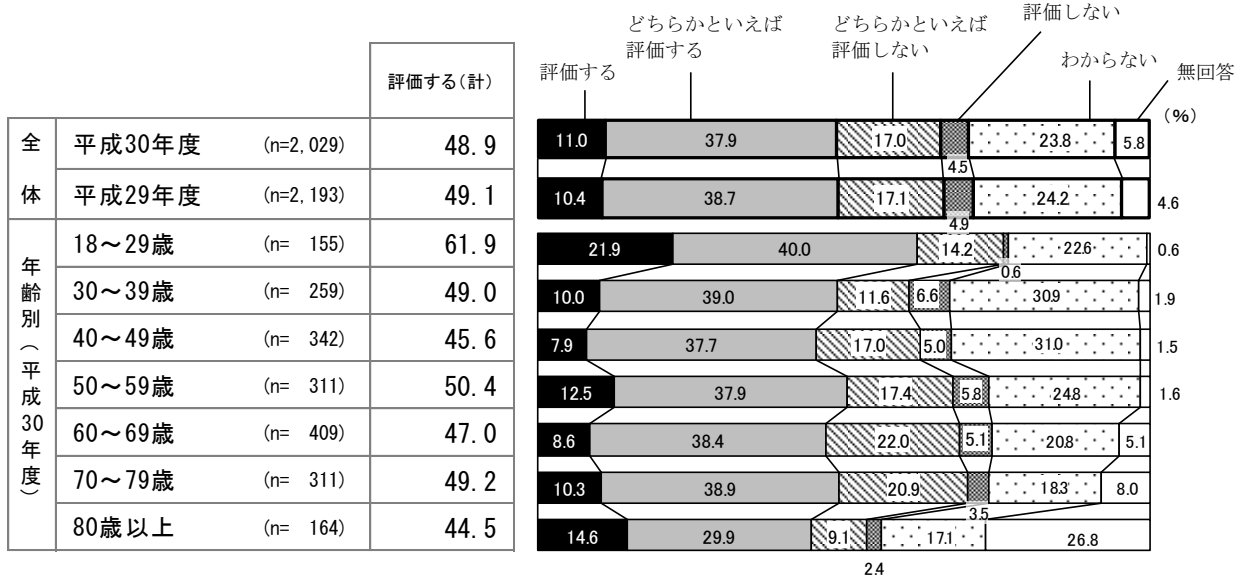


全体では、「評価する (計)」の割合が60.6%となっている。

昨年度と比べると、「評価する (計)」の割合が1.7ポイント減少している。

年齢層別では、年齢層が下がるほど「評価する (計)」の割合が高くなる傾向が見られる。

問7 6. 防犯対策や交通安全対策、感染症対策や消費者被害の防止等、安全・安心の暮らしづくり

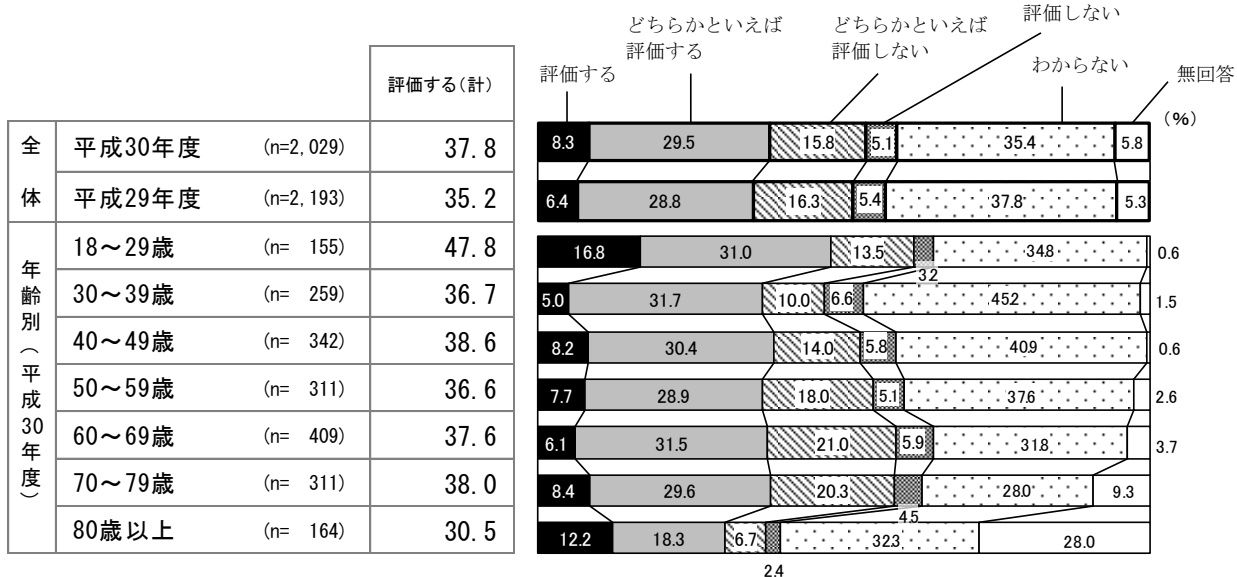


全体では、「評価する(計)」の割合が48.9%となっている。

昨年度と比べると、「評価する(計)」の割合が0.2ポイント減少している。

年齢層別では、18~29歳で「評価する(計)」の割合が61.9%となっており、他の年齢層に比べて高い。

問8 1. 温室効果ガス排出量削減や省エネ・創エネ・蓄エネ(3E)の普及浸透等、環境負荷の小さなまちづくり



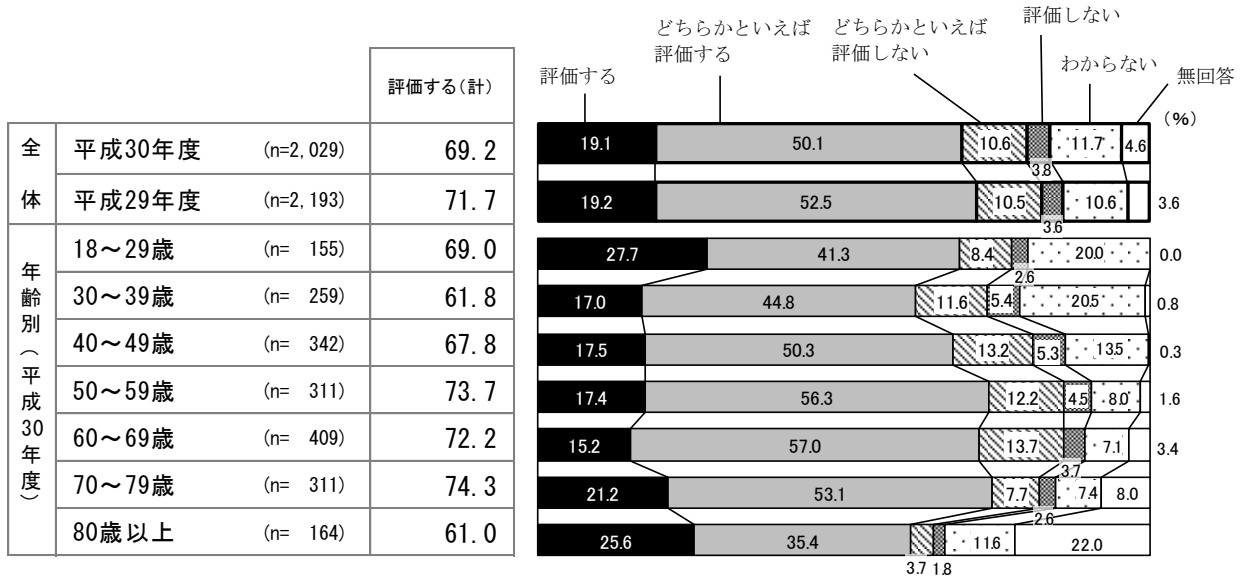
全体では、「評価する(計)」の割合が37.8%となっている。

昨年度と比べると、「評価する(計)」の割合が2.6ポイント増加している。また、昨年同様、「わからない」の割合が3割以上と高い。

年齢層別では、18~29歳で「評価する(計)」の割合が47.8%となっており、他の年齢層に比べて高い。

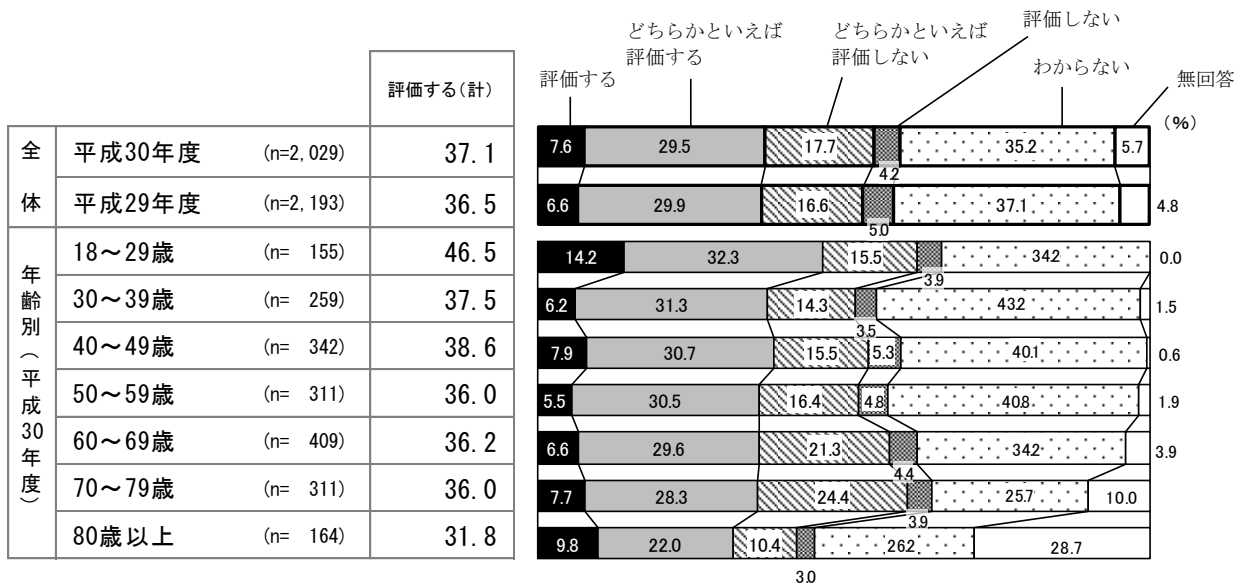


問8 2. ごみ減量・リサイクルの推進等、ごみの発生を抑え、資源を有効に循環させるまちづくり



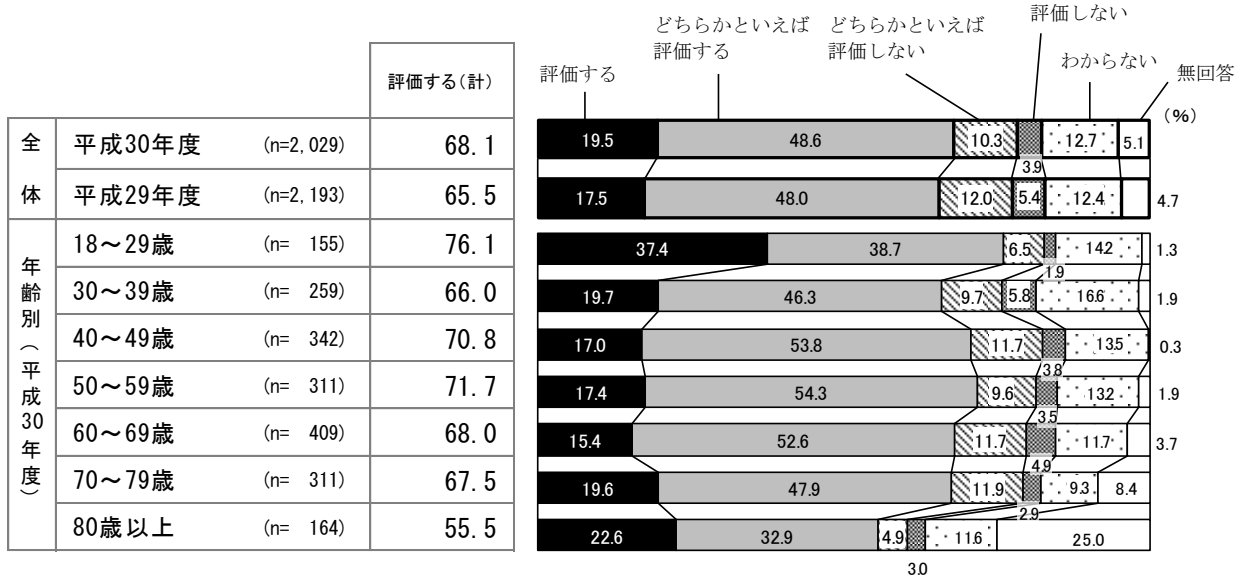
全体では、「評価する (計)」の割合が69.2%となっている。  
 昨年度と比べると、「評価する (計)」の割合が2.5ポイント減少している。  
 年齢層別では、50~70代で「評価する (計)」の割合が7割以上となっている。

問8 3. レクリエーション農園の利用促進等、市民が農業と交流する様々な機会の創出による農業地域の活性化



全体では、「評価する (計)」の割合が37.1%となっている。  
 昨年度と比べると、「評価する (計)」の割合が0.6ポイント増加している。また、昨年同様、「わからない」の割合が3割以上と高い。  
 年齢層別では、18~29歳で「評価する (計)」の割合が46.5%となっており、他の年齢層に比べて高い。60~70代は「評価しない (計)」の割合が他の年齢層に比べて高い。

問 8 4. 市街地の緑化や公園の整備、自然環境の保全等、緑美しい百年の杜づくり

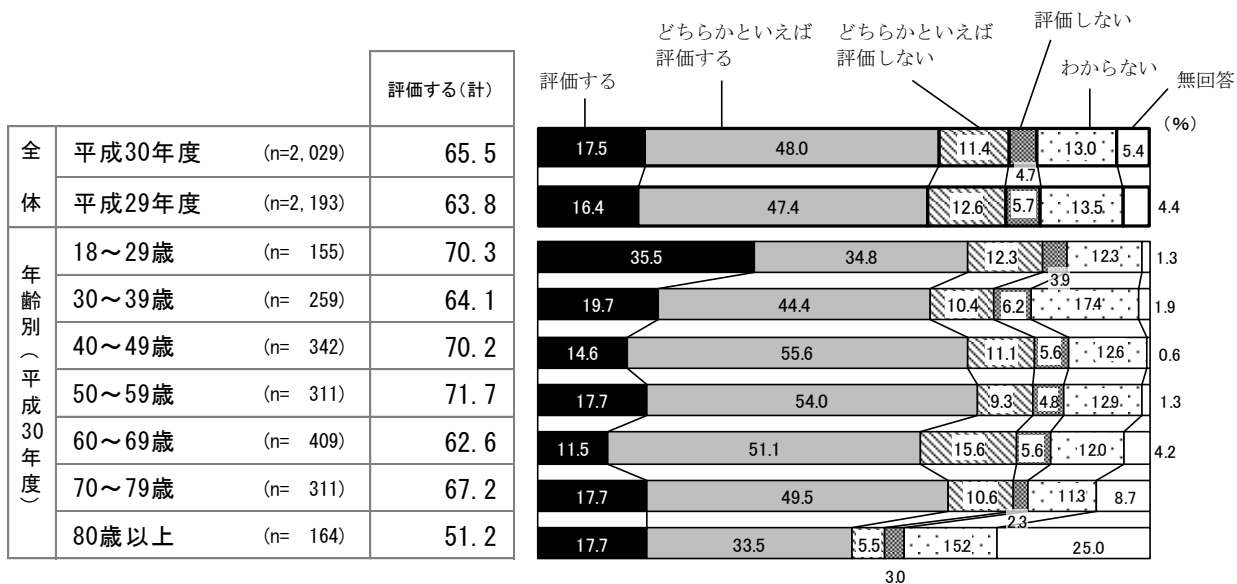


全体では、「評価する (計)」の割合が 68.1%となっている。

昨年度と比べると、「評価する (計)」の割合が 2.6 ポイント増加している。

年齢層別では、18~29歳で「評価する (計)」の割合が 76.1%となっており、他の年齢層に比べて高い。一方、80歳以上は「評価する (計)」の割合が 55.5%となっており、他の年齢層に比べて低い。

問 8 5. 杜の都にふさわしい景観や都市空間の形成

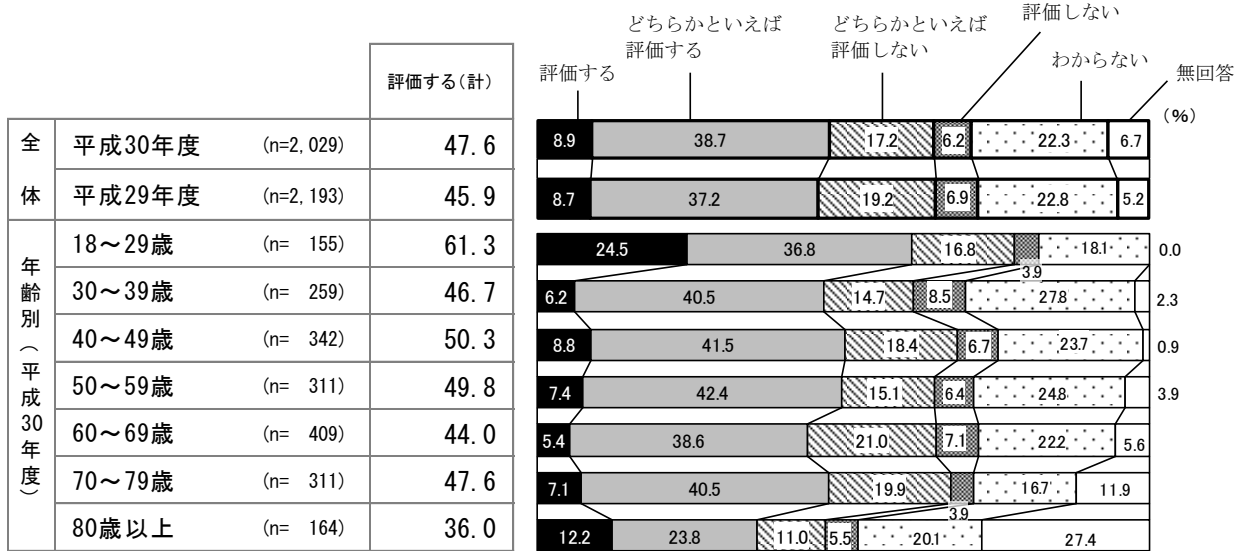


全体では、「評価する (計)」の割合が 65.5%となっている。

昨年度と比べると、「評価する (計)」の割合が 1.7 ポイント増加している。

年齢層別では、18~29歳、40~50代で「評価する (計)」の割合が 7割台と他の年齢層に比べて高い。

問8 6. 都心部への機能集約や郊外における生活環境の改善等、地域の特性に応じたまちづくり

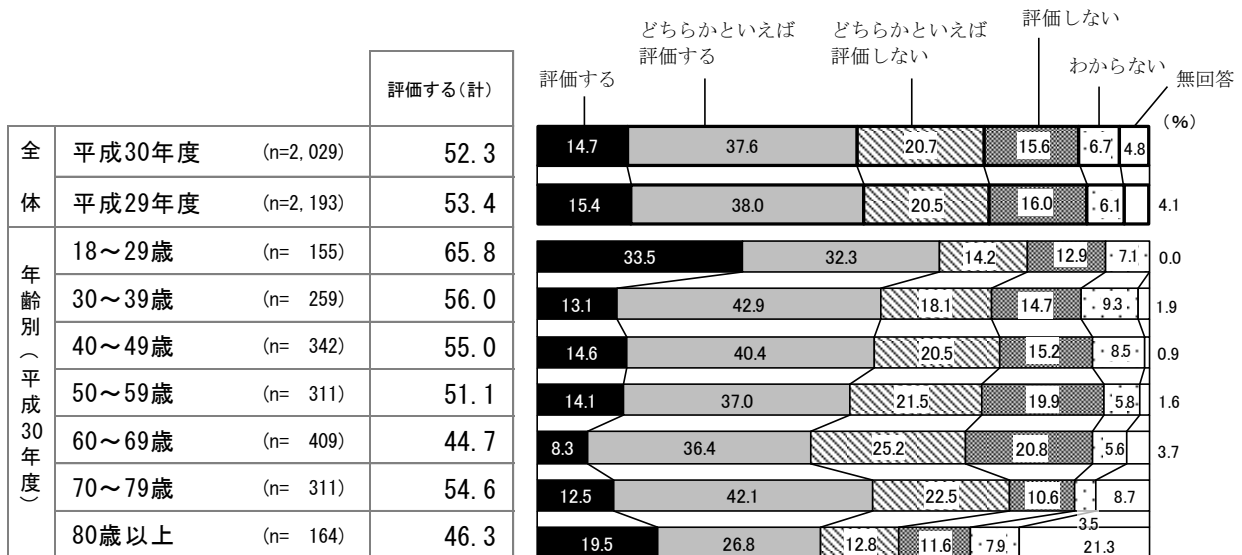


全体では、「評価する (計)」の割合が47.6%となっている。

昨年度と比べると、「評価する (計)」の割合が1.7ポイント増加している。

年齢層別では、18~29歳で「評価する (計)」の割合が61.3%となっており、他の年齢層に比べて高い。一方、80歳以上は「評価する (計)」の割合が36.0%となっており、他の年齢層に比べて低い。

問8 7. 鉄道・地下鉄やバス等の公共交通を中心とする利便性の高い交通体系づくり

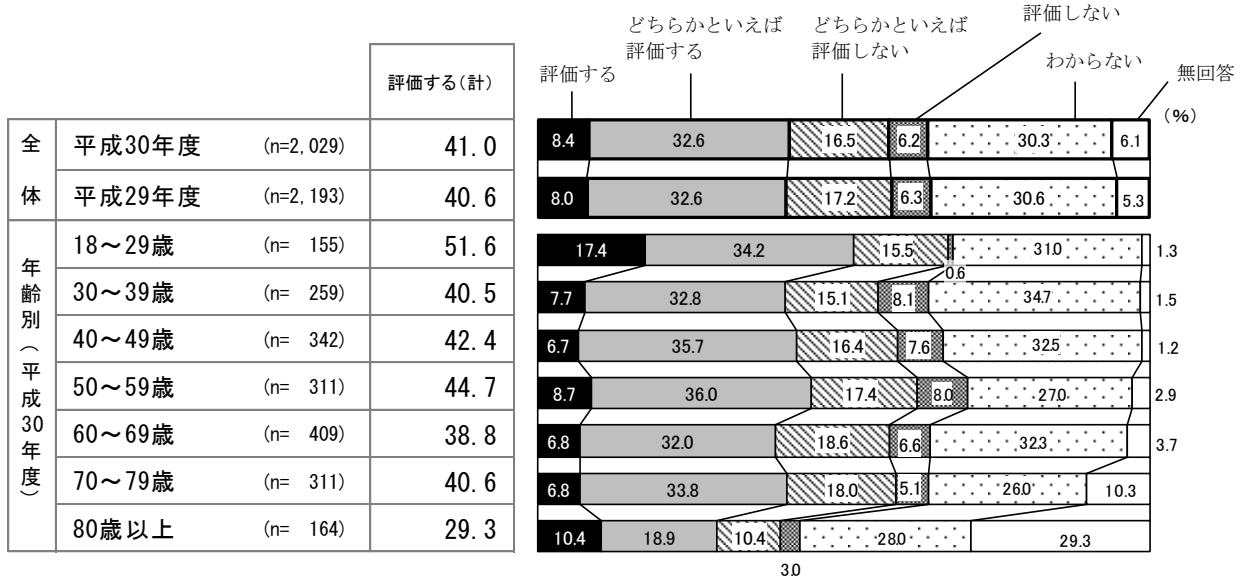


全体では、「評価する (計)」の割合が52.3%となっている。

昨年度と比べると、「評価する (計)」の割合が1.1ポイント減少している。

年齢層別では、18~29歳で「評価する (計)」の割合が65.8%となっており、他の年齢層に比べて高い。一方、60~69歳と80歳以上は「評価する (計)」の割合が4割台となっており、他の年齢層に比べて低い。

問9 1. 地域産業の振興や企業誘致による雇用機会の創出

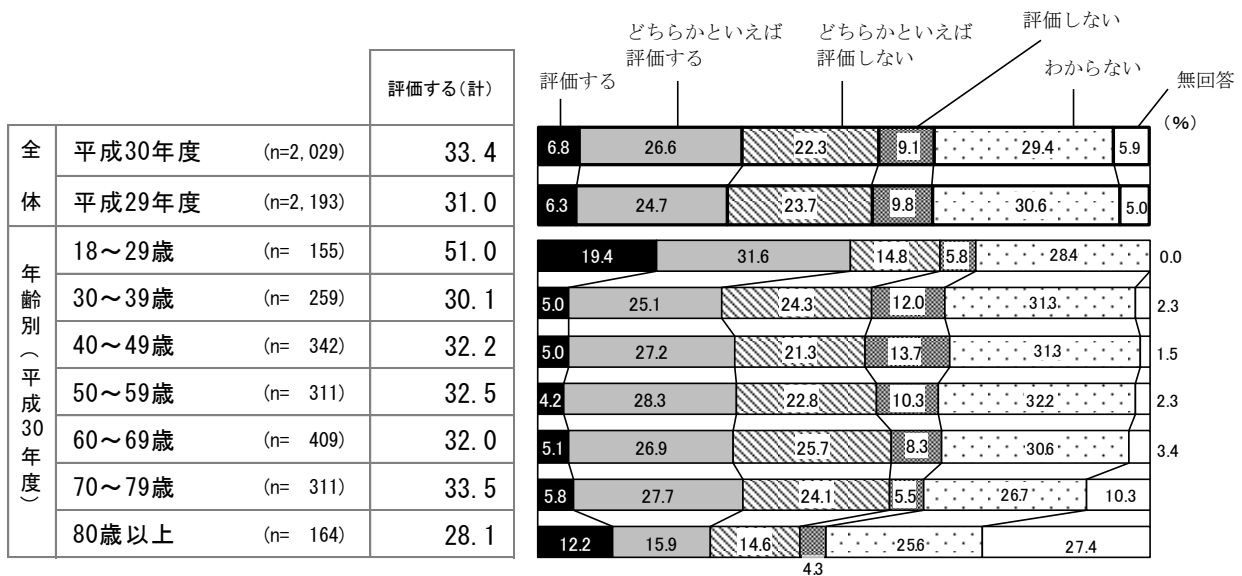


全体では、「評価する(計)」の割合が41.0%となっている。

昨年度と比べると、「評価する(計)」の割合が0.4ポイント増加している。また、昨年同様、「わからない」の割合が3割程度と高い。

年齢層別では、18～29歳で「評価する(計)」の割合が51.6%となっており、他の年齢層に比べて高い。

問9 2. 働く女性が個性と能力を発揮できる環境づくりや女性の積極的な登用など、企業等における女性の活躍推進

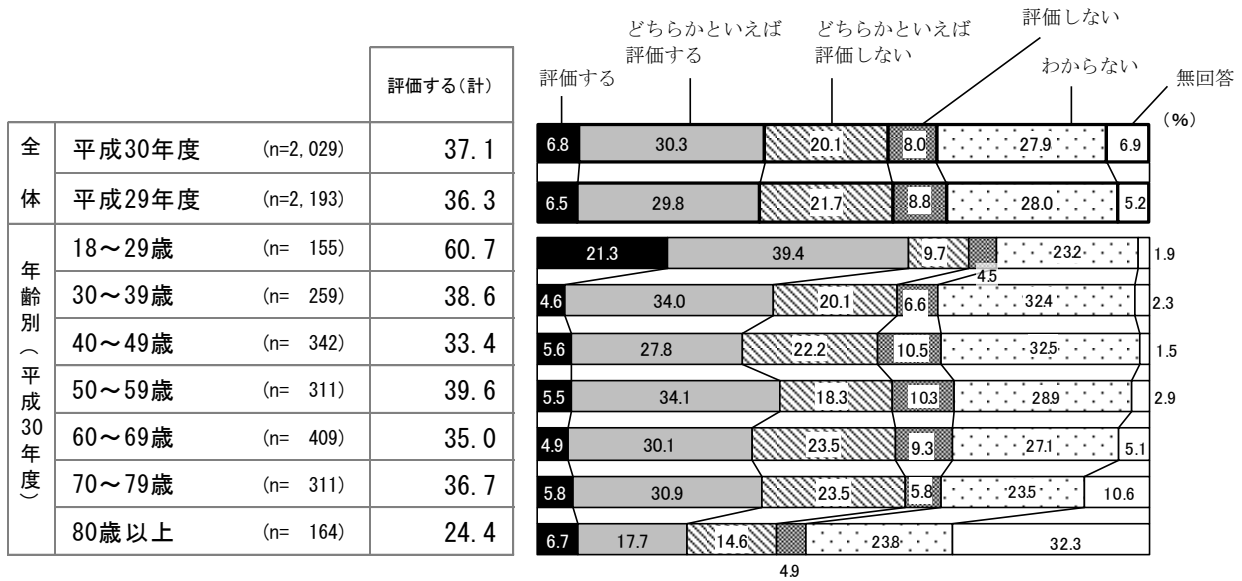


全体では、「評価する(計)」の割合が33.4%となっている。

昨年度と比べると、「評価する(計)」の割合が2.4ポイント増加している。

年齢層別では、18～29歳で「評価する(計)」の割合が51.0%となっており、他の年齢層に比べて高い。30～60代は「評価する(計)」の割合よりも「評価しない(計)」の割合の方が上回っている。

問9 3. 賑わい創出や担い手育成等による中心部商店街の活力づくり

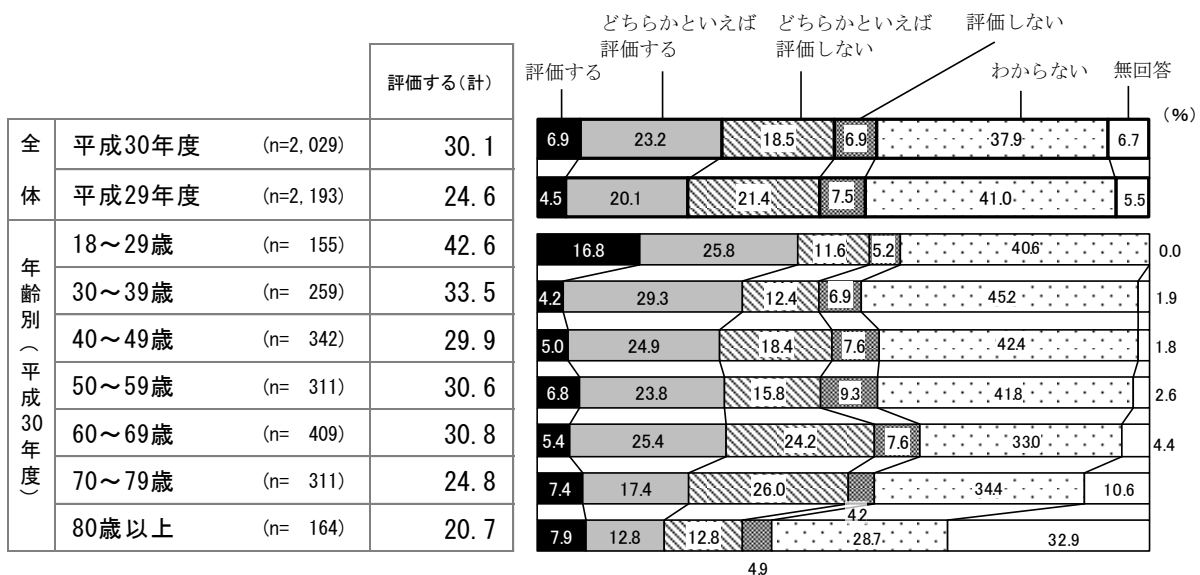


全体では、「評価する (計)」の割合が37.1%となっている。

昨年度と比べると、「評価する (計)」の割合が0.8ポイント増加している。

年齢層別では、18~29歳で「評価する (計)」の割合が60.7%となっており、他の年齢層に比べて特に高い。

問9 4. 農業の6次産業化の推進や担い手の確保等による農業の活性化

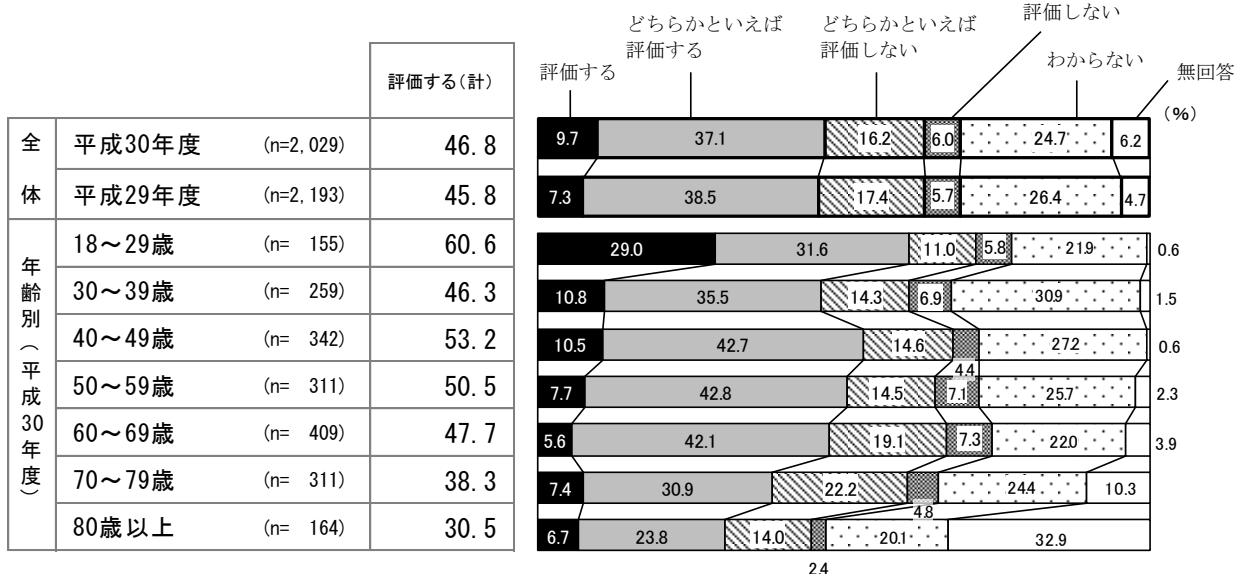


全体では、「評価する (計)」の割合が30.1%となっている。

昨年度と比べると、「評価する (計)」の割合が5.5ポイント増加している。また、昨年同様、「わからない」の割合が3割以上と高い。

年齢層別では、18~29歳で「評価する (計)」の割合が42.6%となっており、他の年齢層に比べて高い。60~70代は「評価しない (計)」の割合が3割以上と他の年齢層に比べて高い。

問9 5. 国内外の観光PR・プロモーションやコンベンションの誘致等による交流人口の拡大

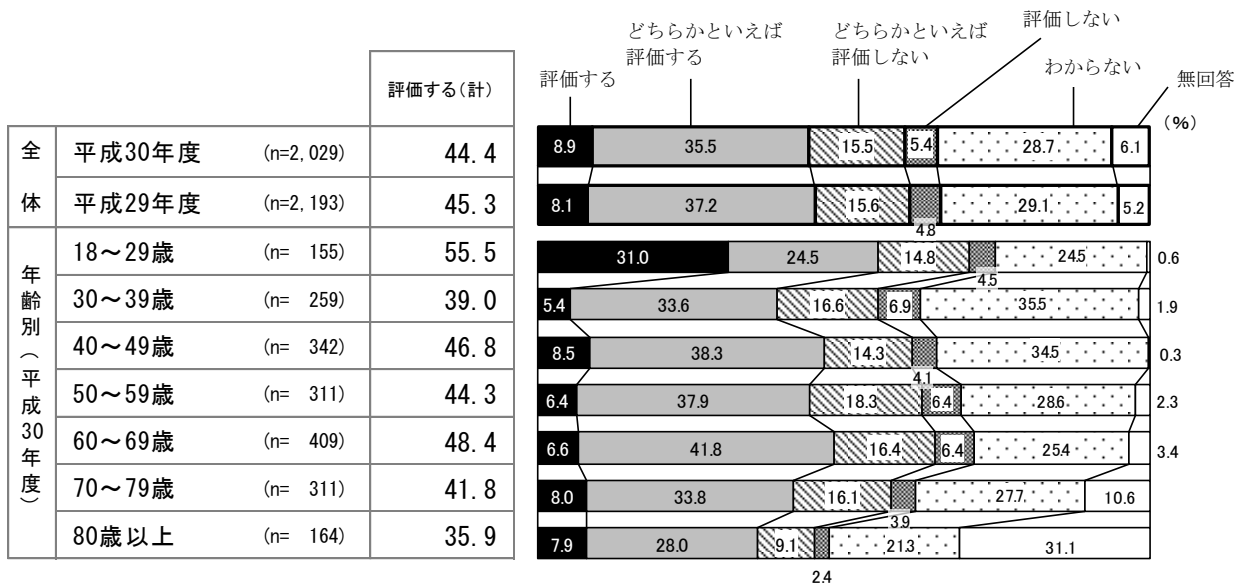


全体では、「評価する (計)」の割合が46.8%となっている。

昨年度と比べると、「評価する (計)」の割合が1.0ポイント増加している。

年齢層別では、18~29歳で「評価する (計)」の割合が60.6%となっており、他の年齢層に比べて高い。一方、80歳以上は「評価する (計)」の割合が30.5%となっており、他の年齢層に比べて低い。

問9 6. 国際交流の推進

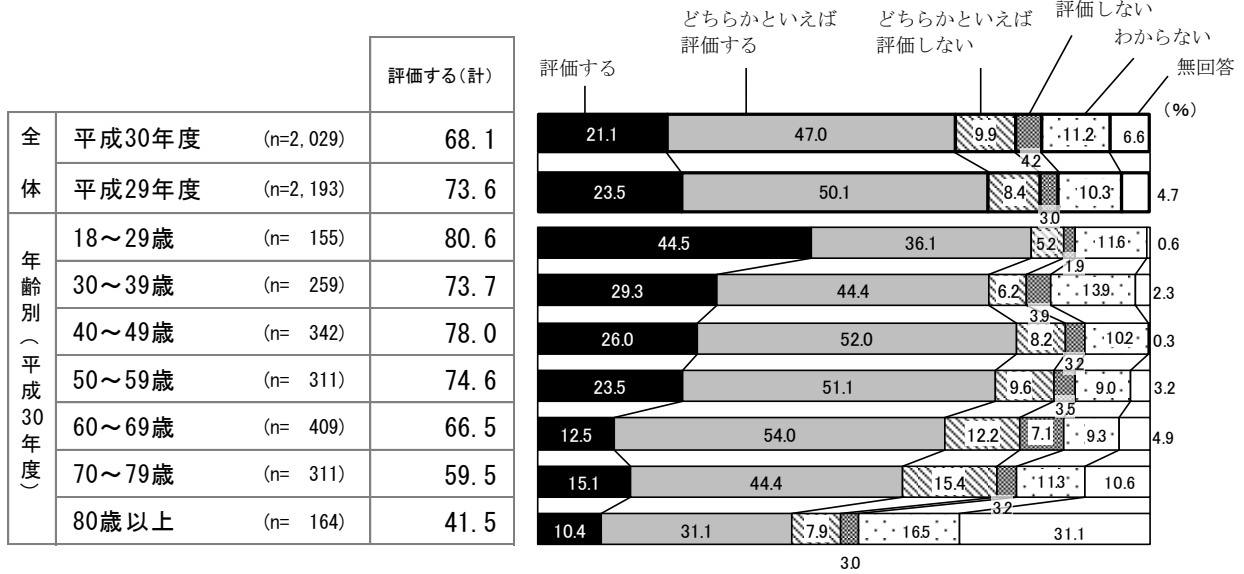


全体では、「評価する (計)」の割合が44.4%となっている。

昨年度と比べると、「評価する (計)」の割合が0.9ポイント減少している。

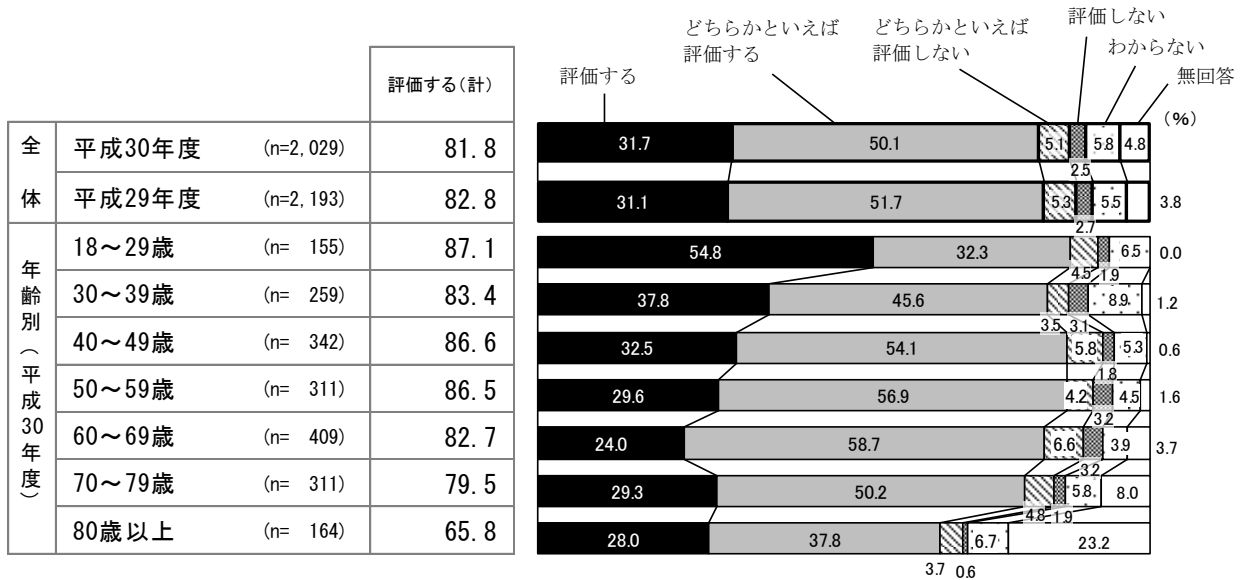
年齢層別では、18~29歳で「評価する (計)」の割合が55.5%となっており、他の年齢層に比べて高い。30~40代は「わからない」の割合が3割以上と他の年齢層に比べて高い。

問9 7. プロスポーツやさまざまなスポーツイベント等を観ることができる環境づくり



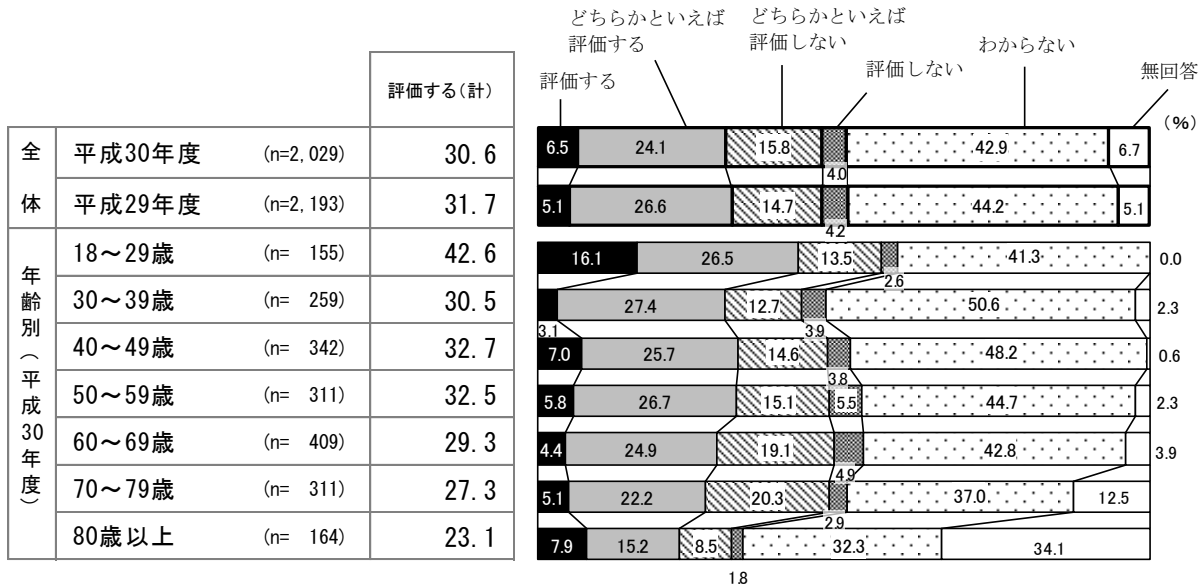
全体では、「評価する (計)」の割合が68.1%となっている。  
 昨年度と比べると、「評価する (計)」の割合が5.5ポイント減少している。  
 年齢層別では、概ね年齢層が下がるほど「評価する (計)」の割合が高くなる傾向が見られる。

問9 8. 仙台七夕まつりや仙台国際ハーフマラソン等さまざまなイベントを生かした仙台ブランドづくり



全体では、「評価する (計)」の割合が81.8%となっている。  
 昨年度と比べると、「評価する (計)」の割合が1.0ポイント減少している。  
 年齢層別では、18～29歳で「評価する (計)」の割合が87.1%となっており、他の年齢層に比べて高い。

問9 9. 起業しようとする方々への個別相談や応援イベント等、起業支援

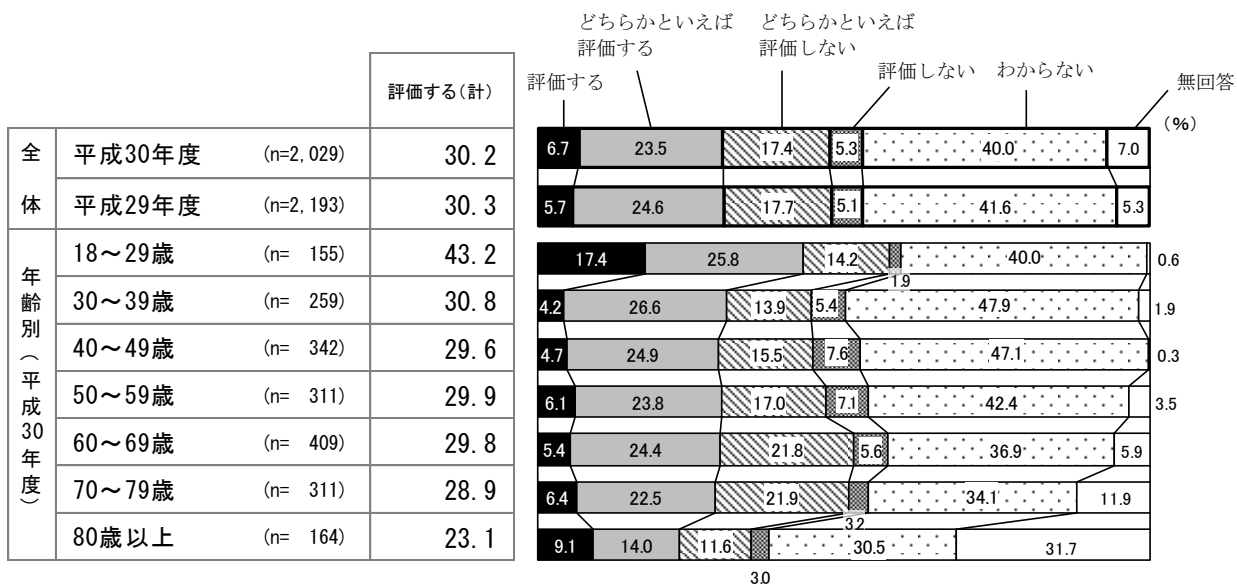


全体では、「評価する(計)」の割合が30.6%となっている。

昨年度と比べると、「評価する(計)」の割合が1.1ポイント減少している。また、昨年同様、「わからない」の割合が4割以上と高い。

年齢層別では、18~29歳で「評価する(計)」の割合が42.6%となっており、他の年齢層に比べて高い。

問9 10. ITや健康福祉、次世代エネルギー等、今後の成長産業の育成・誘致



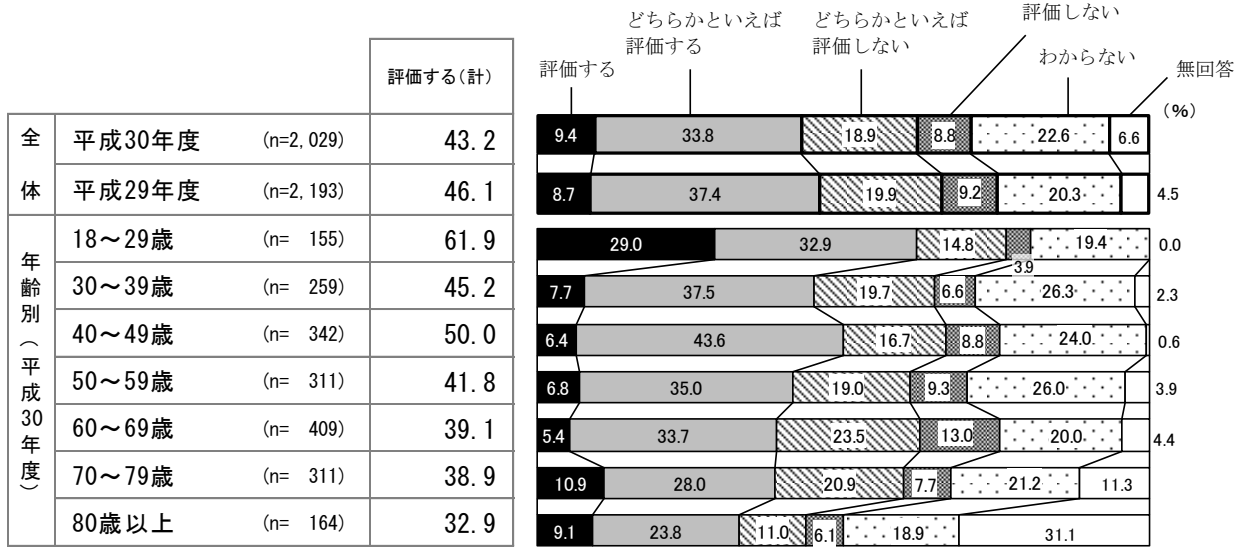
全体では、「評価する(計)」の割合が30.2%となっている。

昨年度と比べると、「評価する(計)」の割合が0.1ポイント減少している。また、昨年同様、「わからない」の割合が4割以上と高い。

年齢層別では、概ね年齢層が下がるほど「評価する(計)」の割合が高くなる傾向が見られる。



問9 11. 市民協働による沿線にぎわいづくりや沿線開発の促進等、地下鉄東西線沿線のまちづくり

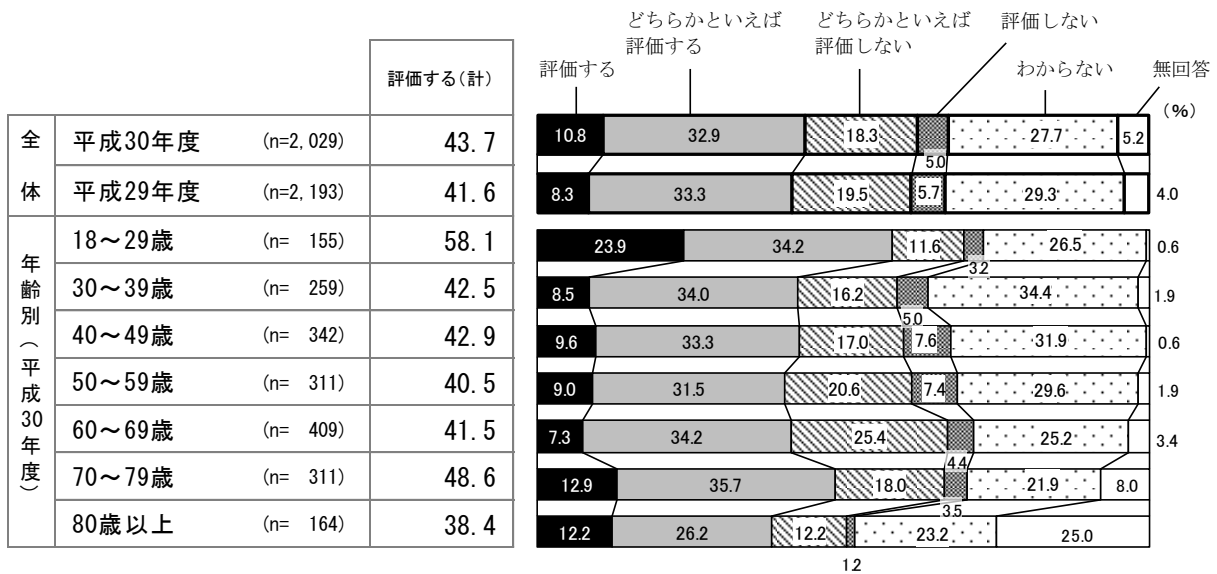


全体では、「評価する (計)」の割合が43.2%となっている。

昨年度と比べると、「評価する (計)」の割合が2.9ポイント減少している。

年齢層別では、18~29歳で「評価する (計)」の割合が61.9%となっており、他の年齢層に比べて特に高い。

問10 1. 孤立防止や自立再建に向けた伴走型支援の実施、心身の状態に合わせた健康支援等、被災された方々一人ひとりの状況に応じた生活再建支援

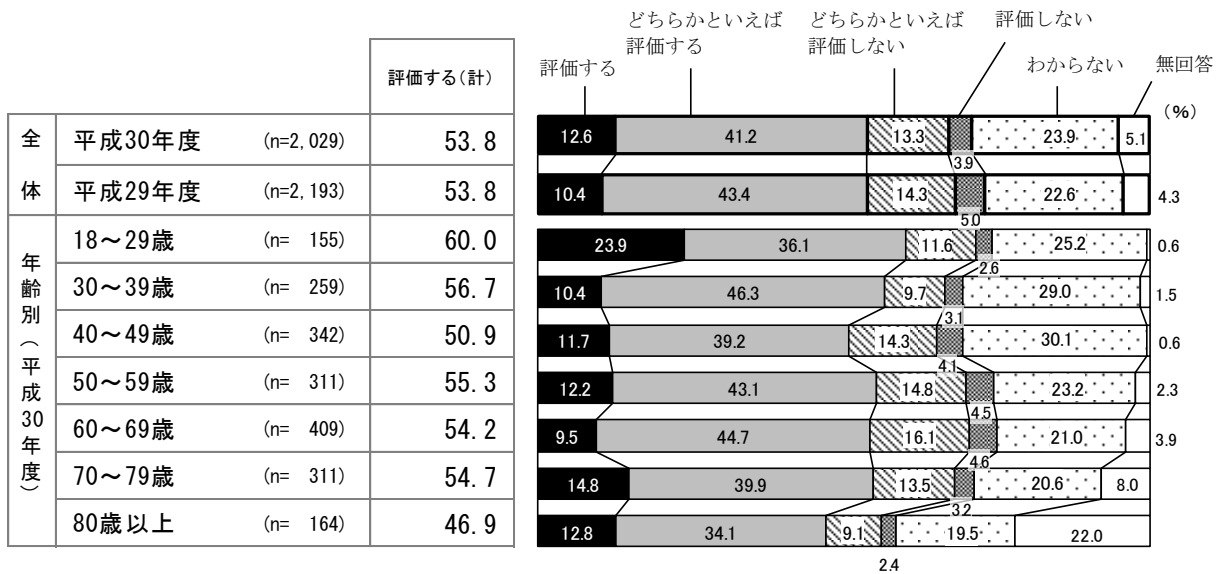


全体では、「評価する (計)」の割合が43.7%となっている。

昨年度と比べると、「評価する (計)」の割合が2.1ポイント増加している。

年齢層別では、18~29歳で「評価する (計)」の割合が58.1%となっており、他の年齢層に比べて高い。

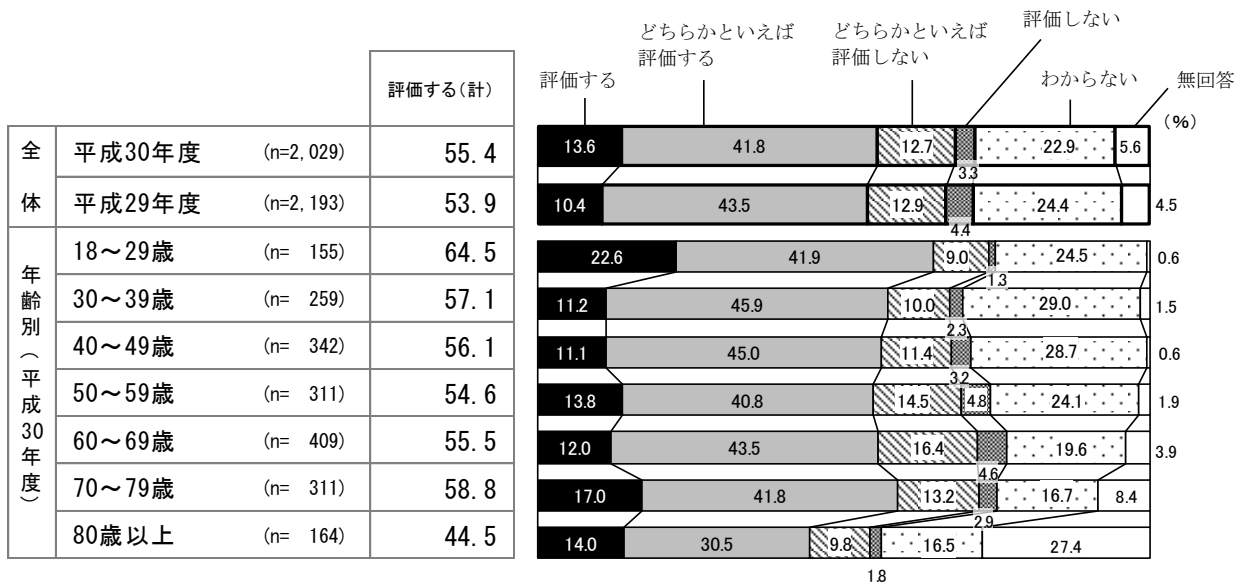
問 10 2. 安全な地域への移転や現地建替え・修繕等、津波浸水区域における住宅再建支援



全体では、「評価する (計)」の割合が 53.8% となっており、昨年度と同率である。

年齢層別では、18～29 歳で「評価する (計)」の割合が 60.0% となっており、他の年齢層に比べて高い。

問 10 3. 集団移転跡地の利活用や海岸公園の再整備、みどりの再生、海辺のふる里づくり支援、農業再生等、東部被災地域の復興

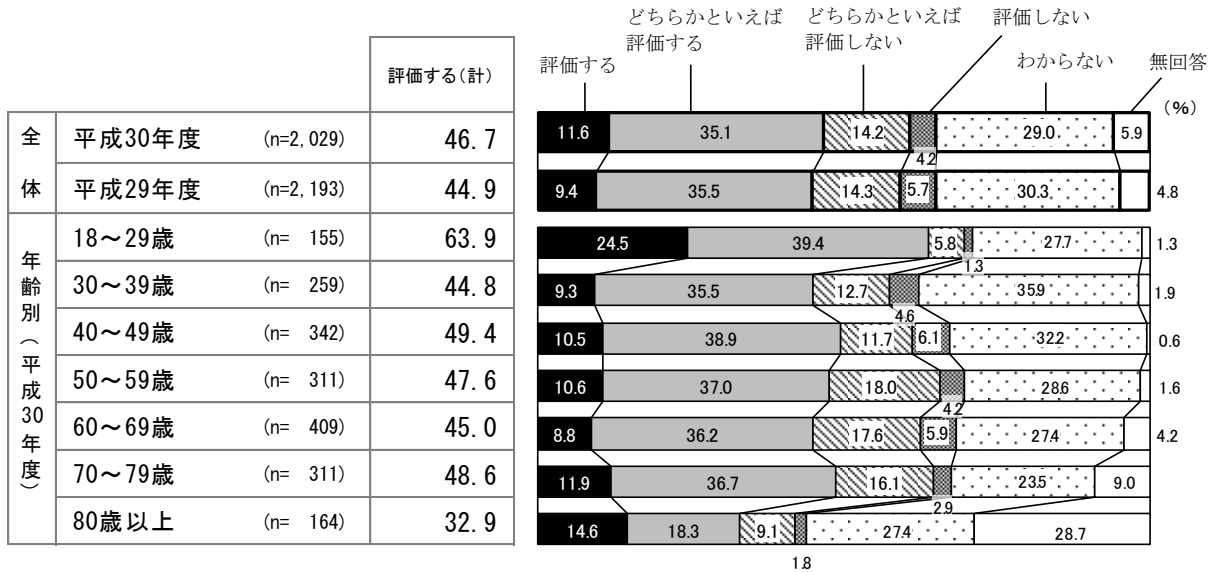


全体では、「評価する (計)」の割合が 55.4% となっている。

昨年度と比べると、「評価する (計)」の割合が 1.5 ポイント増加している。

年齢層別では、18～29 歳で「評価する (計)」の割合が 64.5% となっており、他の年齢層に比べて高い。

問 10 4. 仙台港周辺地区や蒲生北部の復興に向けた都市基盤の整備や新たな産業の誘致

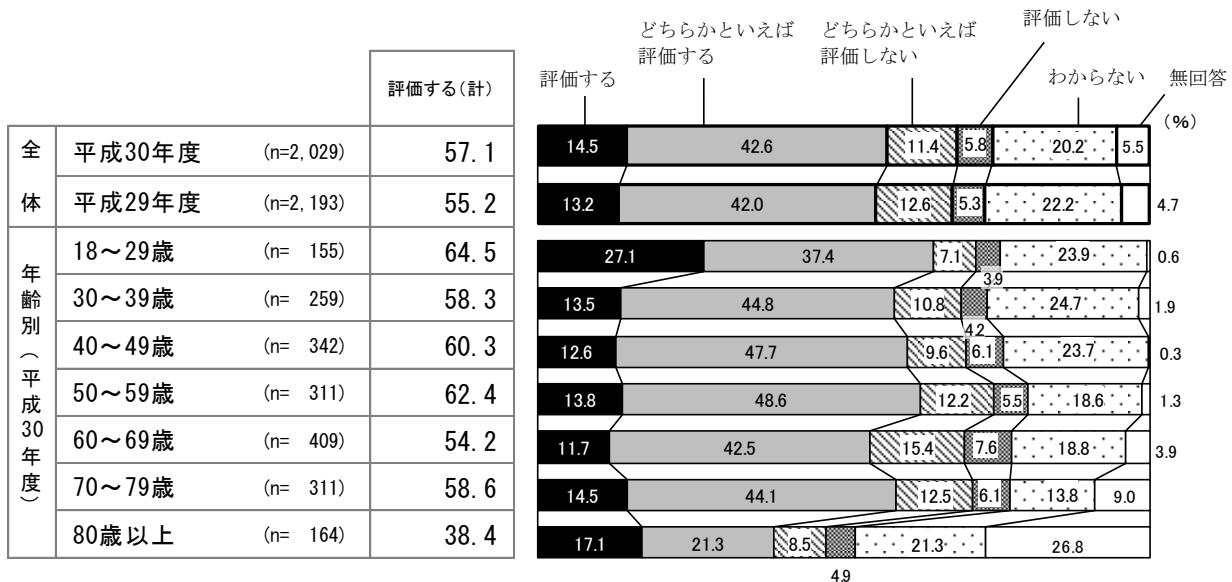


全体では、「評価する (計)」の割合が46.7%となっている。

昨年度と比べると、「評価する (計)」の割合が1.8ポイント増加している。

年齢層別では、18～29歳で「評価する (計)」の割合が63.9%となっており、他の年齢層に比べて高い。

問 10 5. かさ上げ道路や津波避難施設の整備等による多重的な津波防災対策

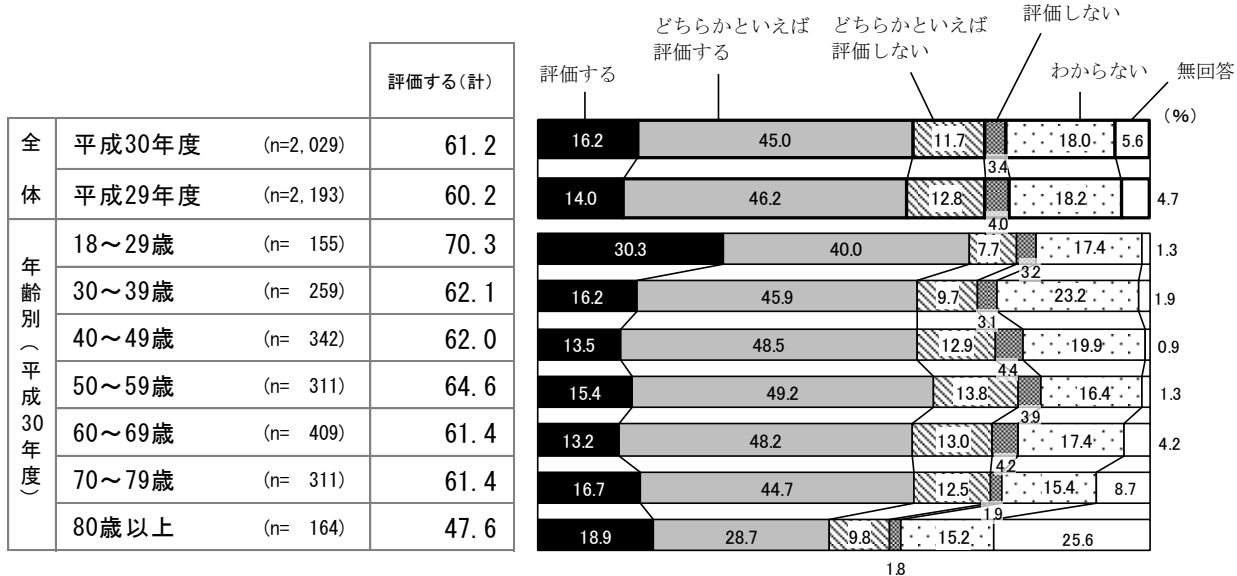


全体では、「評価する (計)」の割合が57.1%となっている。

昨年度と比べると、「評価する (計)」の割合が1.9ポイント増加している。

年齢層別では、18～29歳で「評価する (計)」の割合が64.5%となっており、他の年齢層に比べて高い。

問 10 6. 震災の記録と記憶を後世へ継承するための活動や国内外への情報発信

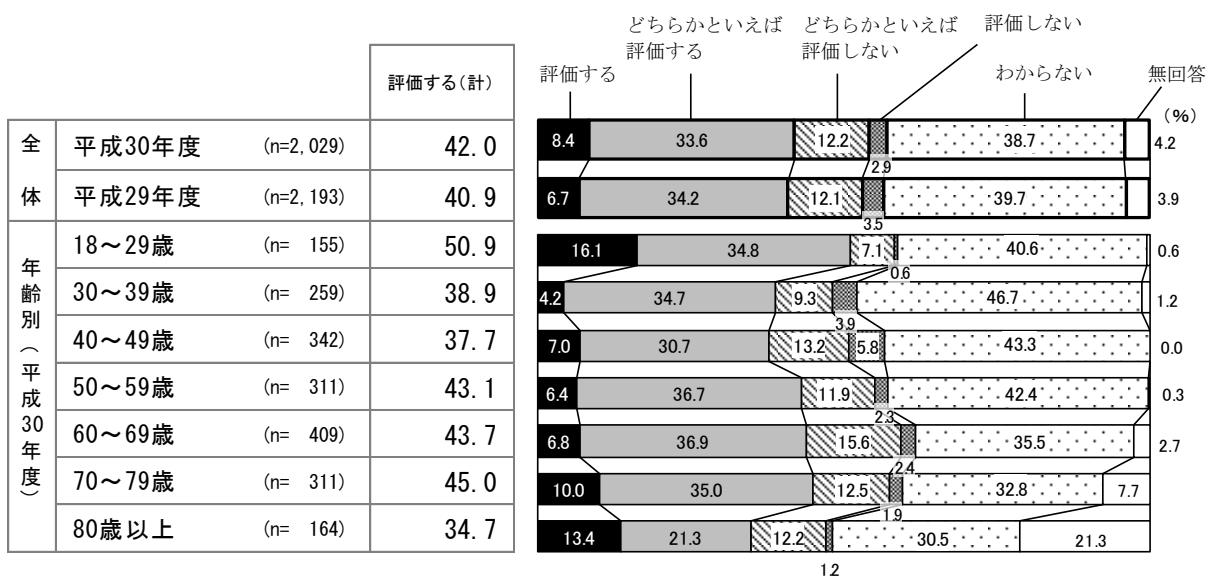


全体では、「評価する (計)」の割合が61.2%となっている。

昨年度と比べると、「評価する (計)」の割合が1.0ポイント増加している。

年齢層別では、18～29歳で「評価する (計)」の割合が70.3%となっており、他の年齢層に比べて高い。

問 11 1. 地域団体やNPOの活動の促進や、多様な主体の協働によるまちづくりの推進

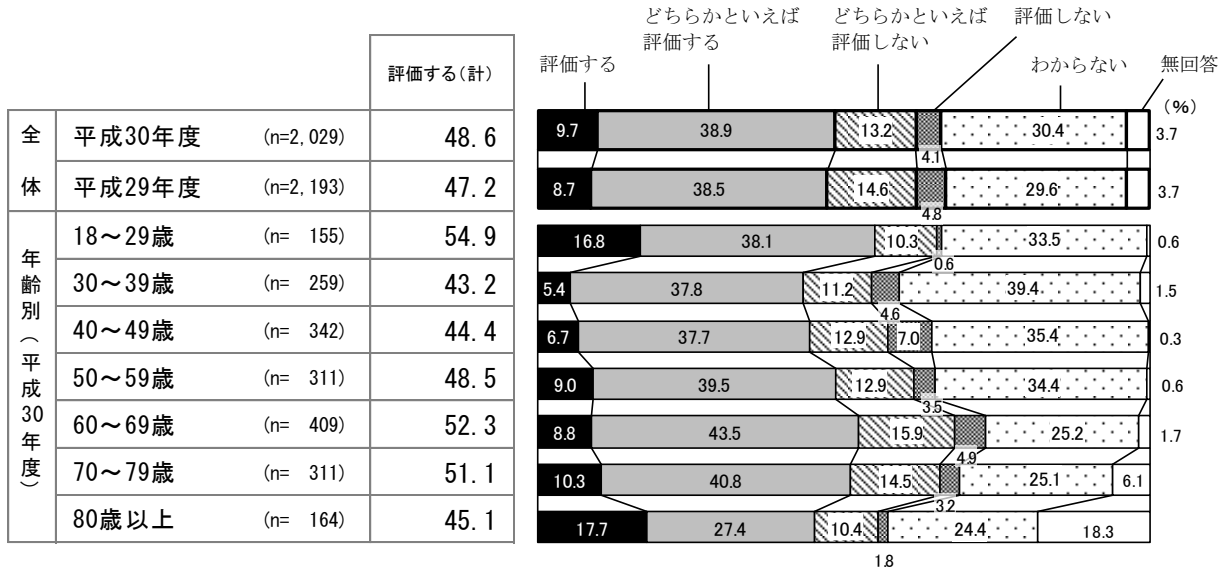


全体では、「評価する (計)」の割合が42.0%となっている。

昨年度と比べると、「評価する (計)」の割合が1.1ポイント増加している。また、昨年同様、「わからない」の割合が3割以上と高い。

年齢層別では、18～29歳で「評価する (計)」の割合が50.9%となっており、他の年齢層に比べて高い。また、18～59歳は「わからない」の割合が4割以上と他の年齢層に比べて高い。

問 11 2. 市政に関する情報の公開や市民からの意見・提案の募集、市民参加イベント等、市政への市民参画の推進



全体では、「評価する（計）」の割合が48.6%となっている。

昨年度と比べると、「評価する（計）」の割合が1.4ポイント増加している。また、昨年同様、「わからない」の割合が3割程度と高い。

年齢層別では、18～29歳、60～69歳、70～79歳で「評価する（計）」の割合が5割以上と他の年齢層に比べて高い。

今後、特に力を入れていくべきと思う施策（年齢層別）

		(%)								
		全体 (n=2029)	18~29歳 (n=155)	30~39歳 (n=259)	40~49歳 (n=342)	50~59歳 (n=311)	60~69歳 (n=409)	70~79歳 (n=311)	80歳以上 (n=164)	
問5	3	介護予防対策や介護サービスの質の確保・向上等、高齢者の暮らしを支える環境づくり	48.3	29.0	42.1	48.8	59.2	54.8	49.2	40.2
問6	6	学校におけるいじめの未然防止や早期発見・早期対応の推進	48.0	49.7	59.5	49.7	50.8	49.9	44.1	31.1
問8	7	鉄道・地下鉄やバス等の公共交通を中心とする利便性の高い交通体系づくり	41.4	43.9	40.5	40.9	49.5	44.7	37.9	29.3
問7	1	医療サービスや救急医療体制の充実	39.0	34.8	45.2	41.8	46.3	42.1	31.2	26.8
問4	3	大学、市民、企業、行政の連携等、「学都」に集積した人材や知的資源を生かしたまちづくり	37.7	36.1	36.7	40.1	43.1	41.1	37.0	23.2
問10	1	孤立防止や自立再建に向けた伴走型支援の実施、心身の状態に合わせた健康支援等、被災された方々一人ひとりの状況に応じた生活再建支援	35.1	25.8	30.9	34.5	42.4	43.0	32.2	29.9
問11	2	市政に関する情報の公開や市民からの意見・提案の募集、市民参加イベント等、市政への市民参画の推進	34.5	29.7	35.1	39.5	36.0	34.2	33.8	31.1
問6	2	保育施設等の整備や幼稚園の預かり保育の実施、延長保育・一時預かりの充実等、安心して子育てができる環境づくり	33.4	37.4	52.1	31.9	32.8	37.2	25.1	17.1
問6	5	子供たちが変化の激しい社会を生き抜いていくための確かな学力や自立した社会人となるための力を育む学校教育の充実	32.1	24.5	31.3	41.5	33.1	35.0	28.0	23.8
問5	2	生活習慣病予防対策や健診体制の充実等、健康づくりの推進	29.0	27.1	37.8	32.5	31.5	26.7	26.4	22.0
問7	3	地震や集中豪雨等の災害への対応体制や防災対策の強化	28.4	30.3	30.5	26.6	33.1	29.8	27.0	21.3
問7	6	防犯対策や交通安全対策、感染症対策や消費者被害の防止等、安全・安心の暮らしづくり	28.3	23.9	25.5	26.6	28.6	33.5	32.2	24.4
問6	8	学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもの成長を応援する環境づくり	27.8	23.9	32.8	25.7	28.3	29.3	28.6	25.0
問6	7	児童生徒が放課後や日常生活を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができる環境づくり	26.3	22.6	36.3	30.7	24.8	26.9	24.1	16.5
問4	2	様々なミュージアム施設の連携や創意工夫により魅力ある企画を行うなど、学びを楽しむことができる環境づくり	26.2	29.7	32.0	28.4	28.9	29.3	18.6	16.5
問5	4	障害者差別の解消や就労等社会参加の促進等、障害者の生活を支える環境づくり	26.2	29.7	25.9	27.8	28.9	28.1	24.8	14.6
問10	6	震災の記録と記憶を後世へ継承するための活動や国内外への情報発信	24.8	31.0	23.6	23.4	27.3	24.0	25.4	23.8
問9	1	地域産業の振興や企業誘致による雇用機会の創出	24.8	16.8	22.4	24.3	32.2	25.9	26.4	22.6
問7	2	道路や上下水道、市民利用施設等の公共施設の耐震化や適切な維持管理・更新	24.3	21.3	21.6	25.7	23.2	26.2	29.9	20.7
問9	2	働く女性が個性と能力を発揮できる環境づくりや女性の積極的な登用など、企業等における女性の活躍推進	23.7	23.2	29.7	25.1	20.9	25.7	24.4	12.8
問8	2	ごみ減量・リサイクルの推進等、ごみの発生を抑え、資源を有効に循環させるまちづくり	23.5	21.9	24.3	22.8	22.8	28.1	24.8	19.5
問9	11	市民協働による沿線にぎわいづくりや沿線開発の促進等、地下鉄東西線沿線のまちづくり	22.2	23.2	27.4	21.1	20.3	26.2	19.9	17.7
問10	3	集団移転跡地の利活用や海岸公園の再整備、みどりの再生、海辺のふる里づくり支援、農業再生等、東部被災地域の復興	21.4	18.7	19.3	19.9	19.9	25.7	23.2	24.4
問4	1	市民がアートイベント等の文化・芸術に触れて楽しめるとともに、自ら文化・芸術活動に取り組める環境づくり	20.6	21.3	18.5	19.6	24.4	22.7	18.6	15.2
問8	4	市街地の緑化や公園の整備、自然環境の保全等、緑美しい百年の杜づくり	20.5	16.8	20.5	16.1	21.5	23.2	25.4	18.3
問9	4	農業の6次産業化の推進や担い手の確保等による農業の活性化	20.5	12.3	16.6	20.8	19.9	27.9	21.9	15.2
問8	5	杜の都にふさわしい景観や都市空間の形成	19.4	16.1	19.7	18.4	19.6	23.7	19.9	13.4
問8	1	温室効果ガス排出量削減や省エネ・創エネ・蓄エネ(3E)の普及浸透等、環境負荷の小さなまちづくり	19.3	11.6	18.9	17.3	21.5	25.9	21.2	10.4
問7	5	震災の経験と教訓を踏まえた防災教育や防災意識の普及啓発の充実	19.2	20.6	24.3	15.5	22.8	21.8	16.7	14.0
問9	10	ITや健康福祉、次世代エネルギー等、今後の成長産業の育成・誘致	19.0	13.5	12.4	17.5	20.9	22.2	24.4	17.7
問10	2	安全な地域への移転や現地建替え・修繕等、津波浸水区域における住宅再建支援	18.4	21.9	18.5	16.4	22.5	17.4	17.4	15.9
問6	3	「のびすく」等での子育て支援ネットワークの充実や仕事と家庭の両立支援等、子育て家庭を応援する社会づくり	18.2	17.4	27.0	14.3	18.0	19.8	16.7	13.4
問9	8	仙台七夕まつりや仙台国際ハーフマラソン等さまざまなイベントを生かした仙台ブランドづくり	17.1	21.9	21.2	16.7	18.6	16.1	14.8	13.4
問5	1	男女平等意識の醸成や社会のあらゆる分野への女性の参画の促進等、男女共同参画の推進	17.0	20.0	26.3	20.2	15.1	15.4	14.8	10.4
問11	1	地域団体やNPOの活動の促進や、多様な主体の協働によるまちづくりの推進	16.8	14.2	11.6	13.5	20.3	19.6	18.6	15.9
問6	1	児童館の整備や児童クラブの運営等、児童の健全育成のための環境づくり	16.5	16.1	29.0	17.5	15.1	15.2	13.8	9.8
問10	4	仙台港周辺地区や蒲生北部の復興に向けた都市基盤の整備や新たな産業の誘致	15.0	11.6	16.6	14.3	15.4	16.1	17.7	10.4
問8	6	都心部への機能集約や郊外における生活環境の改善等、地域の特性に応じたまちづくり	15.0	18.7	17.4	14.0	12.5	14.7	18.3	11.6
問7	4	消防団強化や地域防災リーダー養成、防災訓練実施、帰宅困難者対策等、地域の防災体制の強化	14.9	11.6	12.4	12.0	16.7	19.8	16.7	12.2
問9	7	プロスポーツやさまざまなスポーツイベント等を観ることができる環境づくり	14.8	18.1	17.0	17.0	17.0	14.7	11.6	9.1
問10	5	かさ上げ道路や津波避難施設の整備等による多面的な津波防災対策	14.7	11.0	17.0	15.5	14.1	15.9	14.1	14.0
問9	3	賑わい創出や担い手育成等による中心部商店街の活カづくり	14.7	12.9	17.4	14.9	13.8	17.4	11.6	11.6
問9	5	国内外の観光PR・プロモーションやコンベンションの誘致等による交流人口の拡大	14.0	13.5	14.3	15.5	15.1	14.2	12.2	13.4
問6	4	区役所等における、妊娠から子育て期にわたる総合的な相談体制と支援の充実	13.2	14.2	23.6	12.0	17.0	11.0	8.0	9.1
問9	6	国際交流の推進	12.7	13.5	12.0	9.4	14.1	14.2	14.1	12.2
問9	9	起業しようとする方々への個別相談や応援イベント等、起業支援	11.2	10.3	9.7	9.9	12.2	13.0	12.5	9.8
問8	3	レクリエーション農園の利用促進等、市民が農業と交流する様々な機会の創出による農業地域の活性化	9.5	9.0	8.5	8.8	9.6	10.5	11.9	8.5

### 3. 未来に向けた仙台市のまちづくりについて (P47~55)

「未来に向けた仙台市のまちづくりについて (問 12~問 13)」の各項目について、結果をまとめている。

#### まとめ

●将来 30 年先を見据えた仙台市の「まちづくり」を考える上で重要なこと（すべて）を尋ねたところ、上位を占めたのは下記の通りであった。

- 1 位 「自然環境と都市機能が調和したまちづくりが進んでいる」(69.5%)
- 2 位 「災害に強いまちづくりに取り組んでいる」(66.9%)
- 3 位 「まちに賑わいや活気がある」(60.2%)
- 4 位 「ごみ減量など、環境配慮に取り組んでいる」(59.6%)
- 5 位 「地元企業に活力がある」(56.8%)

●その中で特に重要なこと（上位 3 つまで）を尋ねたところ、上位を占めたのは下記の通りであった。

- 1 位 「自然環境と都市機能が調和したまちづくりが進んでいる」(36.2%)  
「災害に強いまちづくりに取り組んでいる」(36.2%)
- 2 位 「都心部や交通軸を中心とした効率的なまちづくりが進んでいる」(25.6%)
- 3 位 「まちに賑わいや活気がある」(25.2%)
- 4 位 「地元企業に活力がある」(24.1%)
- 5 位 「ごみ減量など、環境配慮に取り組んでいる」(22.3%)

●将来 30 年先を見据えた仙台市の「くらし」を考える上で重要なこと（すべて）を尋ねたところ、上位を占めたのは下記の通りであった。

- 1 位 「高齢者や障害者が安心して生活できる」(76.6%)
- 2 位 「安全・安心に暮らすことができる」(74.4%)
- 3 位 「医療サービスが充実し、健康づくりが推進されている」(73.9%)
- 4 位 「生活に必要な交通手段が確保されている」(67.0%)
- 5 位 「子どもを産み育てやすい」(65.5%)

●その中で特に重要なこと（上位 3 つまで）を尋ねたところ、上位を占めたのは下記の通りであった。

- 1 位 「高齢者や障害者が安心して生活できる」(38.9%)
- 2 位 「医療サービスが充実し、健康づくりが推進されている」(34.3%)
- 3 位 「子どもを産み育てやすい」(33.8%)
- 4 位 「安全・安心に暮らすことができる」(30.1%)
- 5 位 「子どもたちの力を育み、健やかな成長が期待できる」(25.2%)

●「未来に残していきたい仙台の魅力」（自由意見）を尋ねたところ、「杜の都」、「祭りやイベント」、「歴史や地域文化」などの意見があげられている。

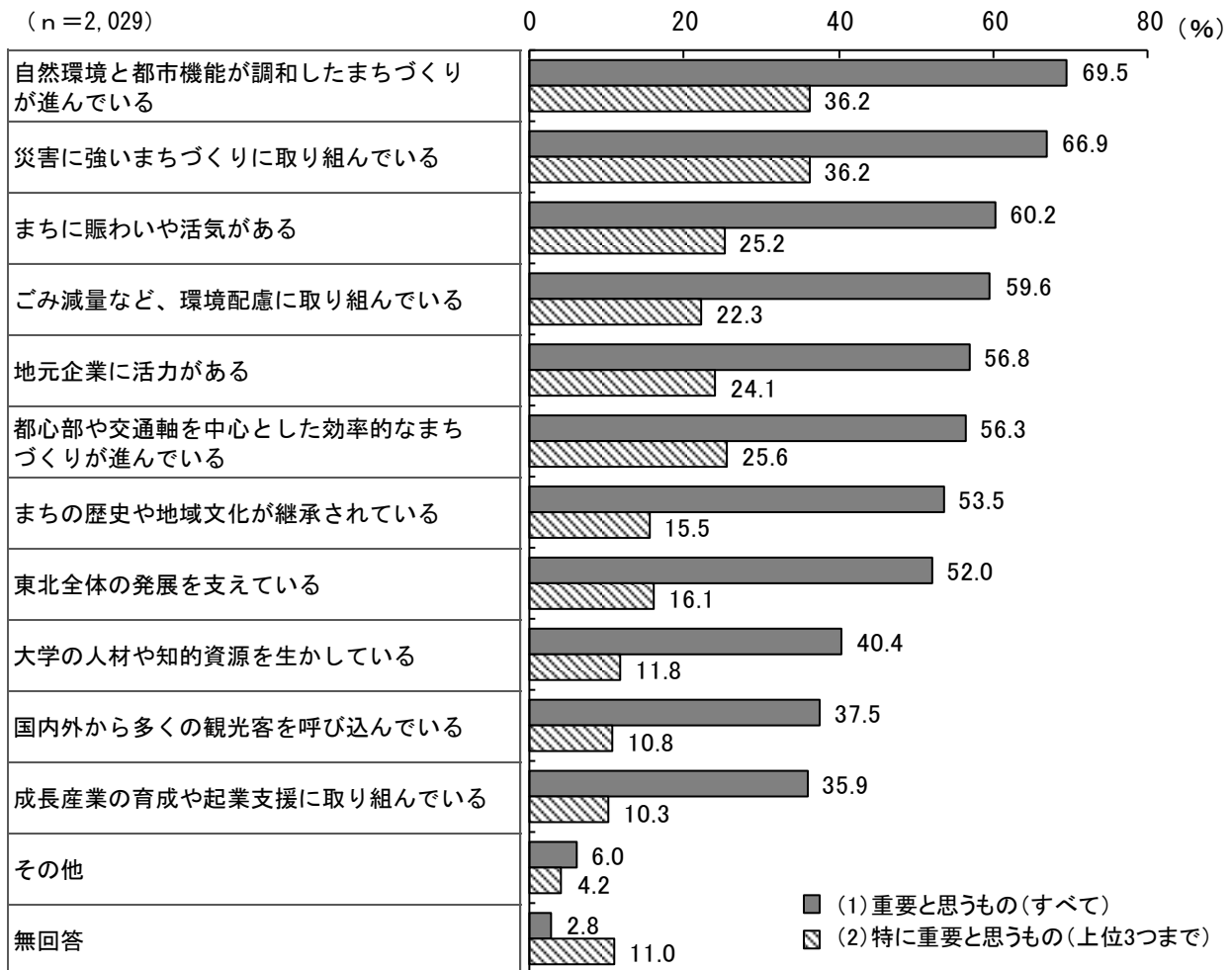
## (1)「まちづくり」を考える上で重要なこと

問 12 将来 30 年先を見据えた仙台市の「まちづくり」を考える上で、あなたが重要と思われるものをお知らせください。

(1) 次の 1～11 のうち、あてはまると思われるものすべてに○（複数可）をつけてください。

なお、1～11 以外で、あなたが重要と思われるものがある場合は、「12. その他」欄にご記入の上、○をつけてください。

(2) また、(1) で選んだものうち、特に重要だと思うもの上位 3 つまで○をつけてください。

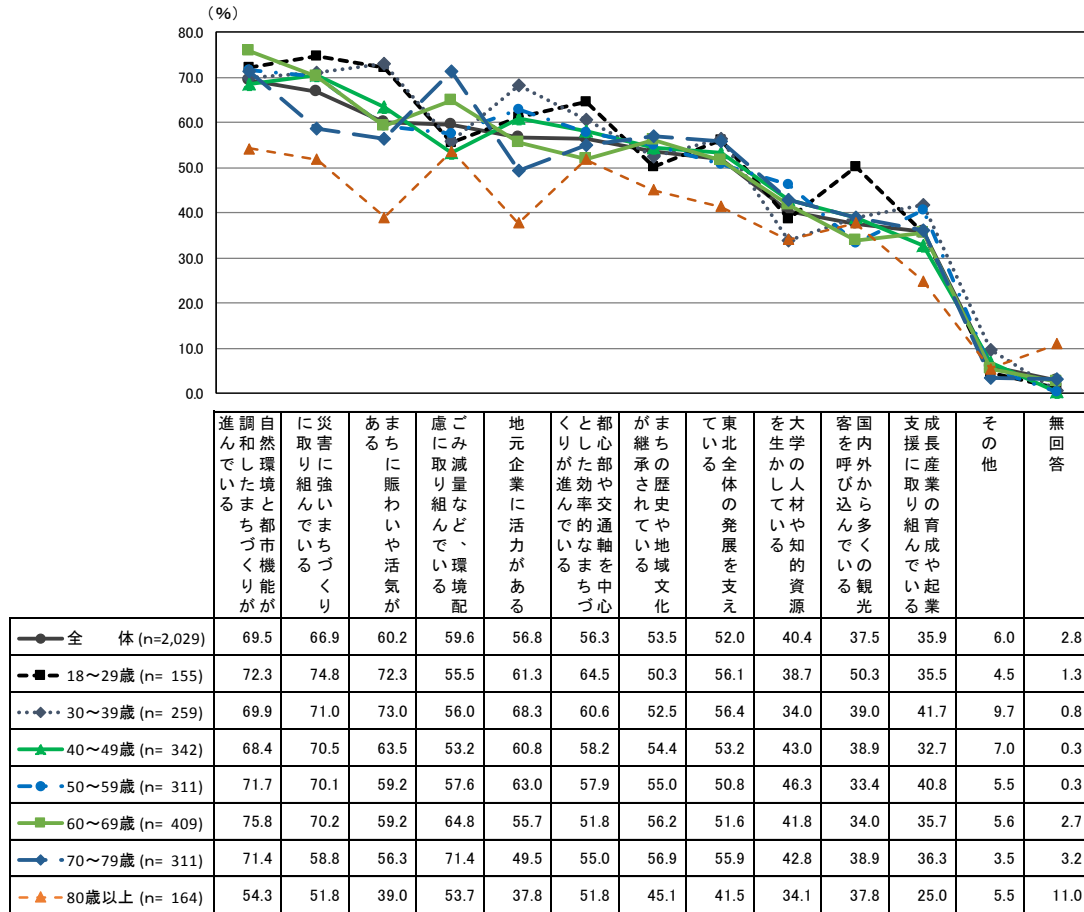


「まちづくり」を考える上で【重要と思うもの(すべて)】を尋ねたところ、「自然環境と都市機能が調和したまちづくりが進んでいる」(69.5%)、「災害に強いまちづくりに取り組んでいる」(66.9%)、「まちに賑わいや活気がある」(60.2%)、「ごみ減量など、環境配慮に取り組んでいる」(59.6%)の4項目が、およそ6割以上となった。

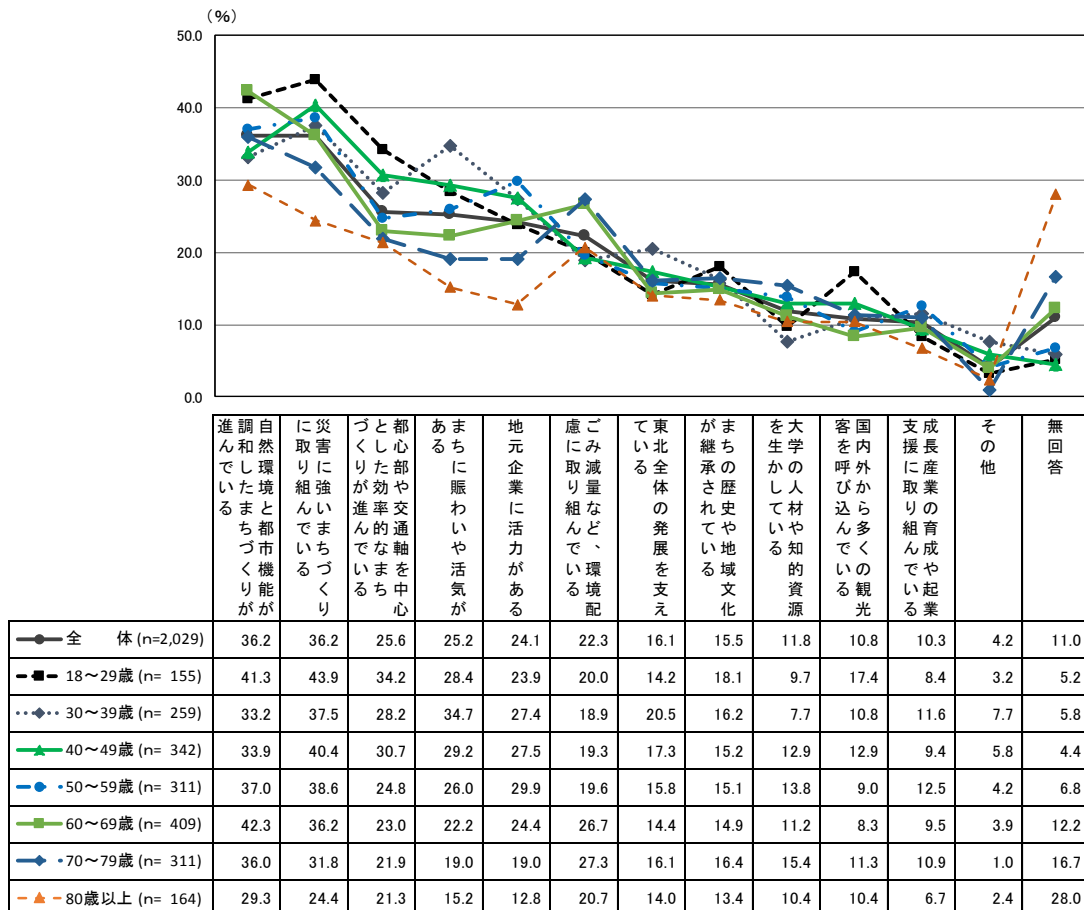
その中で【特に重要と思うもの(上位3つまで)】を尋ねたところ、「自然環境と都市機能が調和したまちづくりが進んでいる」(36.2%)、「災害に強いまちづくりに取り組んでいる」(36.2%)の2項目が同率1位で並んでいる。また、【重要と思うもの】6位である「都心部や交通軸を中心とした効率的なまちづくりが進んでいる」(56.3%)は、【特に重要と思うもの】では2位と大きく順位を上げている。



【年齢層別 重要と思うもの（すべて）】



【年齢層別 特に重要と思うもの（上位3つまで）】



将来30年先を見据えた「まちづくり」を考える上で【特に重要と思うもの（上位3つまで）】を年齢層別で見ると、60代以上では「自然環境と都市機能が調和したまちづくりが進んでいる」が1位であるのに対し、50代以下では「災害に強いまちづくりに取り組んでいる」が1位となっており、年齢層による差異が見られる。

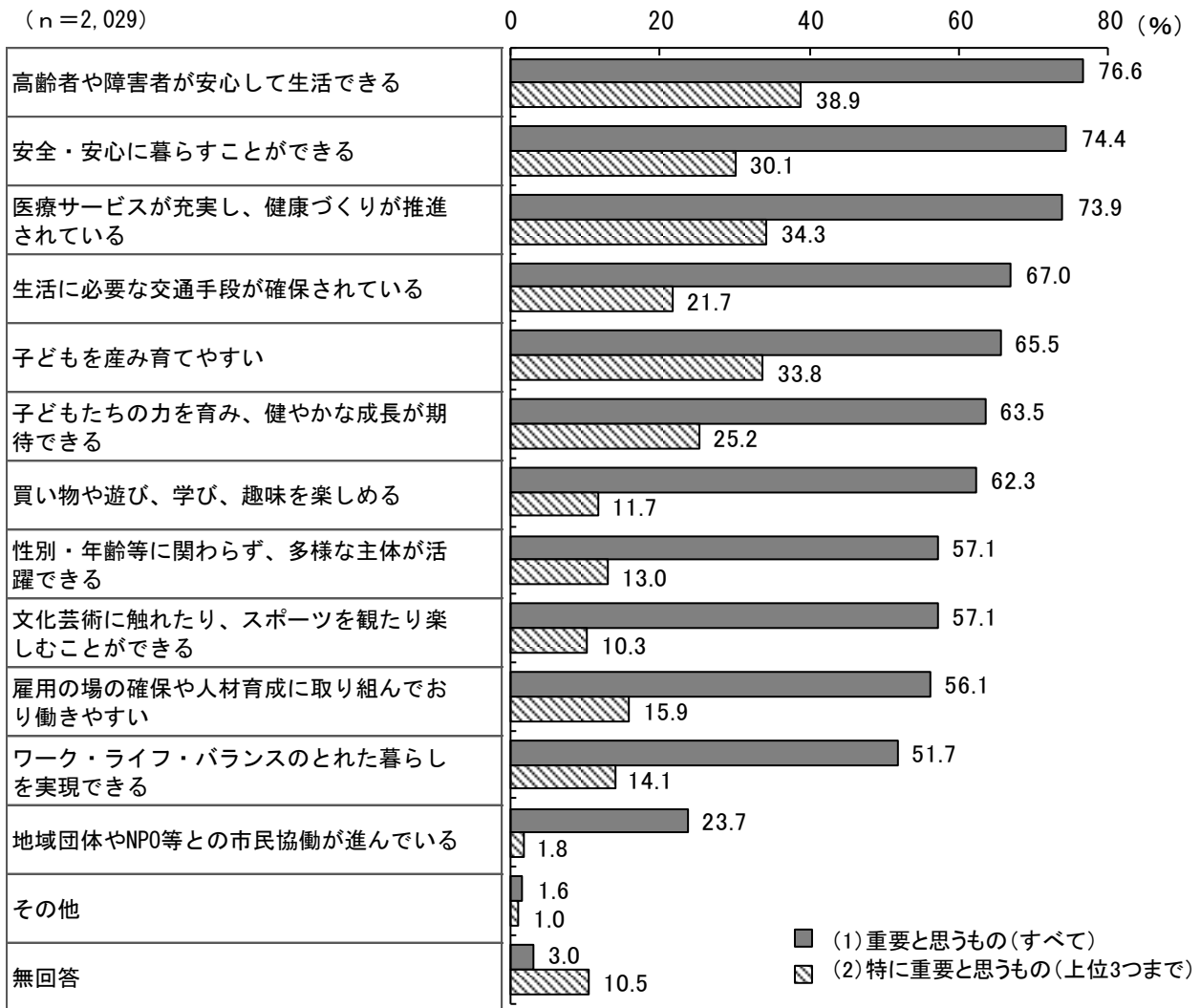
また、18～29歳では「国内外から多くの観光客を呼び込んでいる」が、30～39歳では「まちに賑わいや活気がある」「東北全体の発展を支えている」が、他の年齢層に比べてそれぞれ高い。

(2) 「暮らし」を考える上で重要なこと

問 13 将来 30 年先を見据えた仙台市での「暮らし」を考える上で、あなたが重要と思われるものをお知らせください。

(1) 次の 1～12 のうち、あてはまると思われるものすべてに○（複数可）をつけてください。  
 なお、1～12 以外で、あなたが重要と思われるものがある場合は、「13. その他」欄にご記入の上、○をつけてください。

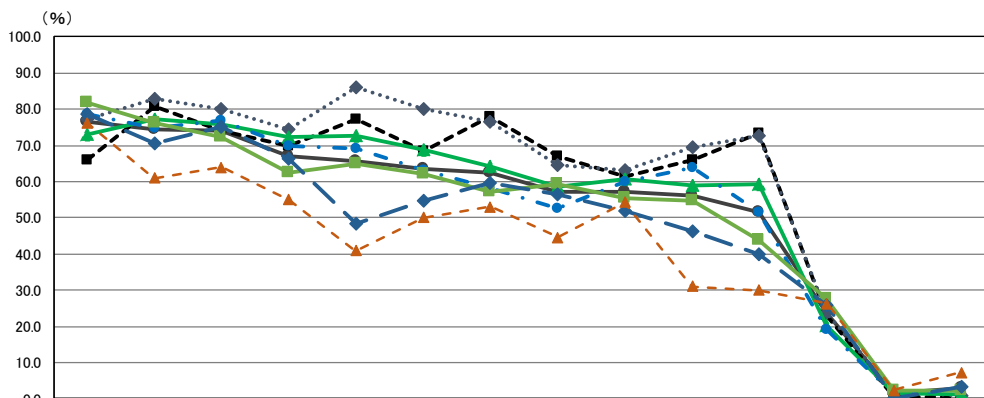
(2) また、(1) で選んだものうち、特に重要だと思うもの上位 3 つまで○をつけてください。



「暮らし」を考える上で【重要と思うもの(すべて)】を尋ねたところ、「高齢者や障害者が安心して生活できる」(76.6%)、「安全・安心に暮らすことができる」(74.4%)、「医療サービスが充実し、健康づくりが推進されている」(73.9%) の3項目が、7割以上となった。

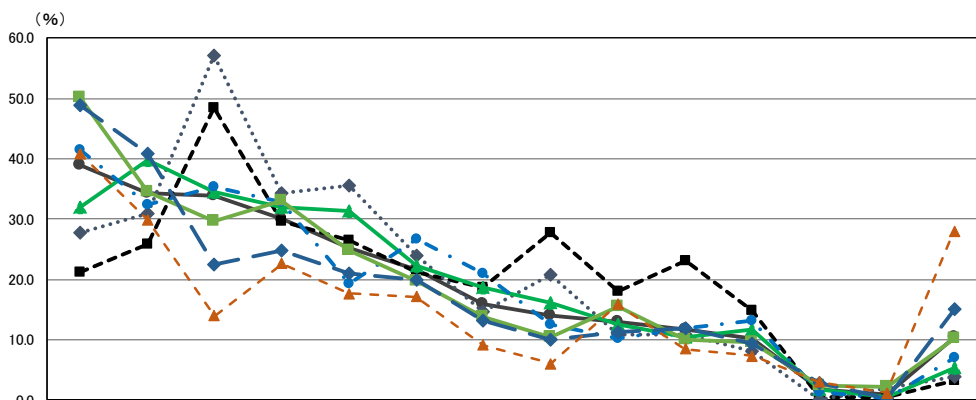
その中で【特に重要と思うもの(上位3つまで)】を尋ねたところ、「高齢者や障害者が安心して生活できる」(38.9%) が同じく1位となった。【重要と思うもの】2位である「安全・安心に暮らすことができる」(30.1%) は、【特に重要と思うもの】では4位と順位を下げている。逆に、子育て・教育関連項目は順位を上げており、「子どもを産み育てやすい」(重要5位→特に重要3位)、「子どもたちの力を育み、健やかな成長が期待できる」(重要6位→特に重要5位)となった。また、「医療サービスが充実し、健康づくりが推進されている」(重要3位→特に重要2位)も順位を上げている。

### 【年齢層別 重要と思うもの（すべて）】



	高齢者や障害者が安心して生活できる	安全・安心に暮らすことができる	医療サービスが充実し、健康づくりが推進されている	生活に必要な交通手段が確保されている	子どもを産み育てやすい	子どもたちの力を育み、健やかな成長が期待できる	趣味や遊び、学び、興味を楽しめる	買い物や遊び、学び、興味を楽しめる	躍り、多様な主体が活躍できる	性別・年齢等に関わらず、多様な主体が活躍できる	スポーツを観たり楽しむことができる	文化芸術に触れたり、楽しむことができる	雇用場の確保や人材の確保がしやすい	ワーク・ライフ・バランスのとれた暮らしを実現できる	地域団体やNPO等との協働が進んでいる	その他	無回答
● 全体 (n=2,029)	76.6	74.4	73.9	67.0	65.5	63.5	62.3	57.1	57.1	56.1	51.7	23.7	1.6	3.0			
■ 18~29歳 (n= 155)	65.8	80.6	74.2	69.7	77.4	68.4	78.1	67.1	61.3	65.8	73.5	23.2	0.6	0.6			
◆ 30~39歳 (n= 259)	77.2	83.0	79.9	74.5	86.1	79.9	76.4	64.5	63.3	69.5	72.6	23.9	1.9	0.8			
▲ 40~49歳 (n= 342)	73.1	77.2	75.7	72.2	72.8	68.7	64.3	58.5	60.8	59.1	59.4	20.2	1.5	1.2			
● 50~59歳 (n= 311)	78.8	74.9	76.8	69.8	69.1	63.3	58.2	52.7	60.1	63.7	51.4	19.3	1.3	2.6			
■ 60~69歳 (n= 409)	81.7	76.3	72.4	62.6	64.8	62.1	57.2	59.4	55.3	54.8	43.8	27.6	2.4	2.2			
◆ 70~79歳 (n= 311)	78.5	70.7	75.2	66.2	48.2	54.7	59.8	56.3	51.8	46.3	39.9	25.7	0.3	3.2			
▲ 80歳以上 (n= 164)	76.2	61.0	64.0	54.9	40.9	50.0	53.0	44.5	54.3	31.1	29.9	26.2	2.4	7.3			

### 【年齢層別 特に重要と思うもの（上位3つまで）】



	高齢者や障害者が安心して生活できる	安全・安心に暮らすことができる	医療サービスが充実し、健康づくりが推進されている	子どもを産み育てやすい	子どもたちの力を育み、健やかな成長が期待できる	生活に必要な交通手段が確保されている	趣味や遊び、学び、興味を楽しめる	躍り、多様な主体が活躍できる	性別・年齢等に関わらず、多様な主体が活躍できる	スポーツを観たり楽しむことができる	文化芸術に触れたり、楽しむことができる	雇用場の確保や人材の確保がしやすい	ワーク・ライフ・バランスのとれた暮らしを実現できる	地域団体やNPO等との協働が進んでいる	その他	無回答
● 全体 (n=2,029)	38.9	34.3	33.8	30.1	25.2	21.7	15.9	14.1	13.0	11.7	10.3	1.8	1.0	10.5		
■ 18~29歳 (n= 155)	21.3	25.8	48.4	29.7	26.5	21.3	18.7	27.7	18.1	23.2	14.8	0.6	0.6	3.2		
◆ 30~39歳 (n= 259)	27.8	30.9	57.1	34.4	35.5	23.9	14.7	20.8	10.8	10.8	8.1	0.0	1.9	3.9		
▲ 40~49歳 (n= 342)	31.9	39.8	34.5	31.9	31.3	22.2	18.7	16.1	12.6	10.5	11.7	1.8	0.6	5.3		
● 50~59歳 (n= 311)	41.5	32.5	35.4	32.8	19.3	26.7	20.9	12.5	10.3	11.9	13.2	1.3	0.3	7.1		
■ 60~69歳 (n= 409)	50.1	34.5	29.6	33.0	24.9	19.8	13.9	10.5	15.6	10.0	9.5	2.4	2.2	10.3		
◆ 70~79歳 (n= 311)	48.9	40.8	22.5	24.8	20.9	19.9	13.2	10.0	11.3	11.9	9.3	2.9	0.3	15.1		
▲ 80歳以上 (n= 164)	40.9	29.9	14.0	22.6	17.7	17.1	9.1	6.1	15.9	8.5	7.3	3.0	1.2	28.0		

将来30年先を見据えた「暮らし」を考える上で【特に重要と思うもの（上位3つまで）】を年齢層別で見ると、50代以上では「高齢者や障害者が安心して生活できる」が1位であるのに対し、40代では「医療サービスが充実し、健康づくりが推進されている」が、18～39歳では「子どもを産み育てやすい」が1位となっており、年齢層による差異がみられる。

また、18～29歳では「ワーク・ライフ・バランスのとれた暮らしを実現できる」「買い物や遊び、学び、趣味を楽しめる」が、30代では「子どもを産み育てやすい」「子どもたちの力を育み、健やかな成長が期待できる」が、他の年齢層に比べてそれぞれ高い。

### (3)「未来に残していきたい仙台の魅力」(自由意見)

「未来に残していきたい仙台の魅力」に関する自由意見を取りまとめたところ、以下のようになった。

意見の件数は複数回答の取り扱いとしている。

#### ◆大分類

分類項目	件数
1 未来に残していきたい仙台の魅力	1,663 件
2 その他	121 件
総意見数 (回答者数 669 名)	1,784 件

#### ◆中分類 (※大分類 1 「未来に残していきたい仙台の魅力」を細分化)

分類項目	件数
1 杜の都	576 件
2 祭りやイベント	215 件
3 歴史や地域文化	185 件
4 名物や食文化、名所	110 件
5 ちょうどいい・程よい	104 件
6 文化芸術やスポーツ・遊び	78 件
7 安全・安心な暮らし	72 件
8 交通・アクセス	69 件
9 まちの賑わいや産業の活力	58 件
10 子育て・教育	43 件
11 震災の経験や教訓	40 件
12 学都・大学	36 件
13 市民性・気質	27 件
14 環境配慮	16 件
15 地域活動・市民協働	13 件
16 東北の拠点	11 件
17 雇用・働きやすさ	10 件
総意見数	1,663 件

◆小分類（※中分類をさらに細分化）

分類項目		件数
1 杜の都	1 緑豊か、緑が多い	146件
	2 自然豊か（山、海、川など）	119件
	3 杜の都	114件
	4 自然と都会の調和	96件
	5 ケヤキ並木	34件
	6 街並み・景観	28件
	7 広瀬川	15件
	8 定禅寺通り	15件
	9 青葉通り	2件
	10 その他	7件
2 祭りやイベント	1 七夕祭り	62件
	2 光のページェント	33件
	3 青葉祭り	32件
	4 イベント・祭り	31件
	5 ジャズフェス	26件
	6 すずめ踊り	11件
	7 ハーフマラソン	6件
	8 せんくら	6件
	9 その他	8件
3 歴史や地域文化	1 文化・伝統・歴史の継承	68件
	2 伊達政宗	32件
	3 青葉城、仙台城	28件
	4 青葉城の再建	16件
	5 建築物・施設	14件
	6 地名、町名	5件
	7 大手門	4件
	8 瑞鳳殿	3件
	9 仙台弁	3件
	10 初売り	2件
	11 朝市	2件
	12 その他	8件
4 名物や食文化	1 食べ物がおいしい・豊か	27件
	2 ずんだ	9件
	3 海産物	8件
	4 名産品・菓子	7件
	5 牛タン	6件
	6 食文化	6件
	7 お米	6件
	8 温泉	5件
	9 農作物・野菜	4件
	10 動物園	4件
	11 笹かま	3件
	12 山の幸	3件
	13 松島	3件
	14 アイスリンク	3件
	15 メディアテーク	2件
	16 ベニーランド	2件
	17 芋煮会	1件
	18 その他	11件
5 ちょうどいい・程よい	1 ちょうどいい都会	44件
	2 住みやすい・生活しやすい	21件
	3 ちょうどいい田舎	19件
	4 ちょうどいい気候	12件
	5 ちょうどいい規模	5件
	6 ちょうどいい人口	3件

分類項目		件数
6 文化芸術やスポーツ・遊び	1 プロスポーツ	34件
	2 文化・芸術	16件
	3 音楽ホール	7件
	4 仙台出身のスポーツ選手	7件
	5 遊べる場	6件
	6 スケート	4件
	7 仙台フィル	1件
	8 パークゴルフ・グラウンドゴルフ	1件
	9 仙台出身の漫画家、小説家	1件
	10 趣味を楽しめる	1件
7 安全・安心な暮らし	1 安心・安全	22件
	2 高齢者福祉	20件
	3 医療	14件
	4 障害者福祉	10件
	5 治安の良さ	4件
	6 病院	2件
8 交通・アクセス	1 交通の利便性	25件
	2 郊外へのアクセス	13件
	3 地下鉄	12件
	4 コンパクトシティ	6件
	5 バス	4件
	6 道路状況	4件
	7 県外・国外へのアクセス	2件
	8 その他	3件
9 まちの賑わいや産業の活力	1 まちの賑わい・活気	17件
	2 買い物が便利	13件
	3 観光	8件
	4 地元・個人企業の活力	8件
	5 産業活性・育成	7件
	6 商店街	5件
10 子育て・教育	1 子育て	26件
	2 保育施設	7件
	3 教育	6件
	4 いじめがない	3件
	5 のびすく	1件
11 震災の経験や教訓	1 震災の経験や教訓	28件
	2 災害防止・対策	8件
	3 震災遺構・関連施設	3件
	4 災害が少ない	1件
12 学都・大学	1 学都	22件
	2 大学	12件
	3 その他	2件
13 市民性・気質	1 親切・優しい・温かい	18件
	2 穏やか・おおらか	3件
	3 マナーが良い	2件
	4 その他	4件
14 環境配慮	1 環境保全	8件
	2 ごみ減量・分別	7件
	3 温暖化対策	1件
15 地域活動・市民協働	1 地域活動・市民協働	6件
	2 地域の雰囲気	6件
	3 町内会	1件
16 東北の拠点	1 (小分類なし)	11件
17 雇用・働きやすさ	1 若者の雇用	6件
	2 高齢者の雇用	2件
	3 ワーク・ライフ・バランス	2件

## 4. 自由意見

市政全般に関する自由意見を取りまとめたところ、以下のようになった。  
意見の件数は複数回答の取り扱いとしている。

### ◆大分類

分類項目	件数
1 市政に対する意見	1,124 件
2 アンケートに対する意見	55 件
3 その他	13 件
総意見数（回答者数 516 名）	1,192 件

### ◆中分類（※大分類 1「市政に対する意見」を細分化）

分類項目	件数
1 学びを楽しむミュージアム都市や学都・仙台の資源を生かすまちづくり	21 件
2 誰もが共に生き、自立して暮らしやすい環境づくり	127 件
3 子育て支援や教育環境の充実	211 件
4 安全で安心な市民の暮らしを支える環境づくり	122 件
5 自然と調和した持続可能な都市づくり	305 件
6 人をひきつけ躍動する仙台の魅力と活力づくり	113 件
7 暮らしや経済の再建、安全・安心の確保、震災の経験と教訓の継承など、復興まちづくり	20 件
8 市政や公益活動への市民参加の促進	27 件
9 その他（市政関連）	178 件
総意見数	1,124 件

### ◆小分類（※中分類をさらに細分化）

分類項目	件数	
1 学びを楽しむミュージアム都市や学都・仙台の資源を生かすまちづくり	1 文化・芸術活動	16 件
	2 「学都」に集積した人材や知的資源	3 件
	3 ミュージアム施設の連携、学びを楽しむ	2 件
2 誰もが共に生き、自立して暮らしやすい環境づくり	1 高齢者福祉	80 件
	2 障害者福祉	28 件
	3 健康づくり	13 件
	4 生活保護	6 件
3 子育て支援や教育環境の充実	1 子育て環境	101 件
	2 学校教育・教育環境	52 件
	3 保育所の整備や相談事業等	33 件
	4 いじめ防止対策	25 件
4 安全で安心な市民の暮らしを支える環境づくり	1 医療サービス・救急医療体制	41 件
	2 道路の管理	31 件
	3 防犯対策	16 件
	4 交通マナー	12 件
	5 街並みや景観	10 件
	6 自転車対策	8 件
	7 地震・集中豪雨など災害対策	4 件



分類項目		件数
5 自然と調和した持続可能な都市づくり	1 公共交通	115 件
	2 地下鉄（南北・東西線）	77 件
	3 良好な住環境の整備	29 件
	4 緑の保全・創出	19 件
	5 渋滞緩和	16 件
	6 ごみ減量・リサイクル	12 件
	7 基幹となる道路ネットワークの整備	11 件
	8 都市再開発や市街地の活性化	9 件
	9 公害防止や温暖化防止など環境保全	3 件
	10 その他（環境・都市づくり関連）	14 件
6 人をひきつけ躍動する仙台の魅力と活力づくり	1 観光資源やイベントを生かしたまちづくり	41 件
	2 地域産業の振興や雇用対策	31 件
	3 スポーツのための施設・サービス	12 件
	4 国際化関連	7 件
	5 地下鉄東西線沿線のまちづくり	6 件
	6 中心部商店街	2 件
	7 成長産業の育成・誘致	1 件
	8 6次産業化など農業政策	0 件
	9 その他（仙台の魅力づくり関連）	13 件
7 暮らしや経済の再建、安全・安心の確保、震災の経験と教訓の継承など、復興まちづくり	1 被災された方々への生活再建支援	9 件
	2 津波防災対策	5 件
	3 震災の記録と記憶の情報発信	1 件
	4 農地の復旧や、大規模化などによる農業再生	0 件
	5 集団移転や復興公営住宅の建設など住まいの確保	0 件
	6 復興特区制度の活用などによる企業誘致や新産業の創出・集積	0 件
	7 その他（復興まちづくり関連）	5 件
8 市政や公益活動への市民参加の促進	1 広報政策	22 件
	2 市民参加によるまちづくり	5 件
	3 その他（市民参画関連）	0 件
9 その他（市政関連）	1 行政運営全般	59 件
	2 窓口サービスや職員	26 件
	3 市民生活全般	24 件
	4 税関連	23 件
	5 市長	22 件
	6 その他（公共施設について等）	24 件
総意見数		1,124 件

市政に対する意見について、＜中分類＞の件数が多い順に見ると、『5 自然と調和した持続可能な都市づくり』が305件と最も多く、次に『3 子育て支援や教育環境の充実』(211件)、『2 誰もが共に生き、自立して暮らしやすい環境づくり』(127件)、『4 安全で安心な市民の暮らしを支える環境づくり』(122件)と続いている。

＜小分類＞ごとに見ると、以下の通りである。

『1 学びを楽しむミュージアム都市や学都・仙台の資源を生かすまちづくり』について、＜小分類＞の中で件数が多い「文化・芸術活動」(16件)では、音楽ホールの建設等を望む意見が寄せられている。

『2 誰もが共に生き、自立して暮らしやすい環境づくり』について、＜小分類＞の中で件数が多い「高齢者福祉」(80件)では、高齢化の進行に伴い、交通機関の整備、医療サービスの充実、施設整備、雇用の充実、介護保険料の負担軽減等を望む意見が寄せられている。

『3 子育て支援や教育環境の充実』について、＜小分類＞の中で件数が多い「子育て環境」(101件)では、保育所等の充実、医療費の助成、子どもの遊び場の確保等、安心して子育てができる環境づくりを求める意見が寄せられている。

『4 安全で安心な市民の暮らしを支える環境づくり』について、＜小分類＞の中で件数が多い「医療サービス・救急医療体制」(41件)では、医療費の助成を望む意見が寄せられている。

『5 自然と調和した持続可能な都市づくり』について、＜小分類＞の中で件数が多い「公共交通」(115件)では、バスの増便や路線の見直し、地下鉄の延長等の利便性向上を望む意見が寄せられている。

『6 人をひきつけ躍動する仙台の魅力と活力づくり』について、＜小分類＞の中で件数が多い「観光資源やイベントを生かしたまちづくり」(41件)では、観光地の整備、魅力あるイベントの充実等を望む意見が寄せられている。

『7 暮らしや経済の再建、安全・安心の確保、震災の経験と教訓の継承など、復興まちづくり』について、＜小分類＞の中で件数が多い「被災された方々への生活再建支援」(9件)では、被災された方々へのサポートを望む意見が寄せられている。

『8 市政や公益活動への市民参加の促進』について、＜小分類＞の中で件数が多い「広報政策」(22件)では、本市で行っている施策や取り組みについての情報発信の充実を望む意見が寄せられている。

最後に、『9 その他(市政関連)』について、＜小分類＞の中で件数が多い「行政運営全般」(59件)では、今後の市政への期待や市政サービスの充実を望む意見が寄せられている。

### Ⅲ. 資 料



平成 30 年度「施策目標に関する市民意識調査」調査票

はじめに、仙台市の住みやすさなどに関しておたずねします。

**問 1** あなたは、仙台市は住みやすいと思いますか。あてはまるものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| 1 とても住みやすい      | 2 どちらかといえば住みやすい |
| 3 どちらかといえば住みにくい | 4 住みにくい         |
| 5 わからない         |                 |

→ 1 または 2 と回答した方にお聞きします。上記で、1 または 2 を選択した理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んで、番号に○をつけてください。

- |                        |                     |
|------------------------|---------------------|
| 1 友人・知人などがいる           | 2 自然環境に恵まれている       |
| 3 通学、通勤、買い物など生活が便利     | 4 楽しく遊べる場所が多い       |
| 5 地域の間人関係が良い           | 6 治安が良い（安心・安全）      |
| 7 医療・福祉サービスが充実している     | 8 教育環境が充実している       |
| 9 雇用が充実している            | 10 スポーツ・文化施設が充実している |
| 11 生まれ故郷なので良く知っている     |                     |
| 12 その他<br>(具体的に：_____) |                     |

**問 2** あなたは、仙台市に愛着を感じていますか。あてはまるものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

- |                     |                    |
|---------------------|--------------------|
| 1 とても愛着を感じている       | 2 どちらかといえば愛着を感じている |
| 3 どちらかといえば愛着を感じていない | 4 愛着を感じていない        |
| 5 わからない             |                    |

**問 3** あなたは、これからも仙台市に住み続けたいと思いますか。あてはまるものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

- |                       |                     |
|-----------------------|---------------------|
| 1 住み続けたいと思う           | 2 どちらかといえば住み続けたいと思う |
| 3 どちらかといえば住み続けたいと思わない |                     |
| 4 住み続けたいと思わない         | 5 わからない             |

→ 3 または 4 と回答した方にお聞きします。上記で、3 または 4 を選択した理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んで、番号に○をつけてください。

- |                    |                 |
|--------------------|-----------------|
| 1 自分の家（土地）ではないから   | 2 家賃・地代が高いから    |
| 3 物価が高い            | 4 生活環境が悪い       |
| 5 自然環境が悪い          | 6 防災の面で不安       |
| 7 通学、通勤、買い物が不便     | 8 子供の教育環境が悪い    |
| 9 自分に合った仕事が見つからない  | 10 地域の間人関係が良くない |
| 11 その他（具体的に：_____） |                 |

**仙台市の施策についておたずねします。**

**問 4** あなたは、仙台市の「学びを楽しむミュージアム都市や学都・仙台の資源を生かすまちづくり」に向けた以下の取り組みについて、どのような評価をしていますか。次の 1~3 の取り組みそれぞれに対するあなたの評価について、あてはまるものを 1つ選んで、番号に ○ をつけてください。  
また、このうち 今後特に力をいれていくべきと思う施策に○（複数可） をつけてください。

今後特に力をいれていくべきと思う施策に○（複数可）をつけてください。

	評価する	どちらかといえば評価する	どちらかといえば評価しない	評価しない	わからない	力をいれるべき施策
1. めるとともに、自ら文化・芸術活動に取り組める環境づくり	1	2	3	4	5	
2. 様々なミュージアム施設の連携や創意工夫により魅力的な環境づくり	1	2	3	4	5	
3. 大学、市民、企業、行政の連携等、「学都」に集積した人材や知的資源を生かしたまちづくり	1	2	3	4	5	

**問 5** あなたは、仙台市の「誰もが共に生き、自立して暮らしやすい環境づくり」に向けた以下の取り組みについて、どのような評価をしていますか。次の 1~4 の取り組みそれぞれに対するあなたの評価について、あてはまるものを 1つ選んで、番号に ○ をつけてください。  
また、このうち 今後特に力をいれていくべきと思う施策に○（複数可） をつけてください。

	評価する	どちらかといえば評価する	どちらかといえば評価しない	評価しない	わからない	力をいれるべき施策
1. 男女平等意識の醸成や社会のあらゆる分野への女性の参画の促進等、男女共同参画の推進	1	2	3	4	5	
2. 生活習慣病予防対策や健診体制の充実等、健康づくりの推進	1	2	3	4	5	
3. 介護予防対策や介護サービスの質の確保・向上等、高齢者の暮らしを支える環境づくり	1	2	3	4	5	
4. 障害者差別の解消や就労等社会参加の促進等、障害者の生活を支える環境づくり	1	2	3	4	5	

**問 6** あなたは、仙台市の「子育て支援や教育環境の充実」に向けた以下の取り組みについて、どのような評価をしていますか。次の 1～8 の取り組みそれぞれに対するあなたの評価について、あてはまるものを1つ選んで、番号に○をつけてください。  
また、このうち今後特に力をいれていくべきと思う施策に○（複数可）をつけてください。

	評価する	どちらかといえば評価する	どちらかといえば評価しない	評価しない	わからない	力をいれるべき施策
1. 児童館の整備や児童クラブの運営等、児童の健全育成のための環境づくり	1	2	3	4	5	
2. 保育施設等の整備や幼稚園の預かり保育の実施、延長保育・一時預かりの充実等、安心して子育てができる環境づくり	1	2	3	4	5	
3. 「のびすく（※）」等での子育て支援ネットワークの充実や仕事と家庭の両立支援等、子育て家庭を応援する社会づくり	1	2	3	4	5	
4. 区役所等における、妊娠期から子育て期にわたる総合的な相談体制と支援の充実	1	2	3	4	5	
5. 子供たちが変化の激しい社会を生き抜いていくための確かな学力や自立した社会人となるための力を育む学校教育の充実	1	2	3	4	5	
6. 学校におけるいじめの未然防止や早期発見・早期対応の推進	1	2	3	4	5	
7. 児童生徒が放課後や日常生活を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができる環境づくり	1	2	3	4	5	
8. 学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもの成長を応援する環境づくり	1	2	3	4	5	

※「のびすく」：乳幼児の親子が自由に交流できるスペースの提供や、理由を問わない託児などを行っている子育て支援施設。

**問7** あなたは、仙台市の「安全で安心な市民の暮らしを支える環境づくり」に向けた以下の取り組みについて、どのような評価をしていますか。次の1～6の取り組みそれぞれに対するあなたの評価について、あてはまるものを1つ選んで、番号に○をつけてください。  
また、このうち今後特に力をいれていくべきと思う施策に○（複数可）をつけてください。

	評価する	どちらかといえば評価する	どちらかといえば評価しない	評価しない	わからない	力をいれるべき施策
1. 医療サービスや救急医療体制の充実	1	2	3	4	5	
2. 道路や上下水道、市民利用施設等の公共施設の耐震化や適切な維持管理・更新	1	2	3	4	5	
3. 地震や集中豪雨等の災害への対応体制や防災対策の強化	1	2	3	4	5	
4. 消防団強化や地域防災リーダー養成、防災訓練実施、帰宅困難者対策等、地域の防災体制の強化	1	2	3	4	5	
5. 震災の経験と教訓を踏まえた防災教育や防災意識の普及啓発の充実	1	2	3	4	5	
6. 防犯対策や交通安全対策、感染症対策や消費者被害の防止等、安全・安心の暮らしづくり	1	2	3	4	5	

**問8** あなたは、仙台市の「自然と調和した持続可能な都市づくり」に向けた以下の取り組みについて、どのような評価をしていますか。次の1～7の取り組みそれぞれに対するあなたの評価について、あてはまるものを1つ選んで、番号に○をつけてください。  
また、このうち今後特に力をいれていくべきと思う施策に○（複数可）をつけてください。

	評価する	どちらかといえば評価する	どちらかといえば評価しない	評価しない	わからない	力をいれるべき施策
1. 温室効果ガス排出量削減や省エネ・創エネ・蓄エネ（3E）の普及浸透等、環境負荷の小さなまちづくり	1	2	3	4	5	
2. ごみ減量・リサイクルの推進等、ごみの発生を抑え、資源を有効に循環させるまちづくり	1	2	3	4	5	
3. レクリエーション農園の利用促進等、市民が農業と交流する様々な機会の創出による農業地域の活性化	1	2	3	4	5	
4. 市街地の緑化や公園の整備、自然環境の保全等、緑美しい百年の杜づくり	1	2	3	4	5	
5. 杜の都にふさわしい景観や都市空間の形成	1	2	3	4	5	
6. 都心部への機能集約や郊外における生活環境の改善等、地域の特性に応じたまちづくり	1	2	3	4	5	
7. 鉄道・地下鉄やバス等の公共交通を中心とする利便性の高い交通体系づくり	1	2	3	4	5	



**問9** あなたは、仙台市の「人をひきつけ躍動する仙台の魅力と活力づくり」に向けた以下の取り組みについて、どのような評価をしていますか。次の1～11の取り組みそれぞれに対するあなたの評価について、あてはまるものを1つ選んで、番号に○をつけてください。  
また、このうち今後特に力をいれていくべきと思う施策に○（複数可）をつけてください。

	評価する	どちらかといえば評価する	どちらかといえば評価しない	評価しない	わからない	力をいれるべき施策
1. 地域産業の振興や企業誘致による雇用機会の創出	1	2	3	4	5	
2. 働く女性が個性と能力を發揮できる環境づくりや女性の積極的な登用など、企業等における女性の活躍推進	1	2	3	4	5	
3. 賑わい創出や担い手育成等による中心部商店街の活力づくり	1	2	3	4	5	
4. 農業の6次産業化の推進や担い手の確保等による農業の活性化	1	2	3	4	5	
5. 国内外の観光 PR・プロモーションやコンベンションの誘致等による交流人口の拡大	1	2	3	4	5	
6. 国際交流の推進	1	2	3	4	5	
7. プロスポーツやさまざまなスポーツイベント等を観ることができる環境づくり	1	2	3	4	5	
8. 仙台七夕まつりや仙台国際ハーフマラソン等さまざまなイベントを生かした仙台ブランドづくり	1	2	3	4	5	
9. 起業しようとする方々への個別相談や応援イベント等、起業支援	1	2	3	4	5	
10. IT や健康福祉、次世代エネルギー等、今後の成長産業の育成・誘致	1	2	3	4	5	
11. 市民協働による沿線にぎわいづくりや沿線開発の促進等、地下鉄東西線沿線のまちづくり	1	2	3	4	5	

**問 10** あなたは、仙台市の「暮らしや経済の再建、安全・安心の確保、震災の経験と教訓の継承など、復興まちづくり」に向けた以下の取り組みについて、どのような評価をしていますか。次の 1～6 の取り組みそれぞれに対するあなたの評価について、あてはまるものを 1 つ選んで、番号に○をつけてください。

また、このうち今後特に力をいれていくべきと思う施策に○(複数可)をつけてください。

	評価する	どちらかといえば評価する	どちらかといえば評価しない	評価しない	わからない	力をいれるべき施策
1. 孤立防止や自立再建に向けた伴走型支援の実施、心の状態に合わせた健康支援等、被災された方々一人ひとりの状況に応じた生活再建支援	1	2	3	4	5	
2. 安全な地域への移転や現地建替え・修繕等、津波浸水区域における住宅再建支援	1	2	3	4	5	
3. 集団移転跡地の利活用や海岸公園の再整備、みどりの再生、海辺のふる里づくり支援、農業再生等、東部被災地域の復興	1	2	3	4	5	
4. 仙台港周辺地区や蒲生北部の復興に向けた都市基盤の整備や新たな産業の誘致	1	2	3	4	5	
5. かさ上げ道路や津波避難施設の整備等による多重的な津波防災対策	1	2	3	4	5	
6. 震災の記録と記憶を後世へ継承するための活動や国内外への情報発信	1	2	3	4	5	

**問 11** あなたは、仙台市の「未来をつくる市民力の拡大と新しい市民協働の推進」に向けた以下の取り組みについて、どのような評価をしていますか。次の 1～2 の取り組みそれぞれに対するあなたの評価について、あてはまるものを 1 つ選んで、番号に○をつけてください。また、このうち今後特に力をいれていくべきと思う施策に○(複数可)をつけてください。

	評価する	どちらかといえば評価する	どちらかといえば評価しない	評価しない	わからない	力をいれるべき施策
1. 地域団体や NPO の活動の促進や、多様な主体の協働によるまちづくりの推進	1	2	3	4	5	
2. 市政に関する情報の公開や市民からの意見・提案の募集、市民参加イベント等、市政への市民参画の推進	1	2	3	4	5	

**次に、未来に向けた仙台市のまちづくりについておたずねします。**

**問 1 2** 将来 30 年先を見据えた仙台市の「まちづくり」を考える上で、あなたが重要と思われるものをお知らせください。

(1) 次の 1~11 のうち、あてはまると思われるものすべてに○（複数可）をつけてください。

なお、1~11 以外で、あなたが重要と思われるものがある場合は、「12. その他」欄にご記入の上、○をつけてください。

(2) また、(1) で選んだもののうち、特に重要だと思うもの上位 3 つまで○をつけてください。

	(1)重要と 思うもの (すべてに ○)		(2)特に 重要と思う もの (3つまで)
1. 自然環境と都市機能が調和したまちづくりが進んでいる	1	⇒	1
2. 都心部や交通軸を中心とした効率的なまちづくりが進んでいる	2	⇒	2
3. まちに賑わいや活気がある	3	⇒	3
4. ごみ減量など、環境配慮に取り組んでいる	4	⇒	4
5. 災害に強いまちづくりに取り組んでいる	5	⇒	5
6. 国内外から多くの観光客を呼び込んでいる	6	⇒	6
7. 成長産業の育成や起業支援に取り組んでいる	7	⇒	7
8. 地元企業に活力がある	8	⇒	8
9. まちの歴史や地域文化が継承されている	9	⇒	9
10. 大学の人材や知的資源を生かしている	10	⇒	10
11. 東北全体の発展を支えている	11	⇒	11
12. その他（具体的に：_____）	12	⇒	12

**問 13** 将来 30 年先を見据えた仙台市での「暮らし」を考える上で、あなたが重要と思われるものをお知らせください。

(1) 次の 1~12 のうち、あてはまると思われるものすべてに○（複数可）をつけてください。

なお、1~12 以外で、あなたが重要と思われるものがある場合は、「13. その他」欄にご記入の上、○をつけてください。

(2) また、(1) で選んだもののうち、特に重要だと思うもの上位 3 つまで○をつけてください。

	(1)重要と 思うもの (すべてに ○)		(2)特に 重要と思う もの (3つまで)
1. 性別・年齢等に関わらず、多様な主体が活躍できる	1	⇒	1
2. 地域団体や NPO 等との市民協働が進んでいる	2	⇒	2
3. 雇用の場の確保や人材育成に取り組んでおり働きやすい	3	⇒	3
4. ワーク・ライフ・バランスのとれた暮らしを実現できる	4	⇒	4
5. 買い物や遊び、学び、趣味を楽しめる	5	⇒	5
6. 文化芸術に触れたり、スポーツを観たり楽しむことができる	6	⇒	6
7. 子どもたちの力を育み、健やかな成長が期待できる	7	⇒	7
8. 子どもを産み育てやすい	8	⇒	8
9. 高齢者や障害者が安心して生活できる	9	⇒	9
10. 医療サービスが充実し、健康づくりが推進されている	10	⇒	10
11. 安全・安心に暮らすことができる	11	⇒	11
12. 生活に必要な交通手段が確保されている	12	⇒	12
13. その他（具体的に：_____）	13	⇒	13

- 問 14** あなたが思われる「未来に残していきたい仙台の魅力」について、下欄にご自由にご記入ください。どのようなことでも結構です。  
(紙幅が不足する場合、お手持ちの用紙などに「問 14」と書いた上でご記入願います。)

[未来に残していきたい仙台の魅力]

**最後に、あなたご自身や世帯の状況についておたずねします。**

F1 あなたの性別をお答えください。あてはまる番号に○をつけてください。

※現在の社会生活上の性別（自分がどちらの性として日常生活を送っているか）をお答えください。

- |      |      |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

F2 あなたの年齢をお答えください。あてはまる番号に○をつけてください。

- |           |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1 18～19 歳 | 2 20～29 歳 | 3 30～39 歳 | 4 40～49 歳 |
| 5 50～59 歳 | 6 60～69 歳 | 7 70～79 歳 | 8 80 歳以上  |

F3 あなたの現在のお住まいは、次のどれですか。

あてはまるものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

- |              |             |              |
|--------------|-------------|--------------|
| 1 持ち家（一戸建て）  | 2 持ち家（集合住宅） | 3 賃貸住宅（一戸建て） |
| 4 賃貸住宅（集合住宅） | 5 社宅・官舎・寮   | 6 その他（ ）     |

F4 あなたご自身のお仕事は大きく分けて、次のどれにあたりますか。

あてはまるものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

- |                     |                  |
|---------------------|------------------|
| 1 経営者、役員            | 2 会社員、公務員など常勤の職員 |
| 3 臨時雇用、パート、アルバイト、内職 | 4 自営業者またはその家族従業者 |
| 5 専業主婦・主夫           | 6 学生             |
| 7 無職                | 8 その他（ ）         |

F5 現在同居されている世帯の構成はどのようになっていますか。

あてはまるものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

- |                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| 1 一人暮らし             | 2 夫婦のみ              |
| 3 二世帯世帯（あなたの世代と親）   | 4 二世帯世帯（あなたの世代と子ども） |
| 5 三世帯世帯（あなたを含めて三世代） | 6 その他（ ）            |

F6 あなたのお住まいの場所（区）をお答えください。あてはまる番号に○をつけてください。

- |       |        |       |       |      |
|-------|--------|-------|-------|------|
| 1 青葉区 | 2 宮城野区 | 3 若林区 | 4 太白区 | 5 泉区 |
|-------|--------|-------|-------|------|

F7 あなたが仙台市（合併前の旧市町村を含む。）にお住まいになって何年になりますか。あてはまるものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

※一度市外に転出して、また転入した方は、通算の年数をお答えください。

- |             |             |           |            |
|-------------|-------------|-----------|------------|
| 1 1 年未満     | 2 1～3 年未満   | 3 3～5 年未満 | 4 5～10 年未満 |
| 5 10～20 年未満 | 6 20～30 年未満 | 7 30 年以上  |            |

これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。  
なお、市政各般に関するご意見などがございましたら、下欄にご記入ください(紙幅が不足する場合、お手持ちの用紙などに「市政への意見」と書いた上でご記入願います。)

[ご意見など]





# 施策目標に関する市民意識調査 報告書

(平成30年度市民アンケート取りまとめ)

平成30年8月発行

---

調査主体：仙台市 まちづくり政策局 政策企画部 政策企画課  
〒980-8671 仙台市青葉区国分町3丁目7番1号  
TEL 022-214-1268

調査受託：株式会社サーベイリサーチセンター東北事務所

※再生紙を使用しています。